

岡山市埋蔵文化財センター年報 4

2003（平成15）年度

2005年3月

岡山市教育委員会

はじめに

岡山市は吉備の中心に位置しており、古くから独自の文化がはぐくまれてまいりました。そのためわが国でも有数の文化財密集地域になっております。これらの文化財は、この地域に生きた先人たちの足跡であり、岡山市民のかけがえのない財産でもあります。

岡山市埋蔵文化財センターは、これら当市の埋蔵文化財に関する拠点となるべく、平成12年に開設され、今年で5年が経過しました。私どもも、埋蔵文化財の保護・保存に努めているところではありますが、この間多くの方々の多大なるご協力をいただきましたことを深く感謝いたします。

当センターでは、発掘調査、それに伴う出土物の整理・収蔵、その成果の展示・公開・調査報告書の刊行、またホームページの設置等を行うことにより、埋蔵文化財に対する愛護意識の普及を図るべく、日々取り組んでおります。また史跡岡山城跡や史跡賞田廃寺などにおいては、歴史的環境整備が着実に進行しつつあります。私たちは、これら諸活動を通して、埋蔵文化財の保存・保護のみならず、その活用にも重点を置き、今後ともより一層の努力を続けて参ります。

本書は、平成15年度に、岡山市教育委員会文化財課・岡山市埋蔵文化財センターが実施した、埋蔵文化財行政の概要報告であります。やむを得ず記録保存の措置をとることとなった遺跡の調査成果や資料紹介などの、貴重な報告が掲載されておりますので、本書が学術研究の一助となるだけでなく、広く埋蔵文化財保護のために活用していただけるなら幸いに存じます。

平成17年3月31日

岡山市教育委員会生涯学習部

文化財課課長 出宮徳尚

I 埋蔵文化財センターの組織と事業の概要

1 岡山市埋蔵文化財センターの概要

設置の趣旨

岡山市内は、様々な種類の遺跡が数多く所在しており、全国的に見ても貴重な遺跡が豊富な地域である。また、一方で、各種開発事業も多く、それらとの調整を図りながら埋蔵文化財の保護と保存を行ってきた。その結果、膨大な量の出土物や記録の収蔵とともにそれらの活用を行うことが重要な責務となった。

岡山市埋蔵文化財センターは当市の文化財に関する拠点施設として、発掘調査や出土物の整理・保存・収蔵、それらの展示・公開・情報発信などを行い、埋蔵文化財保護や保存、また埋蔵文化財に対する愛護意識の普及を図ることを目的として設置された。

設立年月日

平成12年4月1日

所在地

〒703-8284 岡山市網浜834-1



施設概要

敷地面積 2442.85㎡
 建築面積 854.09㎡
 延床面積 1895.79㎡

鉄筋コンクリート3階建
 1階 747.15㎡
 2階 736.35㎡
 3階 412.30㎡

駐車場 10台

一階	公開スペース	展示室	165㎡	一階	事務スペース	事務室	44㎡
		収蔵展示室	36㎡			会議室	49㎡
		図書コーナー	6㎡			計	93㎡
		計	207㎡				
二階	作業スペース	遺物整理室	105㎡	二階	研究スペース	研究室・図面整理室	90㎡
		水洗室	24㎡			書庫	81㎡
		鉄器処理室	26㎡			写場	27㎡
		木器処理室	21㎡			計	198㎡
		仮収蔵室	18㎡				
		計	194㎡				
				三階	収蔵スペース	特別収蔵室	29㎡
						収蔵室(2・3階)	816㎡
						計	845㎡

2 岡山市埋蔵文化財センターの組織

岡山市教育委員会 — 生涯学習部 — 文化財課 — 岡山市埋蔵文化財センター

文化財課

課長 出宮 徳尚
調整主幹 小林 好美
文化財専門監 根木 修
主任 福永みどり
文化財保護主事 安川 満

岡山市埋蔵文化財センター

所長 (根木文化財専門監事務取扱)
主査 神谷 正義
主任 扇崎 由
文化財保護主事 草原 孝典
文化財保護主事 高橋 伸二
文化財保護主事 河田 健司
文化財保護主事 西田 和浩
嘱託 木村 真紀

3 事業の概要

平成15年度月別入館者数 571人

本年度は開所4年目となるが、入館者数は昨年度に比べ大幅に減少した。月平均では48人であるが、10人以下の月もあり、一層の周知を図る必要がある。



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (前年比)
20	49	8	31	78	68	80	111	43	21	8	54	571 (-306)

資料の貸出

遺跡名等	資料名	点数	貸出期間	貸出先	事由
	旧鐘撞堂時鐘	1	15.6.10~16.6.13	岡山市長	「岡山戦災の記録と写真展」
吉野口遺跡	白磁碗	2	15.7.16~15.9.12	岡山県立博物館	特別展「世界への招待～お化けはきつといる・あの世はきつとある～」
	青磁碗	3			
	土師質土器	42			
	軒丸瓦	5			
	軒平瓦	5			
賞田廃寺	瓦経	2	15.8.4~15.8.29	岡山県古代吉備文化財センター	「大地からの便り—県内の発掘調査報告会」
	瓦塔	3			
	鴟尾	1			
	風招	1			
ハガ遺跡	軒丸瓦	3	15.9.4~15.12.12		企画展「吉備の姿—最近の発掘調査から—」
	軒平瓦	2			
	瓦塔	1			
	泥塔	2			
	墨書土器	1			
	三彩陶器破片	一括			

遺跡名等	資料名	点数	貸出期間	貸出先	事由			
岡山城本丸中の段	金箔桐文軒丸瓦	1	15.9.4~15.12.12	岡山県立吉備路郷土館	企画展「吉備の姿ー最近の発掘調査からー」			
	金箔唐草文軒平瓦	1						
	金箔巴文大形鳥衾瓦	1						
	金箔桐文鬼瓦	2						
	人物貼付鬼瓦	2						
岡山城二の丸（中国銀行本店）跡	金箔押し鬼瓦	1						
	唐津焼筒形碗	1						
岡山城本丸下の段	沢瀉文滴水系軒平瓦	1						
	揚羽蝶文軒丸瓦	1						
	中国製染付碗	1						
岡山城三之曲輪跡	備前三足鉢	1						
	唐津岸岳系・藁灰釉輪花碗	1						
	肥前陶器・染付皿	1						
	肥前陶器・染付四方皿	1						
	備前・水注	1						
	福岡系陶器・大皿	1						
	肥前陶器・染付鉢	1						
	漆塗子供用下駄	1						
羽子板	1							
南方(済生会)遺跡	木製短甲	11				15.10.16~15.12.4	山陽町教育委員会	企画展「正崎2号墳と甲冑展」
岡山市指定重要文化財（古文書）	備前備中国境並びに海面ご裁許絵図	2				15.10.8~15.11.4	岡山大学附属図書館	池田家文庫等貴重資料展「新田開発をめぐる争いー岡山藩の新田開発(2)ー」
岡山市史跡平賀元義由縁の地	写真	1	15.10.8~15.11.4	(株)KBC映像	九州街道ものがたりー歌人・大隈言道ー			
岡山市立歴史資料館足守文庫	掛け軸「寂巖」書	2	15.11.17~15.11.25	近水観光振興会	「足守ゆかりの作家展」			
史跡神宮寺山古墳	航空写真		15.11.21	(株)山陽エイブイシー	oniビジョン放送「横丁の歴史散歩」			
岡山城跡	軒丸瓦	2	15.12.12~16.3.21	和気町歴史民俗資料館	企画展「近世和気の瓦師」			
	軒平瓦	1						
	金箔瓦	2						
岡山城三之曲輪跡	備前大皿	1	15.12.17~16.5中旬	土岐市美濃陶磁歴史館	特別展「織部の流通圏を探るー西日本ー」			
	灰釉折縁ソギ皿	1						
	青花碗（漳州窯）	1						
岡山城二の丸（中国電力変電所）跡	志野向付	1						
二日市遺跡	天目茶碗	1						
	溝縁皿	2						
	青織部向付	1						
	長石釉丸皿	1						
	天目茶碗	1						
	鉄釉丸碗	1						
岡山城二の丸（中国銀行本店）跡	唐津向付	1						
	備前播鉢	1						
	青綾部小瓶	1						
岡山城本丸下の段	唐津大鉢	1						
	長石釉小鉢	1						
	軟質施釉陶器茶入壺	1						
	軟質施釉陶器碗	1						
	灰釉銅緑釉流し大鉢	1						
岡山市立歴史資料館足守文庫	浅黄威具足	1	16.3.15~16.5.15	山陽新聞社	春季特別展「池田家と近隣大名宝物展」			
	足洗桶	1						
	新撰自註桑華蒙求桜の版木	3						
	足守文庫蔵木下利房歌巻	1						
	花押(木下利徽木印)	5						

遺跡名等	資料名	点数	貸出期間	貸出先	事由
清山神社板倉家歴史資料	雉尾指物	1	16.3.15~16.5.15	山陽新聞社	春季特別展「池田家と近隣大名宝物展」
	内膳正重昌辞世和歌	1			
	金采幣	1			
	陣羽織	1			
	甲冑「靦鞆緑沈」	1			
	板倉重昌書状	1			
	錦陣羽織付帷子	1			
	幕府老中書状板倉重昌宛	1			
	板倉重矩書状長円寺宛	1			
	硯箱	1			
	菓子器	1			
	花器	1			
	後陽成天皇筆色紙	1			
	後光明天皇筆鎧櫃「前」の字	1			
	清山神社縁起	1			
	板倉勝全書	1			
	板倉勝弘書	1			
	板倉勝成書	1			
東照宮画像	1				
池田光政筆薫仲舒之語	1				
旧足守藩侍屋敷遺構蔵	木下利徳書額	1			
造山第2号古墳	円筒埴輪	1	16.3.25~17.3.31	岡山県立吉備路郷土館	常設展示

掲載許可等

許可日	遺跡名	資料名	点数	依頼主	掲載紙等
15.4.10	南方遺跡	細形銅剣	1	(株)小学館	『考古資料大観第6巻弥生・古墳時代 青銅・ガラス製品』
15.5.22	史跡高松城跡	写真ほか		(株)NHKソフトウェア	「その時歴史が動いた第3回天下分け目の天王山」
15.6.10	南方遺跡	木製甲一括	1	(株)小学館	『考古資料大観第7巻弥生・古墳時代 鉄・金銅製品』
15.7.17	史跡高松城跡 築堤跡(蛙ヶ鼻築堤跡)	遠景写真	1	(株)アムタス	『NTT東日本BUSINESS』9月号
		遠景写真	1		
15.7.17	木村コレクション	備前手桶水差	1	径ワークス	幻冬舎刊『やきものの旅・備前焼』
15.7.22	木村コレクション	お預け徳利	1	入澤企画制作事務所	双葉社刊『備前の徳利、唐津のぐい呑み一酒器をつくる』
		尻張り徳利	1		
		瓢徳利	1		
		阿古陀徳利	1		
		芋徳利	1		
		鶴首徳利	1		
		徳利	1		
肩衝徳利	1				
15.8.5	史跡造山古墳	航空写真	1	(株)アルバ	ポプラ社刊「デジタルポプラディア(仮)」
15.9.9		嘉永七年八月足守領郷村高辻帳	1	福島市教育委員会	『ふくしまの歴史』(近世編)
15.9.19	岡山城二の丸跡	将棋駒	1	堀進	『日本発掘出土将棋駒』
15.9.25	木村コレクション	備前緋襷鶴首徳利	1	入澤企画制作事務所	双葉社刊『季刊陶磁郎』第36号
15.10.22	大廻小廻山城	全景写真他	3	岡山県古代吉備文化財センター	WEB版遺跡地図「おかやま文化財情報GIS(仮称)」
	金蔵山古墳	埴輪列と葺石断面写真	1		
	南方遺跡	P26土器出土状況写真他	6		
	賞田廃寺	西塔基壇写真他	5		

許可日	遺跡名	資料名	点数	依頼主	掲載紙等
15.10.30	史跡倉安川吉井水門	二の水門	1	岡山県農林水産部	土地改良施設等の紹介誌
15.11.4	市立旭東幼稚園旧園舎	八角園舎	1	第53回全国幼稚園教育研究大会	第53回幼稚園教育研究大会(岡山大会)案内
15.12.10	造山古墳群	航空写真	計15	(株)小学館	『考古資料大観第4巻 弥生・古墳時代埴輪』
	造山2号墳	埴輪			
	造山4号墳	埴輪			
	南方(済生会)遺跡	分銅形土製品			
15.12.11		伝豪姫所用小袖下小布	1	(株)日本アート・センター	『週刊名城をゆく』第7号「金沢城」
16.1.30		岡山城跡平面図	1	(株)PHP研究所	『歴史街道スペシャル名城を歩く17 岡山城』
16.2.18	岡山城	埋没高石垣(宇喜多期)	1	(有)洛思社	新人物往来社刊『別冊歴史読本 名城を楽しむ』
		大納戸櫓台石垣	1		
		金箔瓦	1		
		埋没中の段西辺石垣(宇喜多期)	1		
16.2.24	岡山市埋蔵文化財センター	施設写真	2	河川港湾課長	CD-ROM版「瀬戸内いろは辞典」
岡山市立政田民俗資料館	施設写真				
16.2.25		伝豪姫所用小袖下小布	1	(株)PHP研究所	『歴史街道スペシャル名城を歩く17 岡山城』
16.3.2	史跡造山古墳	航空写真	1	(株)日本シネセル	「宮崎県立西都原考古博物館」展示映像
16.3.31	南方釜田遺跡	人形土製品	1	邑久町教育委員会	「熊山田遺跡」『邑久町埋蔵文化財発掘調査報告』1
	南方(済生会)遺跡	人形土製品	1		

資料調査

氏名	所属	資料名
	奈良文化財研究所	南方遺跡 木製短甲
宮永周平	岡山県古代吉備文化財センター	上道北方古墳 玉類
高畑富子	山陽町郷土資料館	南方遺跡 木製短甲
平田健	明治大学	南方遺跡 土器
三浦孝章	岡山大学	造山2号・4号古墳 埴輪
高橋健太郎	土岐市美濃陶磁資料館	岡山城・池田忠雄公墓 陶磁器
	東京国立博物館	ハガ遺跡 三彩
廣瀬覚	立命館大学	金蔵山古墳 造山2号・4号古墳 埴輪
中村大介	大阪大学	吉野口遺跡 南方釜田遺跡 土器
中原計	大阪大学	南方遺跡 木製品
中村朋子	大手前大学	南方遺跡 木製品
宮永秀和	橿原考古学研究所	南方遺跡 分銅型土製品
河本清	くらしき作陽大学	南方遺跡 土偶

視察

年月日	氏名等	目的
15.10.16	岡山県古代吉備文化財センター	施設見学
16.2.18	千葉県市原市議会議員	行政視察
16.2.27	富山県自然博物園 ねいの里	施設見学

発掘調査

平成15年度は下記の遺跡で発掘調査を実施した。

- ・川入・中撫川（市道2号線）遺跡 岡山市川入～中撫川
平成14年度より継続。
- ・岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡 岡山市弓之町9-27
平成14年度より継続。平成15年9月30日まで
- ・岡山城二の丸（市道丸の内16号線） 岡山市丸の内2丁目
平成15年9月1日～平成16年2月5日まで
- ・岡山城三之外曲輪（中央中）跡 岡山市蕃山町
平成16年3月8日～
- ・史跡賞田廃寺 岡山市賞田471他
平成14年度より継続。平成16年3月25日まで

現地説明会

平成15年度は下記の遺跡で現地説明会を実施した。いずれも多くの方々の参加を得ることができたことは、市民の埋蔵文化財に対する関心の高さを窺わせるものであった。今後もできる限り説明会を開催して、多くの方々が地域の歴史にふれることができるよう、発掘調査成果の公開につとめたい。

- ・川入・中撫川（市道2号線）遺跡
平成15年5月10日 参加者300名
- ・岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡
平成15年7月5日 参加者200名
- ・賞田廃寺
平成16年3月7日 参加者350名



川入・中撫川（市道2号線）遺跡



岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡



賞田廃寺

平成15年度埋蔵文化財発掘調査速報展

平成3年度から毎年、文化の日を中心とする文化財保護強調週間（11月1日～7日）にあわせて発掘調査速報展を実施している。

期間 平成15年10月29日（水）～31日（金）

場所 岡山市役所1階市民ホール

内容 足守南坂8号墳、川入・中撫川（市道2号線）遺跡、岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡、賞田廃寺

平成15年度埋蔵文化財発掘調査報告会

期日 平成15年11月1日(土)

内容 上記速報展で展示した遺跡等のスライド写真による報告と出土物等の解説。

職場体験学習の受け入れ

市内の中学校において実施されている、職場体験学習活動の受け入れを行っている。平成15年度は、3校の生徒が来所し、出土遺物の整理作業を体験した。また、市内発掘現場において発掘作業を体験した学校もあった。

報告書等の刊行

『ハガ遺跡－備前国府関連遺跡の発掘調査報告－』

『百間川沢田遺跡－原尾島ポンプ場建設工事に伴う発掘調査－』

『岡山市埋蔵文化財センター年報3 2002(平成14)年度』

ホームページの公開

・ホームページの公開と更新状況

岡山市埋蔵文化財センターのホームページも開設して3年になる。年間5,000件程度のアクセスがあり、当センターの年間来館者数が500～800人、発掘調査の現地説明会への参加者が300人前後というところから見ても、埋蔵文化財の情報を公開する媒体として重要なものとなっていることがわかる。

ホームページは13年度末以来大きな変更は行われていない。しかし「発掘調査情報」、「今月の一品」はほぼ毎月の更新が行われている。

・ホームページの構成と掲載情報

ホームページはトップページ以下、埋蔵文化財センターの施設や業務などを紹介するページと、発掘調査や収蔵品など考古学情報を紹介するデータベース的なページとの、大きく2部構成をとっている。

●センターの案内

「来館案内」 センターの位置や会館情報を掲載。

「施設案内」 センターの建物や、施設・設備を紹介。

「展示案内」 センター展示室の様子を紹介。岡山市のネットミュージアム「リットシティミュージアム」で公開しているセンター展示室の3D映像へのリンクも設けている。

(URL) <http://www.city.okayama.okayama.jp.museum/maizou/>

●センターの仕事

「センターの業務」 センターの業務内容の紹介。

「出版物案内」 センターおよび岡山市教育委員会文化財課が刊行している、発掘調査報告書等文化財関係の出版物の紹介と案内。

●もっと知りたい

「Q & Aコーナー」 センター等に寄せられた質問等にお答えするページ。

「リンクのコーナー」 岡山市教育委員会文化財課や文化財関連施設、県内の発掘調査機関等のサイトへのリンク集。

★発掘調査情報

「発掘調査情報」 現在実施中の発掘調査の情報。平成15年度は以下の4遺跡の調査を速報的に紹介。

・川入・中撫川遺跡

岡山市中撫川～川入

- ・清水廃寺 岡山市芳賀
- ・岡山城二の丸（市道丸の内16号線）跡 岡山市丸の内2丁目
- ・岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡 岡山市弓之町
- ・史跡賞田廃寺 岡山市賞田

「現地説明会資料」 これまで開催した発掘調査の現地説明会資料をHTML形式で掲載。今年度は以下の2遺跡を掲載した。HTML版のみならず一部にPDF版もある。

- ・川入・中撫川（市道2号線）遺跡現地説明会資料（2003/05/10）
- ・岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡現地説明会資料（2003/7/5）

「速報展資料」 岡山市役所1階ホールで開催した、平成15年度埋蔵文化財発掘調査速報展の資料を掲載。

★収蔵品紹介

「今月の一品」 収蔵品の中から毎月一件ずつを選んで掲載。今年は以下の12件を掲載。

- 第26回 南方遺跡出土のイノシシ（ブタ）頭骨
- 第27回 吉備津杉尾西遺跡出土 玉髓製搔器
- 第28回 岡山城本丸出土 焼けた天守の瓦
- 第29回 津寺（加茂小）遺跡出土 黥面土偶
- 第30回 ハガ遺跡出土 獣形硯
- 第31回 妹尾住田遺跡出土 緑釉陶器
- 第32回 川入・中撫川遺跡出土 石帯
- 第33回 南方遺跡出土 分銅形土製品
- 第34回 川入・中撫川遺跡 神功開宝
- 第35回 赤田東遺跡 環状石斧
- 第36回 吉野口遺跡 黒曜石剝片
- 第37回 南方遺跡 銅剣形木製品

★岡山市の主要古墳（試作版） 岡山市域に所在する主要な古墳32基を紹介。

★岡山市の発掘調査（試作版） 岡山市教育委員会が1968年以降実施した発掘調査のリスト。

（URL） <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/maibun/>

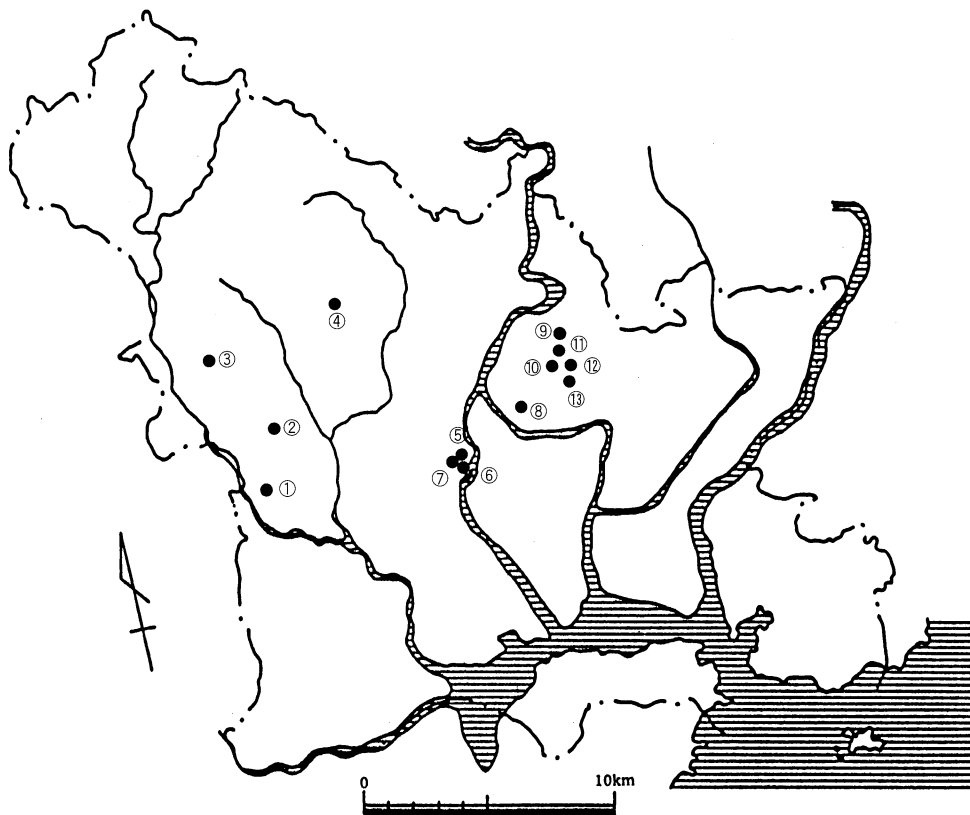
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

平成13年度から当協議会に入会し、平成15年度に参加したのは下記のとおりである。

平成15年度総会	平成15年5月29日～30日	富山県富山市
第16回研修会	平成15年11月13日～14日	宮崎県宮崎市

Ⅱ 発掘調査等の概要

- ① 川入・中撫川遺跡
- ② 大崎廃寺
- ③ 吉野口遺跡(普賢院)
- ④ 清水廃寺
- ⑤ 岡山城三之外曲輪(旧弘西小)跡
- ⑥ 岡山城二の丸(市道丸の内16号線)跡
- ⑦ 岡山城三之外曲輪(中央中)跡
- ⑧ 原尾島遺跡
- ⑨ 史跡賞田廃寺
- ⑩ 中井遺跡
- ⑪ 南古市場遺跡
- ⑫ 雄町遺跡
- ⑬ 乙多見遺跡

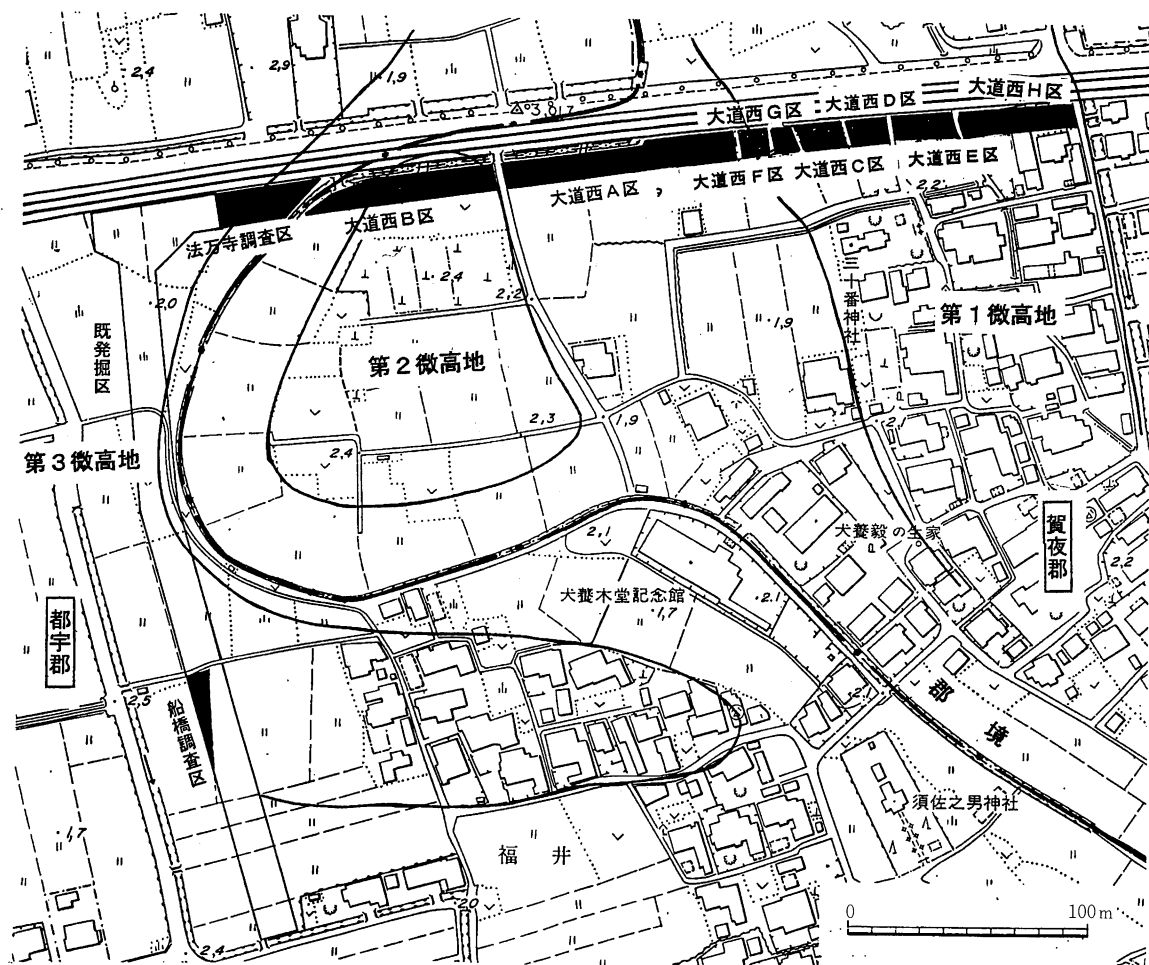


川入・中撫川（市道2号線）遺跡

所在地	岡山市中撫川	調査期間	020801～040430
調査原因	市道建設	調査面積	3500m ² （今年度1100m ² ）
時代	弥生時代前期～中世	担当者	草原孝典・西田和浩

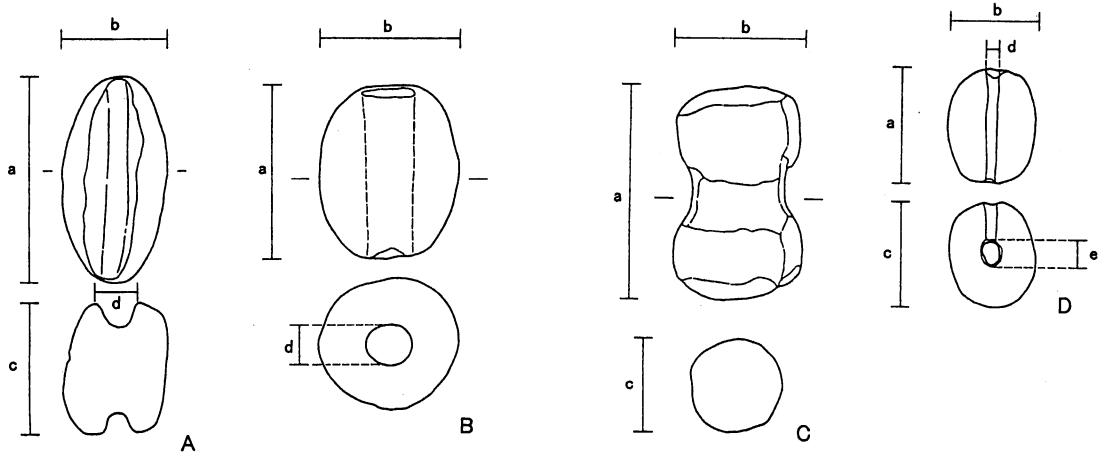
遺跡の概要 川入・中撫川遺跡は、かつて新幹線、都計道路、県道、市道建設に伴って発掘調査がおこなわれた。その結果、奈良時代の築地塀、奥山久米寺式の軒丸瓦などの特異な遺構・遺物が検出されており、旧地形では内海に面した足守川河口に位置していたことになることから、公的な港湾施設、もしくはそれに関係する遺跡と考えられている。また、古墳時代の開始を告げる土器型式ともされる「布留0式」の基準資料も出土している。

調査の概要 昨年度からの継続事業である。法万寺調査区では13世紀前半の河道埋土から大きな土錘が多量に出土した。同様の土錘は小片が出土する遺跡はあるものの、完形品がまとまって出土するのは現況では当遺跡のみである。とりあえず完形品に関しての実測図と計測値は表に示した（第1図）。



第1図 発掘区域図

凡 例



ヘラ記号

1 : ○ 2 : ○○ 3 : ° 4 : \ 5 : ×

No	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d [e] (cm)	重量 (g)	ヘラ記号	形 態
1	10.4	5.6	6.7	1.8	409.4	1	A
2	11.8	5.5	6.5	2.0	413.8	—	A
3	10.2	6.6	6.1	1.7	375.8	—	A
4	11.7	5.7	7.7	1.6	564.3	—	A
5	10.5	7.3	8.0	2.0	589.0	2	A
6	10.0	5.8	5.7	2.0	330.3	2	A
7	10.1	5.3	5.5	1.7	367.6	1	A
8	10.3	6.7	7.7	1.8	467.8	2	A
9	10.7	6.0	7.2	1.6	399.5	2	A
10	11.7	4.5	5.8	1.5	285.7	—	A
11	11.2	5.5	6.2	1.9	362.7	3	A
12	11.6	5.7	7.1	1.8	476.0	—	A
13	10.6	7.0	7.2	2.0	514.2	—	A
14	11.8	5.2	6.6	1.8	427.4	—	A
15	9.8	6.4	6.4	1.6	379.4	—	A
16	12.7	5.4	6.8	1.9	486.4	—	A
17	9.4	6.0	7.0	1.5	345.9	—	A
18	10.4	5.5	5.5	1.6	334.6	—	A
19	11.0	4.8	5.8	1.5	317.4	2	A
20	11.0	5.9	5.7	1.5	371.6	1	A
21	10.7	6.1	6.7	1.5	418.5	2	A
22	10.4	6.0	5.5	1.6	319.7	—	A
23	9.8	5.7	6.2	1.4	334.3	—	A
24	11.0	6.4	7.2	1.9	482.8	—	A
25	10.9	5.7	7.2	1.6	462.4	—	A
26	10.5	5.8	7.4	1.8	459.3	—	A
27	10.0	7.4	6.0	1.1	455.1	2	A
28	10.2	5.5	6.2	1.5	354.6	—	A
29	10.3	5.7	7.3	1.9	382.6	—	A
30	9.3	6.1	6.7	1.7	372.6	—	A
31	9.2	6.0	6.2	1.5	290.2	—	A
32	11.0	6.5	5.4	1.7	391.9	—	A

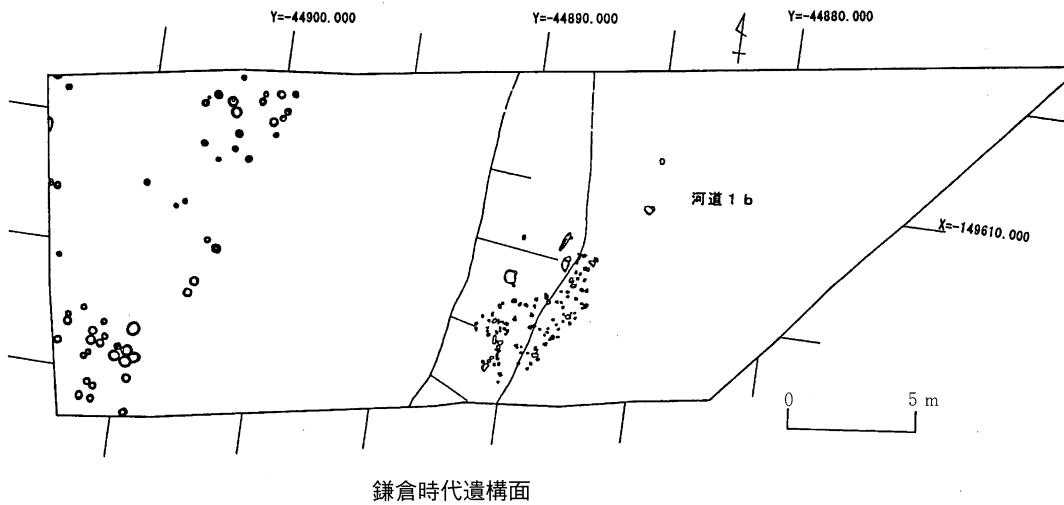
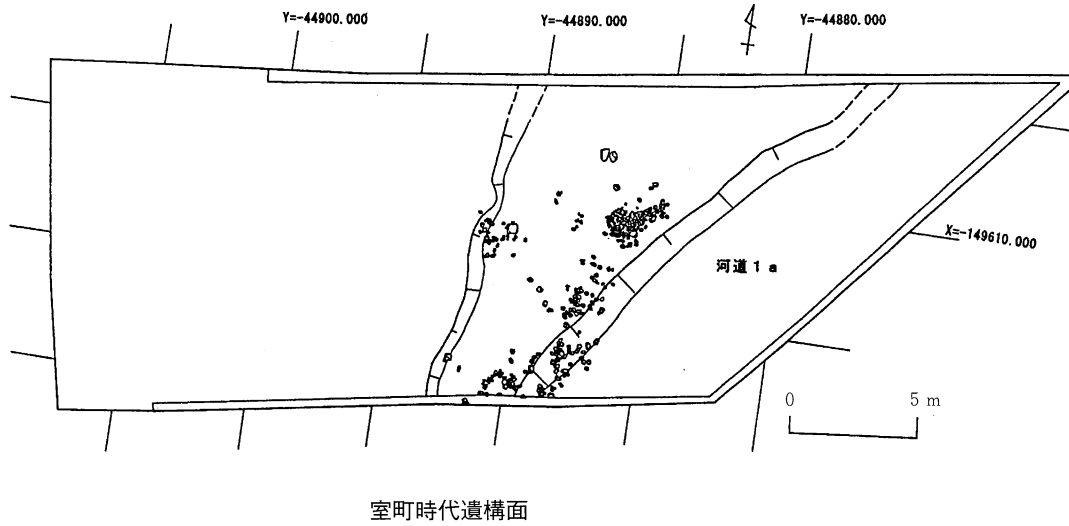
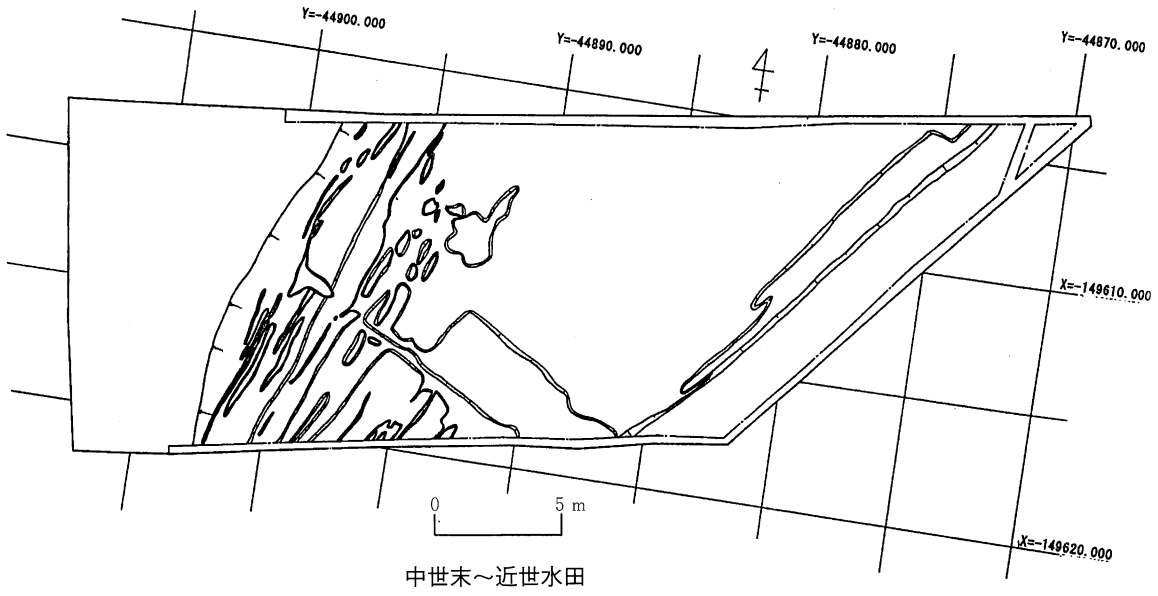
表1 土錘計測表(1)

33	10.1	6.7	7.0	1.5	509.8	1	A
34	10.1	5.7	7.7	1.7	496.1	—	A
35	10.1	7.2	6.4	2.1	501.2	—	A
36	10.2	5.5	6.4	2.2	401.0	2	A
37	10.2	5.1	6.3	1.9	334.0	—	A
38	10.3	6.1	7.0	1.3	430.9	—	A
39	9.1	4.7	7.4	1.5	365.6	—	A
40	10.4	5.7	7.2	1.9	411.5	1	A
41	9.9	6.0	7.0	1.6	382.1	—	A
42	9.3	6.7	6.6	1.4	428.9	—	A
43	9.7	6.6	6.3	2.3	398.6	—	A
44	10.8	7.4	7.1	2.0	519.4	4	A
45	10.7	5.5	6.0	1.5	336.1	—	A
46	10.4	6.1	5.5	2.1	342.4	—	A
47	10.0	6.0	6.8	1.8	362.2	—	A
48	11.0	4.7	6.5	1.7	317.8	—	A
49	10.3	6.6	6.9	1.5	491.6	—	A
50	11.1	5.4	7.3	2.0	406.5	—	A
51	10.0	6.4	7.2	2.2	473.3	—	A
52	9.3	7.0	5.4	1.3	363.2	—	A
53	9.8	6.3	6.8	1.7	413.7	—	A
54	11.2	6.2	7.4	2.0	517.4	2	A
55	9.0	6.0	6.0	1.6	326.0	—	A
56	11.5	5.0	6.7	1.8	374.9	—	A
57	11.1	6.4	7.0	1.6	470.5	1	A
58	10.6	6.0	6.0	1.3	395.0	2	A
59	9.1	6.0	6.9	2.2	352.9	—	A
60	10.6	5.5	6.8	1.9	383.1	—	A
61	10.4	6.8	6.0	1.6	440.8	—	A
62	9.6	5.2	6.6	1.6	364.1	—	A
63	9.7	5.1	6.7	2.0	311.7	—	A
64	11.0	6.0	7.1	1.7	431.7	—	A
65	10.7	5.6	5.8	1.2	352.1	1	A
66	10.2	5.9	6.6	1.6	375.5	2	A
67	10.0	7.0	6.8	1.5	497.5	—	A
68	10.5	6.5	6.8	1.3	376.1	—	A
69	10.5	6.0	6.4	1.4	350.4	—	A
70	8.1	6.8	6.6	1.5	354.1	—	A
71	10.3	6.0	5.3	1.3	346.2	—	A
72	10.4	6.1	6.8	1.2	421.1	—	A
73	11.0	5.4	6.0	2.0	322.3	5	A
74	8.9	5.2	5.5	1.5	271.5	—	A
75	9.9	5.6	6.4	1.5	352.0	—	A
76	10.7	5.7	6.6	1.6	391.4	2	A
77	11.4	5.7	7.4	1.8	454.8	—	A
78	9.6	6.0	6.5	1.6	352.2	3	A
79	10.8	5.6	7.1	1.8	461.8	—	A
80	11.0	5.2	6.8	1.8	381.6	—	A
81	8.3	5.8	6.4	1.6	302.5	—	A
82	9.9	5.2	5.9	1.5	296.3	—	A
83	9.6	5.0	5.6	1.4	289.0	—	A
84	9.5	6.3	6.9	1.7	399.8	—	A
85	9.6	6.2	6.9	1.5	388.3	—	A
86	10.6	7.4	7.5	1.7	570.3	2	A
87	13.9	6.0	7.4	1.7	570.7	—	A
88	11.0	6.0	8.2	1.8	554.4	3	A

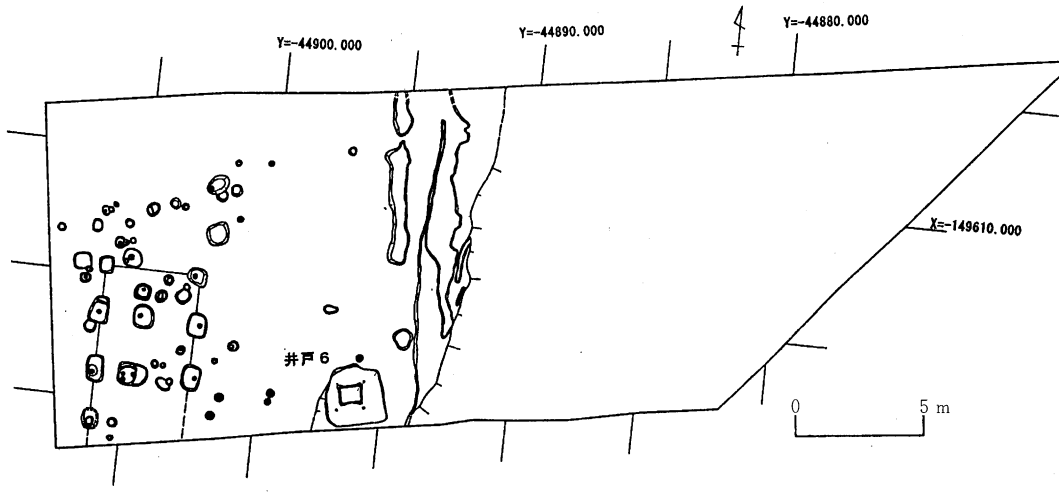
表2 土錘計測表(2)

89	10.2	6.1	6.6	1.2	353.2	—	A
90	10.4	5.9	6.3	1.3	403.9	5	A
91	9.1	7.0	6.0	1.6	356.2	—	A
92	10.6	5.3	7.1	1.7	438.2	—	A
93	9.4	6.4	6.0	1.3	355.2	2	A
94	11.0	5.7	6.8	1.8	444.0	—	A
95	8.6	6.0	6.0	1.0	281.7	—	A
96	9.3	5.7	5.3	1.5	318.5	—	A
97	10.0	5.6	7.0	1.5	357.3	—	A
98	10.7	5.3	6.0	1.5	359.8	—	A
99	8.5	5.2	6.4	1.2	289.6	—	A
100	9.3	5.6	6.2	1.3	353.9	—	A
101	9.6	6.0	6.8	1.5	365.7	—	A
102	9.1	5.5	6.2	1.4	306.1	—	A
103	9.0	5.2	6.7	1.5	335.8	—	A
104	10.1	6.0	6.8	1.6	391.3	—	A
105	8.1	3.5	3.0	0.6	81.7	—	A
106	6.6	2.7	2.9	0.7	51.8	—	A
107	10.7	6.5	7.7	1.6	499.2	—	B
108	7.5	6.0	—	1.9	257.6	—	B
109	9.2	7.5	—	2.2	390.6	—	B
110	8.1	6.0	—	1.3	336.9	—	B
111	8.1	6.1	—	2.6	261.9	—	B
112	9.6	6.0	—	2.0	370.0	—	B
113	9.7	6.2	—	2.2	406.9	—	B
114	7.8	7.0	—	2.2	339.7	—	B
115	8.6	5.7	—	2.2	242.7	—	B
116	8.5	6.1	—	1.5	319.5	—	B
117	10.5	6.0	—	2.0	346.0	—	B
118	8.9	7.5	—	2.3	456.4	—	B
119	7.4	5.4	—	2.0	195.7	—	B
120	11.0	7.0	3.0	—	561.7	—	C
121	13.0	8.2	2.1	—	933.7	—	C
122	2.8	3.0	—	0.5【0.7】	21.0	—	D
123	2.5	2.8	—	0.3【0.5】	15.7	—	D
124	2.7	2.8	—	0.3【0.7】	17.5	—	D
125	3.2	3.2	—	0.5【0.5】	28.4	—	D
126	2.8	2.6	—	0.4【0.6】	15.6	—	D
127	2.5	2.4	—	0.3【0.6】	15.2	—	D
128	2.5	2.5	—	0.3【0.6】	14.5	—	D
129	2.3	2.5	—	0.4【0.6】	12.7	—	D
130	2.6	2.9	—	0.4【0.6】	21.5	—	D
131	3.2	2.1	—	0.3【0.5】	26.5	—	D
132	3.0	2.2	—	0.5【0.5】	14.3	—	D
133	2.7	2.5	—	0.4【0.6】	15.9	—	D
134	3.0	2.4	—	0.3【0.7】	16.4	—	D
135	2.9	3.2	—	0.4【0.6】	27.5	—	D
136	2.5	2.2	—	0.6【0.6】	10.2	—	D
137	2.5	2.4	—	0.4【0.7】	15.4	—	D
138	2.8	2.9	—	0.4【0.6】	19.9	—	D
139	2.7	2.6	—	0.4【0.6】	15.5	—	D
140	2.5	2.1	—	0.5【0.6】	11.9	—	D
141	2.1	2.3	—	0.6【0.6】	10.2	—	D
142	3.2	2.4	—	0.5【0.6】	20.0	—	D
143	3.0	2.3	—	0.5【0.6】	18.0	—	D

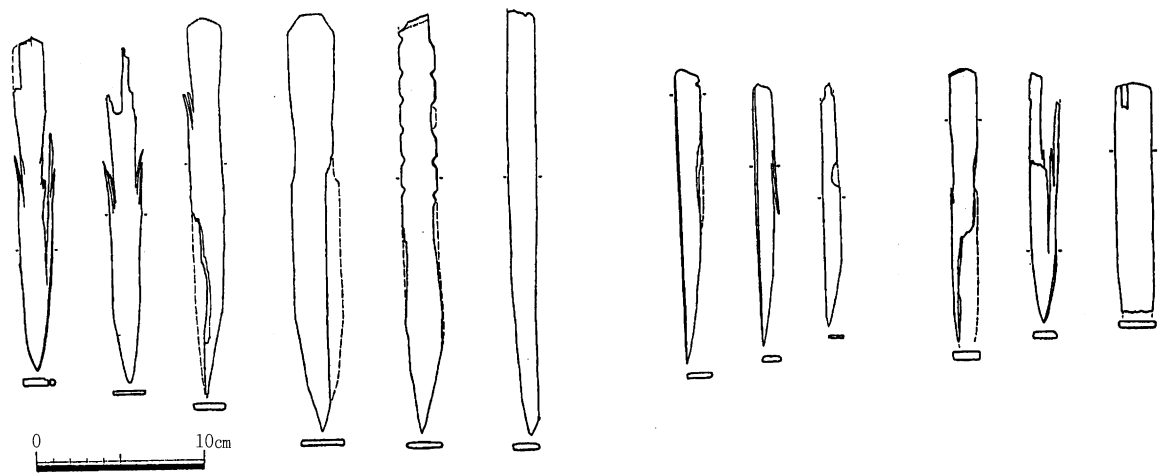
表3 土錘計測表(3)



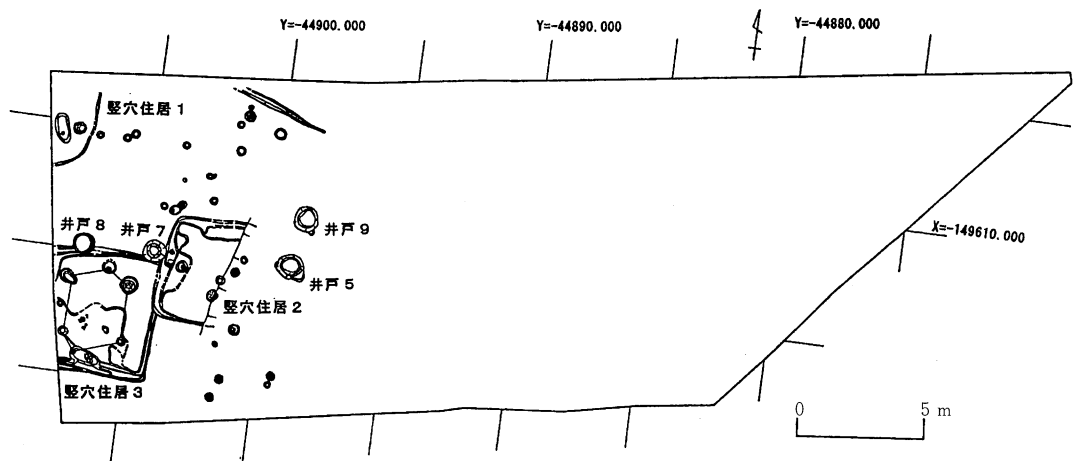
第2図 法万寺調査区遺構図(1)



平安時代遺構面

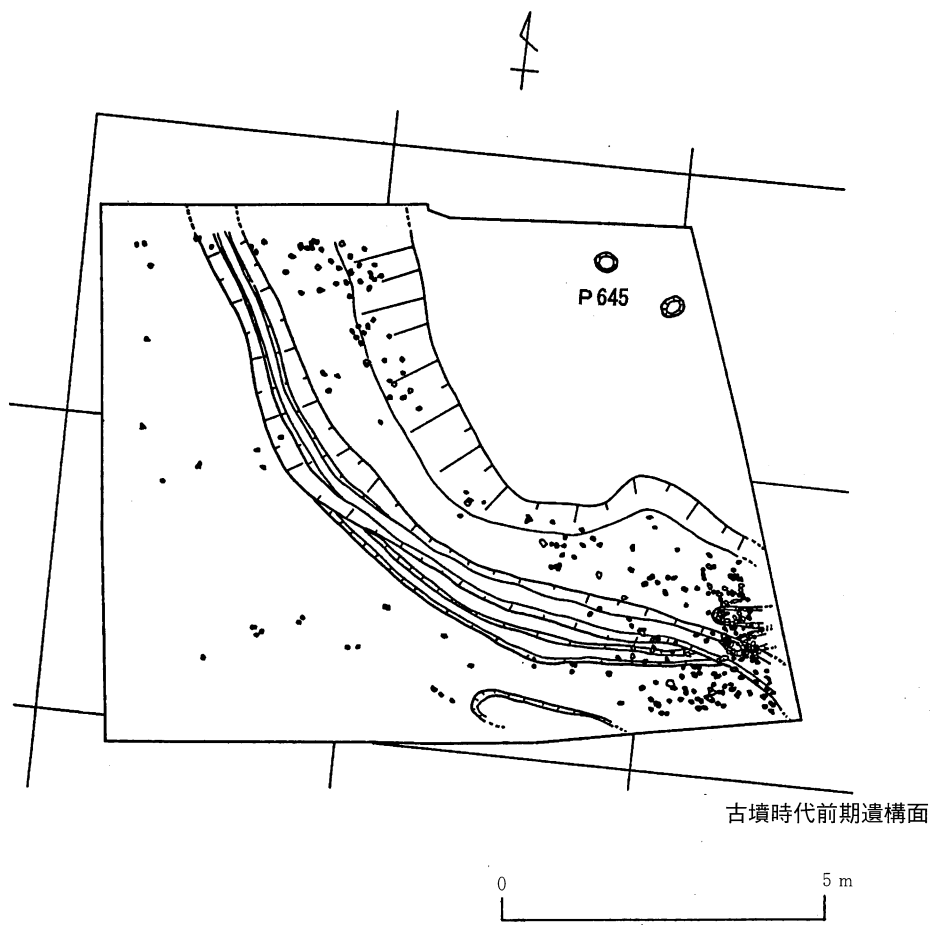
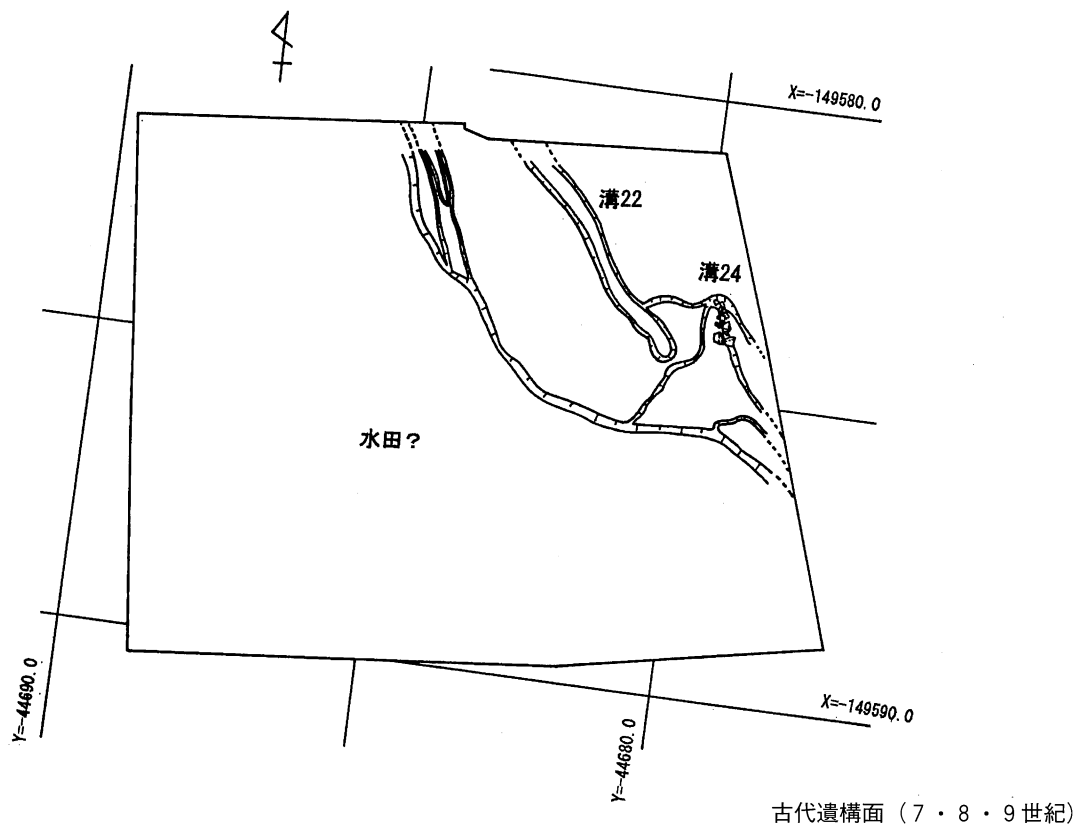


井戸6 出土遺物

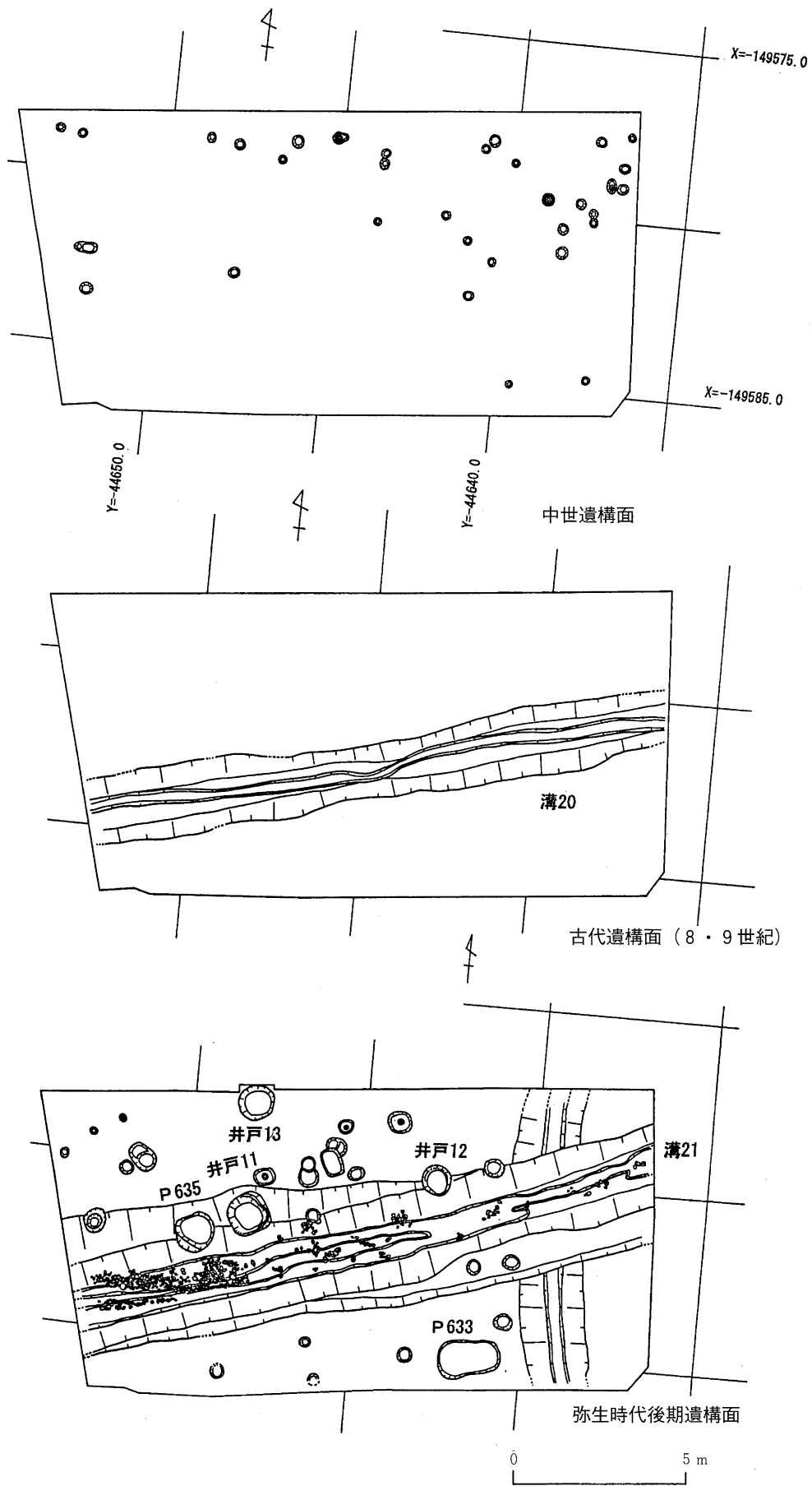


古墳時代遺構面

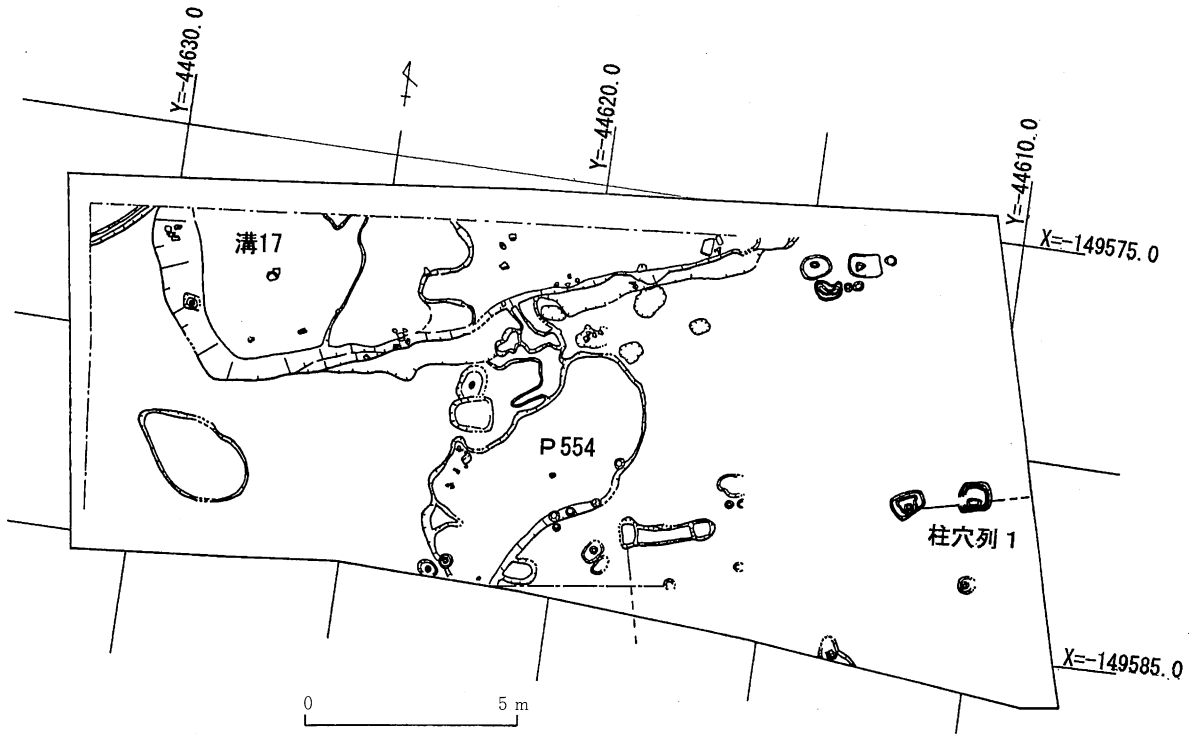
第3図 法万寺調査区遺構図(2)および井戸6 出土遺物



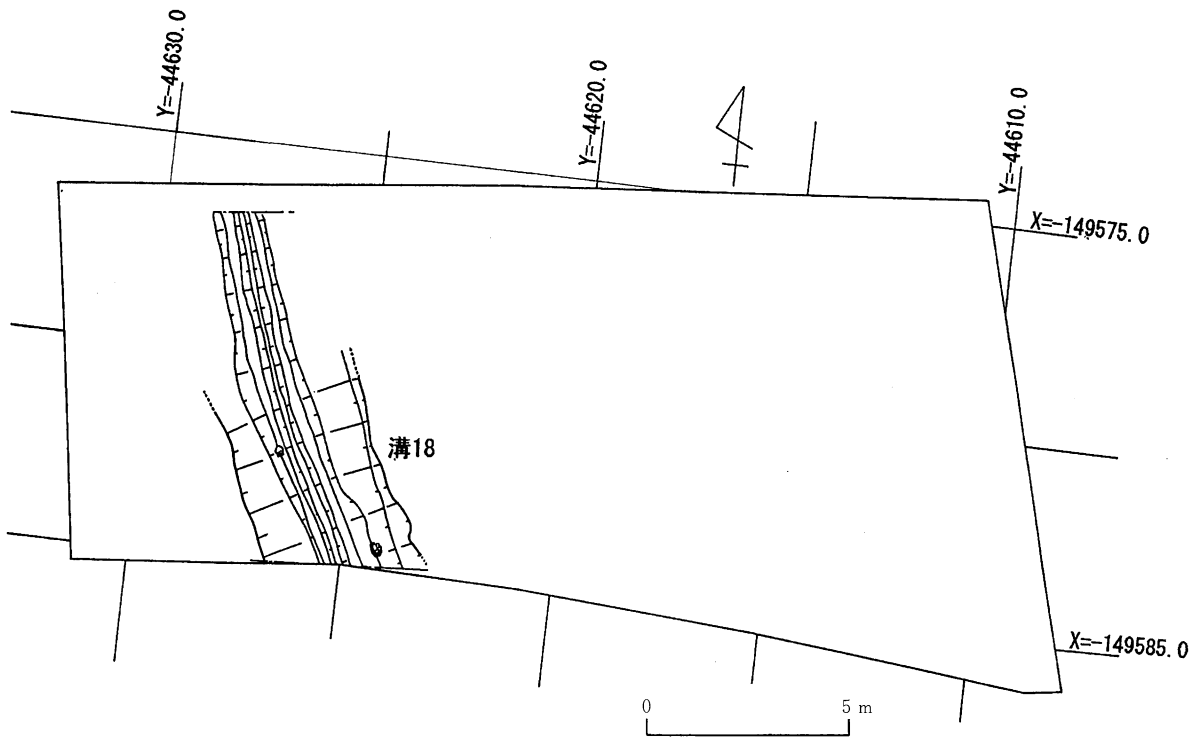
第4図 大道西G調査区遺構図



第5図 大道西D調査区遺構図

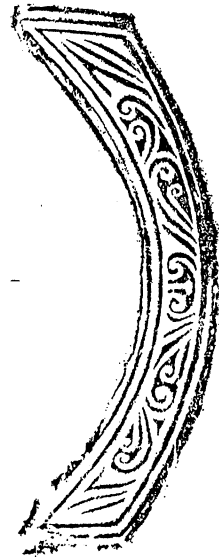
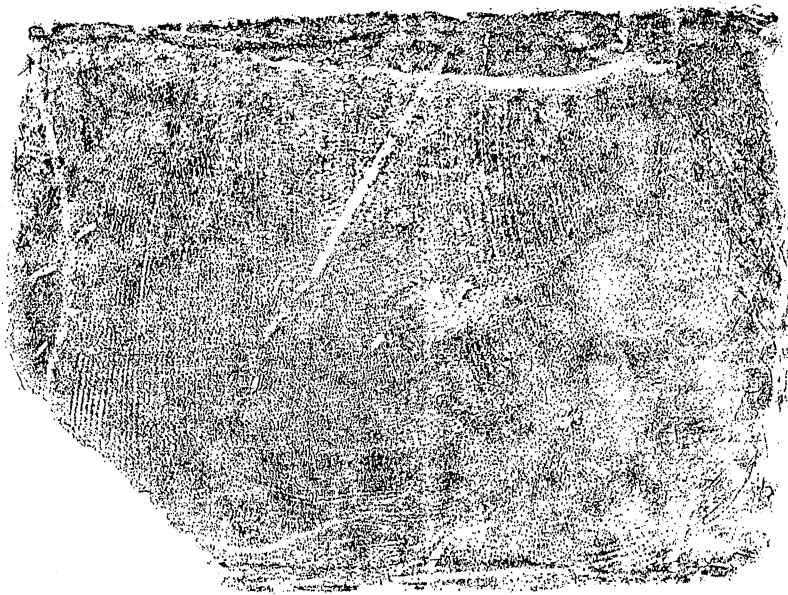
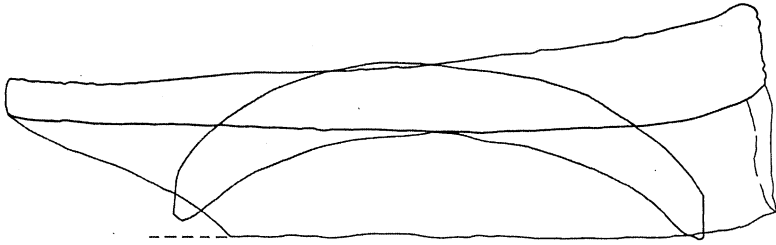
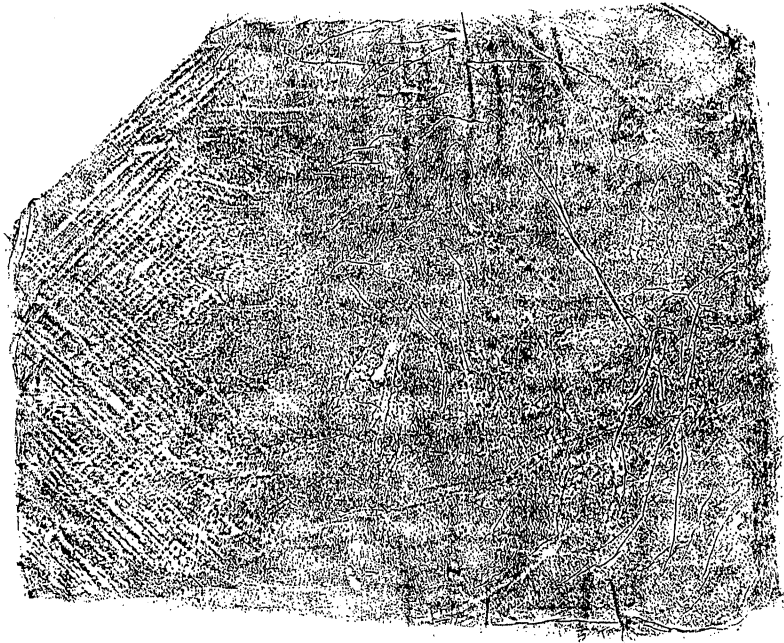


大道西E区 奈良時代遺構面

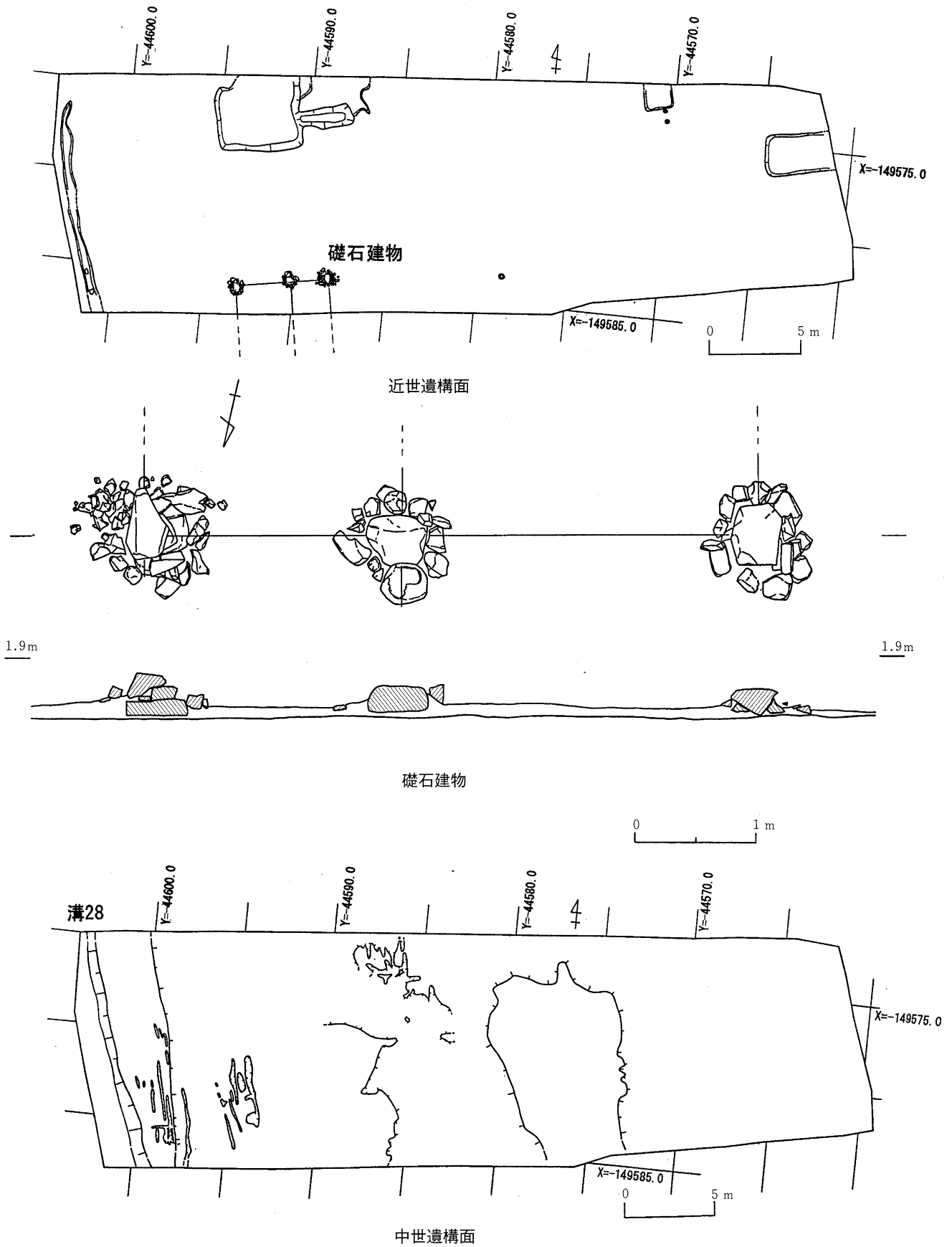


大道西E区 古墳時代前期遺構面

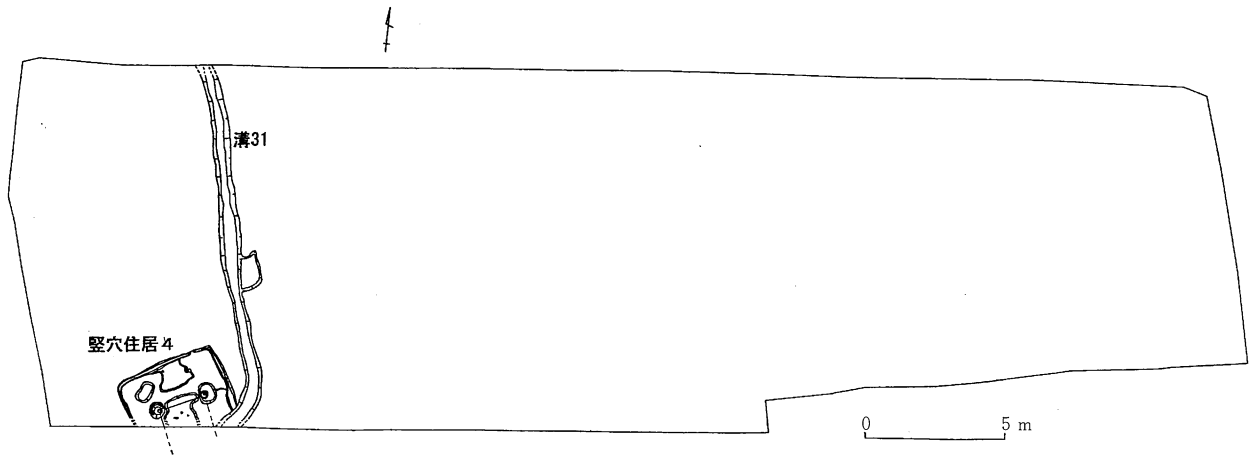
第6図 大道西E調査区遺構図



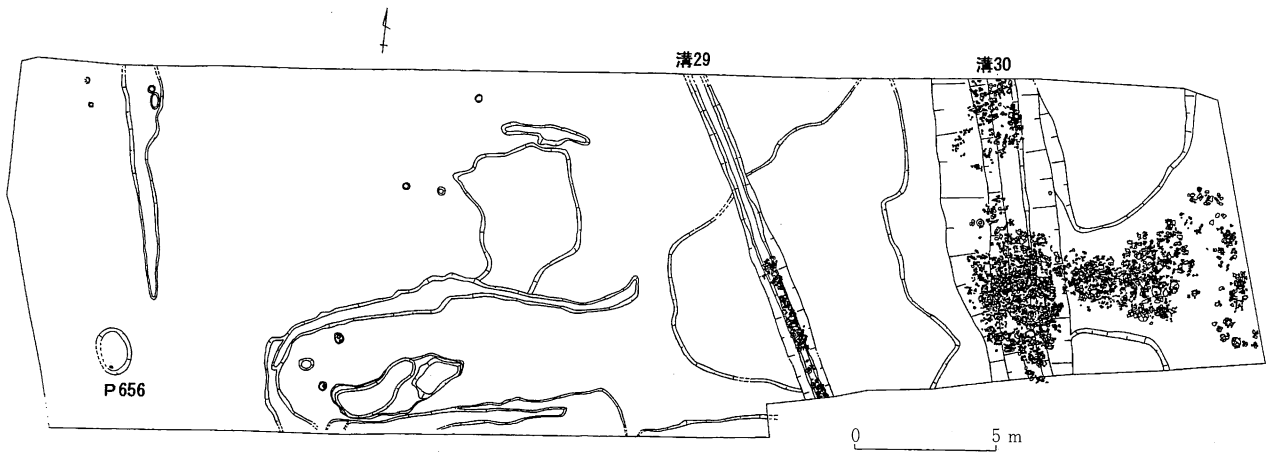
第7図 溝17出土遺物



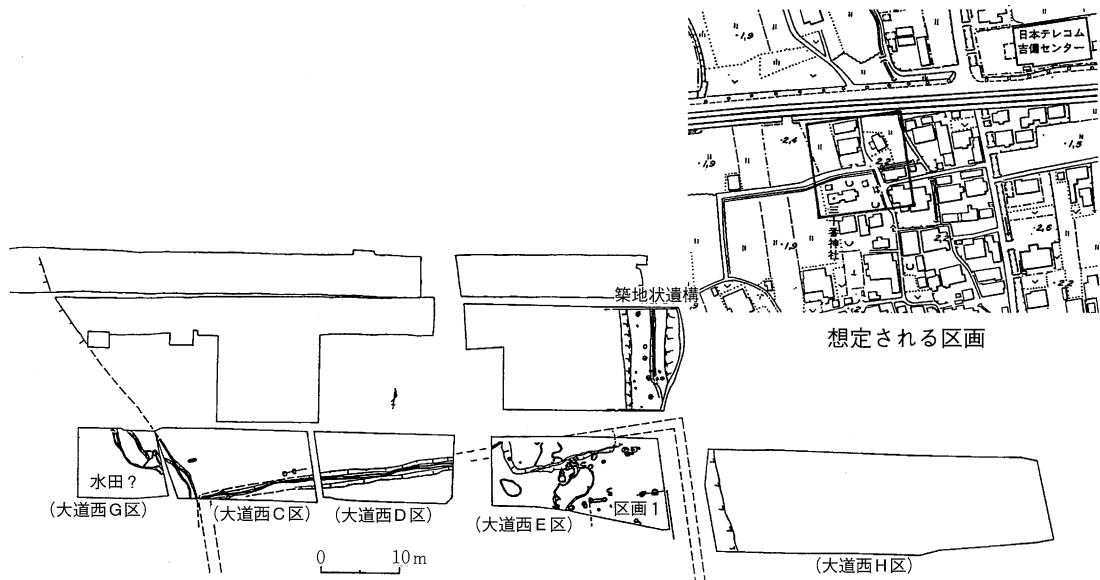
第8図 大道西H調査区遺構図



大道西H区 古墳時代遺構面



大道西H区 弥生時代遺構面



第1微高地 古代遺構面合成図

第9図 大道西H調査区遺構図および第1微高地古代遺構全体図

微高地上からは中世～古代の建物、井戸と古墳時代の
竪穴住居や井戸が検出された。大道西調査区（第1微
高地）では、一部については昨年度に調査をおこなっ
ており、8・9世紀の溝、弥生時代後期中葉の溝や同
後葉の井戸などが検出された。8・9世紀の溝からは、
多量の瓦が出土しており、今年度の調査でも同様に、
ほぼ完形の軒平瓦も出土した。また隅瓦も数点あり、
新幹線建設に伴う調査では鬼瓦片も出土していること
から、かなり本格的な瓦葺き建物が存在していたと考
えられる。さらに凝灰岩製の基壇の破片も出土している。



第10図 溝30遺物出土状況

二彩陶器の破片や灯明痕のある須恵器の杯などが
出土していることから、その建物は寺院であった可能性が最も高い。今回検出された溝は調査区の南
側へ屈曲することから、調査区南側にある一辺60mほどの方形区画の北側を画する溝である。調査区
北側の新幹線建設に伴う調査では、築地塀とされる遺構が検出されている。しかし、この位置は区画
の東端にあたり、北からの入り口に付属する通路であったとする理解と、この部分は中世の溝とも重
なっており、この溝の両脇には畦畔と考えられる基盤層の削り残しがあることから、その築地塀とさ
れる高まりもこの畦畔の一部であったとする理解ができる。現況では確定できないが、区画の東端に
通路を付属させるのもやや不自然であり、後者の可能性が高いように思われる。

弥生時代後期中葉の溝は、西側では東西方向で検出されたが、大道西H区で南側へ曲がり、調査区
を南北方向に横切っている。この溝の最終埋土には多量の土器が投棄されており、土器は折り重なる
ような出土状況を呈していた。完形品も多く含まれているが、一方、焼成破裂を生じたものもかなり
認められる。大道西H区では、微高地端部であることからか井戸などは検出されなかったが、不整形
な土壌がいくつか検出された。検出面からの深さは浅いが、ある特定の地層だけを面的に採掘してい
るようにも観察されることから、粘土取り穴であると思われる。おそらく、近辺で土器の焼成をおこ
ない、焼成不良品を中心にこの溝へ投棄したのではなかろうか。

古墳時代にはいると、竪穴住居や溝が検出されているものの、遺構・遺物の量は少ない。ただ、法
万寺調査区と大道西H区の竪穴住居の柱の掘り方から手あぶり形土器が出土しており、当遺跡におけ
る竪穴住居の1つのパターンを示しているかもしれない。

中世では13世紀以降の柱穴や土壌が認められるが、法万寺調査区と比べると密度は極端に少ない。
調査区西端で検出された溝28は15世紀の時期であり、これは8、9世紀の区画の東端を削平し、現在
の用水路へも引き続き利用されている。該期以降の遺構や遺物がほとんど出土しないことから、かな
り大規模な水田開発がおこなわれたと考えられる。

まとめ 調査の結果、川入・中撫川遺跡が少なくとも3時期に画期点が存在することがわかった。
まず、弥生時代後期中葉で、極めて数多くの土器を一度に廃棄している溝に代表され、小片ではある
が特殊器台や特殊な文様を施文した土器片なども出土していることから、当遺跡の背後に存在する楯
築墳丘墓との関連がうかがわれる。次は、奈良時代から平安時代にかけてで、古代寺院や居住施設を
伴った官衙施設である。寺院には地方では極めて使用が希な凝灰岩の基壇を用いており、瓦の文様は
平城宮式を模倣していることから、かなり上級官衙に属することが推測される。律令制的祭祀具とさ
れる斎串が県下で最も多く出土していることから、国府に関係する官衙の可能性が高い。海に面し
た河口に立地していたことから、国府津であることが推測される。次は、鎌倉時代で、多量の巨大な
土錘が出土し、中国製陶磁器や畿内の瓦器、讃岐の土器などもかなり出土していることから、物流や
漁業を盛んにおこなっていた港湾施設であったと考えられる。

大崎 廃 寺

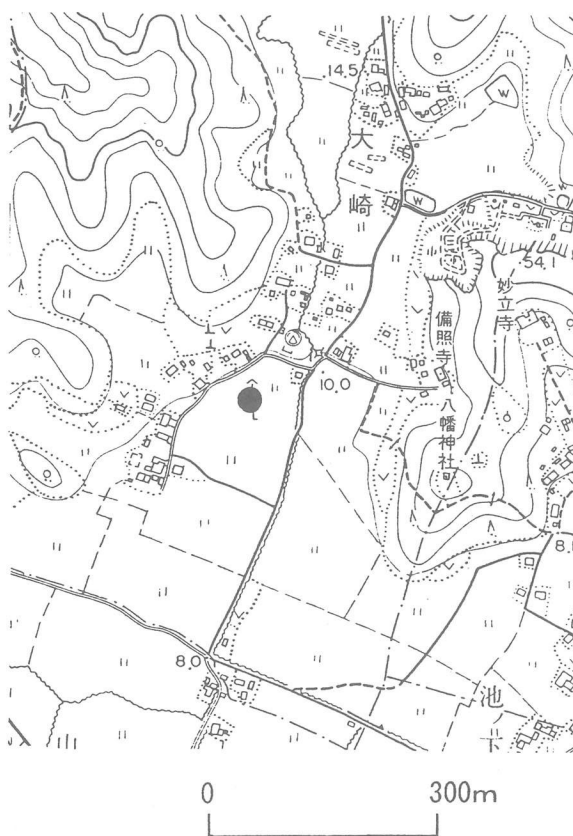
所在地 岡山市大崎
調査原因 水路改修
時代 古代～中世

調査期間 040305～040306
調査面積 390m²
担当者 草原孝典

遺跡の概要 大崎廃寺は、足守川中流域東岸の沖積平野部に面した山裾部の扇状地上に位置する。古代の行政単位では備中国賀夜郡である。背後の山間部には多数の横穴式石室があり、一部には群集墳も認められる。石室全長が10mをこえる盟主墳も存在し、古墳から古代寺院の造営までを継続的にとらえることができる。遺跡の現状は水田であり、基壇の名残と推測される高まりが3ヶ所認められる。そのうち南北に直線的に並んだ高まりを当初の基壇とし、「四天王寺式」の伽藍配置を想定する考えもある。地元在住の方の話では、現水田直下1mぐらいに大量の瓦層があるとのことであり、遺構はかなり良好な状態で埋没している可能性が高い。採集されている瓦には、飛鳥期の素弁蓮華文軒丸瓦、白鳳期の「水切り」をもつ素弁蓮華文軒丸瓦、奈良期、鎌倉期の軒瓦などがある。

調査の概要 既存の水路にヒューム管を埋設するだけであるため、掘削をほとんどおこなわないことから、結果として切り直した現況水路の壁面を観察することになった。工事は第1～第3基壇の縁辺でおこなわれたものの、直接基壇に関わったのは最も南側にある第3基壇のみである。第3基壇は現況で三角形の平面形を呈し、北にある第1、第2基壇と軸方向がずれている。断面観察の結果(A)、この基壇は基本的に近・現代の盛り土で、その下部に平瓦を伴う包含層が存在していることがわかった。(B)は第2基壇の西側にほぼ平行する位置で、現水田下0.4mに平瓦を含む包含層が認められる。(C)は第1基壇の西側の位置で、現水田下0.6mのところで山裾部の山土のベースが認められる。第1基壇は地山の整形をかなり利用している可能性が高い。(D)は第1基壇の背後で、現水田層直下(GL-0.3m)に山土のベースが認められる。現在、第1基壇の周辺や背後は、平坦な水田面となっているが、旧地形はかなり山裾部の地形が残存していたことがうかがわれる。

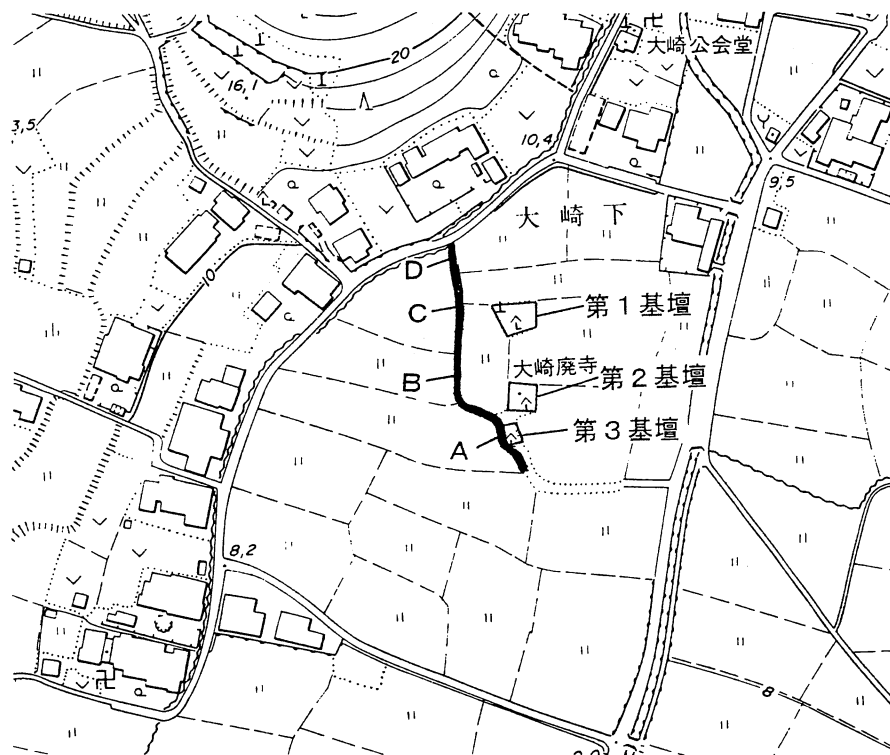
出土遺物は、弥生土器とも思われる土師質の土器の小片が認められた以外は、瓦ばかりであった。しかも、表面が若干摩滅しており、二次的な埋没が考えられる。(2)は平瓦で凹面は布目、凸面は板ナデ、(3)は丸瓦で、凹面は布目、



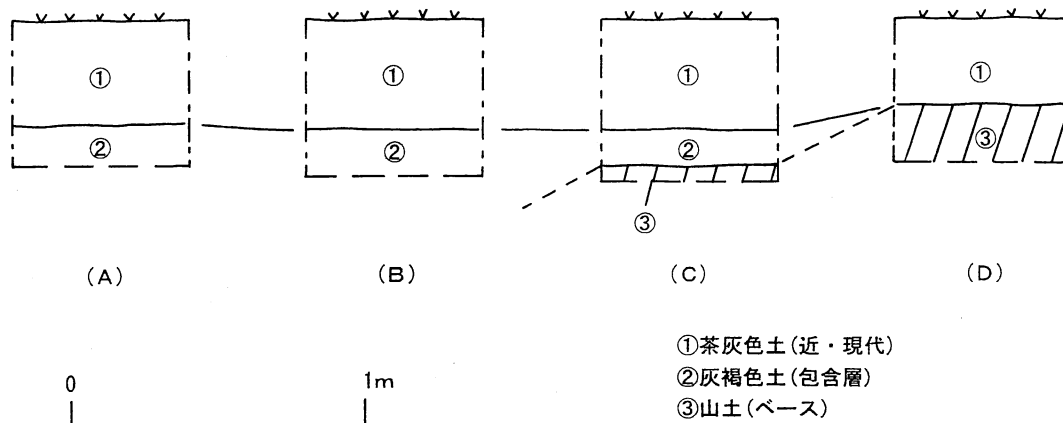
第1図 調査位置図



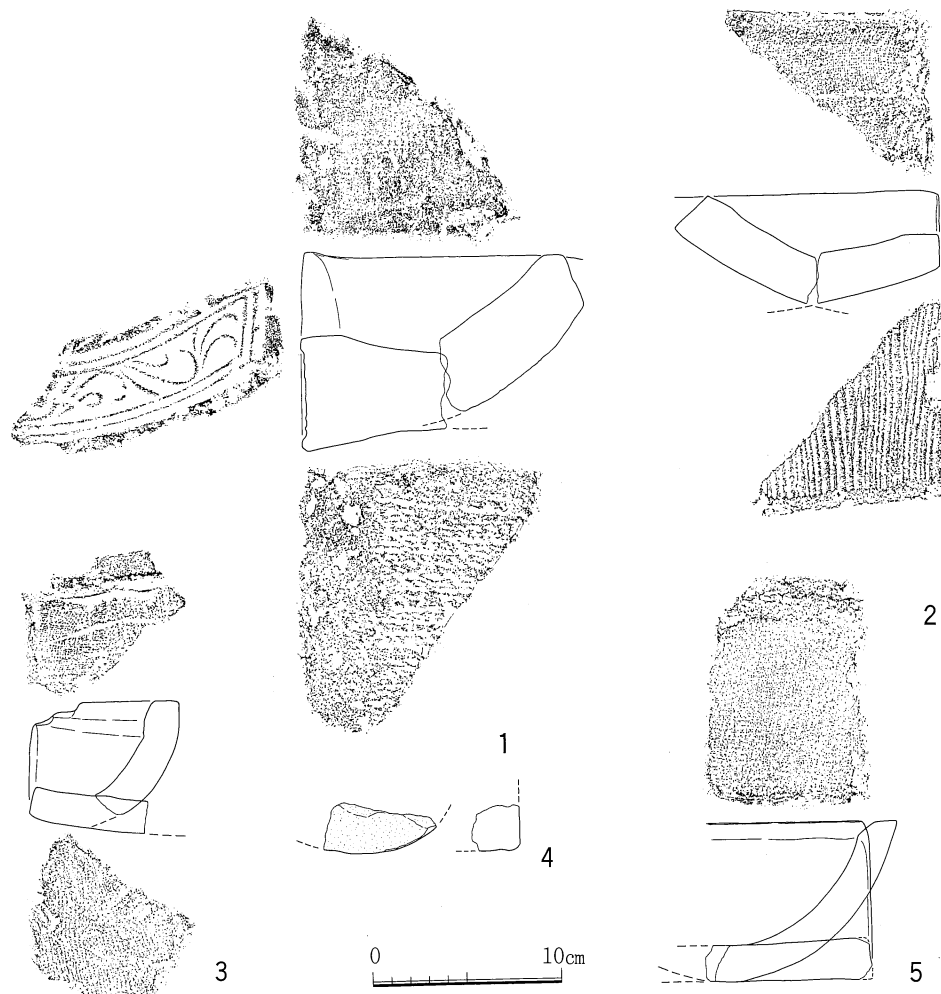
第2図 掘り下げ状況



第3図 断面観察位置図



第4図 断面図



第5図 出土・採集瓦実測図

凸面は板ナデ。(5)も丸瓦で凹面は布目、凸面はナデである。このほか調査中に第1基壇上からは(1)の平城宮式系の軒平瓦、第2基壇上からは(4)の文様部が欠損した軒丸瓦を採集した。

まとめ 極めて限られた調査知見であるが、第3基壇が確実に新しい盛り土であったことが確認されたこと、第1、第2基壇が寺院当初の基壇であったとすると、包含層との関係から高さが1 m以上は残存していること、したがってかなり良好な寺院遺構が埋没していることが予想される具体的データを得ることができたといえる。

また、寺院跡背後の丘陵から舌状に伸びる微高地上に立地しており、第1基壇は基盤層を削り出すなどして、かなり旧地形を利用している可能性が高い。この微高地は弥生土器などの出土からうかがわれるように、古くからの集落地として利用されていたと考えられる。今回の調査とは直接的には関係ないが、大崎廃寺西側の山裾には丹塗土師器の破片や平瓦の小片が散布していることが認められた。この散布地を居館などに推定できるとすると、大崎廃寺の背後の丘陵部には寺院建立の母体となったと考えられる後期古墳群があることから、居館・寺院・墓域がセットとなって存在していることになる。該期の豪族層を理解するための極めて良好な遺跡といえる。

参考文献

岡本寛久1992 「水切り瓦」の起源と伝播の意義—飛鳥・白鳳寺院出土の古瓦をめぐって— 『吉備の考古学的研究』
山陽新聞社

吉野口遺跡 (普賢院)

所在地 岡山市吉備津
調査原因 建物新築工事
時代 弥生～中世

調査期間 0040202～040203
調査面積 3387.95m²
担当者 草原孝典

遺跡の概要 吉野口遺跡は足守川中流域東岸の沖積平野部に位置する。かつての調査では、中世から縄紋時代晩期までの遺構や遺物が多量に出土しており、周辺地域における拠点的な集落遺跡であったことがうかがわれる。しかしながら、備中一宮の吉備津神社の門前町として利用されていることから、旧地形の広がりや今一つ把握しづらく、遺跡の範囲等などは曖昧な点が多い。

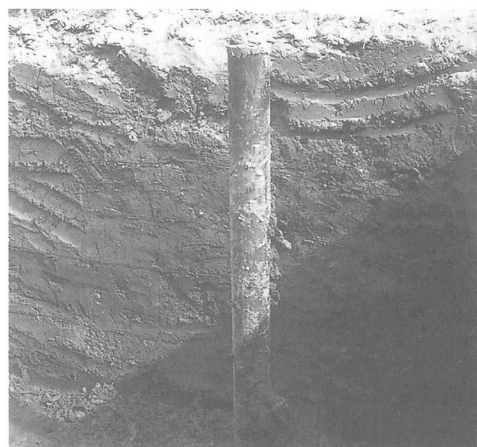
調査の概要 吉備津神社の門前町の宮内であったため、周辺は近・現代の造成層もかなり厚く、遺構面に達する工事は浄化槽部分のみであった。断面観察では3面の遺構面が確認されたが、掘り下げ途中から激しい湧水と壁面の崩落があり、調査範囲が限られていたこともあり、分離しての遺構の精査は不可能となった。そのため可能な限り各層ごとの遺構の確認をおこないながらも、結果として最終面での検出となった。しかしながら中世や古代と推測される遺構面については、包含層が認められるものの、遺構が密集するといった状況ではなさそうであった。

検出できた遺構は土壇と柱穴で、基本的には弥生時代後期に属するものである。調査区の中央付近で検出された、長径3.1m、短径2.0mの長楕円形を呈する土壇からは多くの土器が出土し、土器溜まりの状況を呈していた。出土遺物は壺(1～7・11～13)、器台(8)、甕(9・10)、高杯(18・19)、鉢(24)、底部(14～23)である。後期前半の時期といえる。

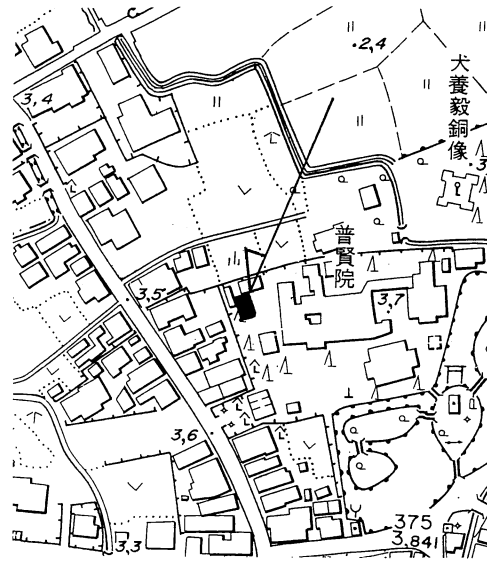
まとめ 弥生時代後期の遺構や遺物が比較的まとまって出土したため、該期に限定してかつての調査と比較してみたい。今回の調査区から北へ250mの位置にある鯉山小学校給食棟の建て替えに伴う調査(発掘調査報告書刊行済み)では、弥生時代後期の遺構は後期中葉のみの単発的なものであった。中期にもまとまった遺構があるものの、後期になると遺跡が途絶えたとも考えられた。足守川流域の沖積平野は後期になると遺構遺物が密集する集落遺跡が多数出現し、銅鐸を保有するものも認められる。足守川流域には、弥生時代後期中葉以降の墳丘墓や首長墓が数多くあり、吉備といわれた地域の中核地であったと考えられる。後期前葉の集落遺跡の急激な発展が、後期中葉における首長墓出現の前提にあったものといえる。そのなかにあつて吉野口遺跡の後期前葉の状況はやや不自然であったが、今回の調査で該期の遺構がまとまって検出されたことから、集落の形成地が若干移動しただけで引き続き吉野口遺跡は集落として存在していた可能性が高くなった。当地の弥生時代の集落の動向を考える上で貴重なデータが得られたことは大きな成果といえる。



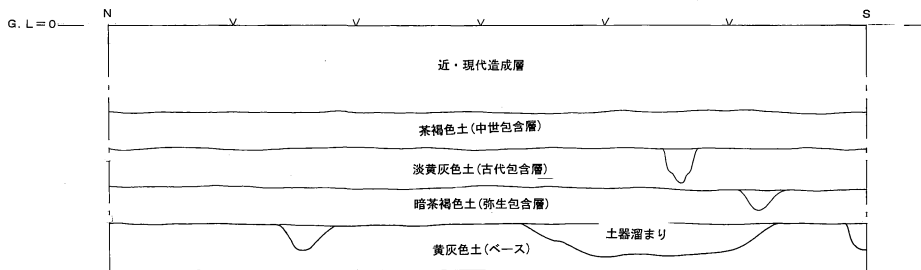
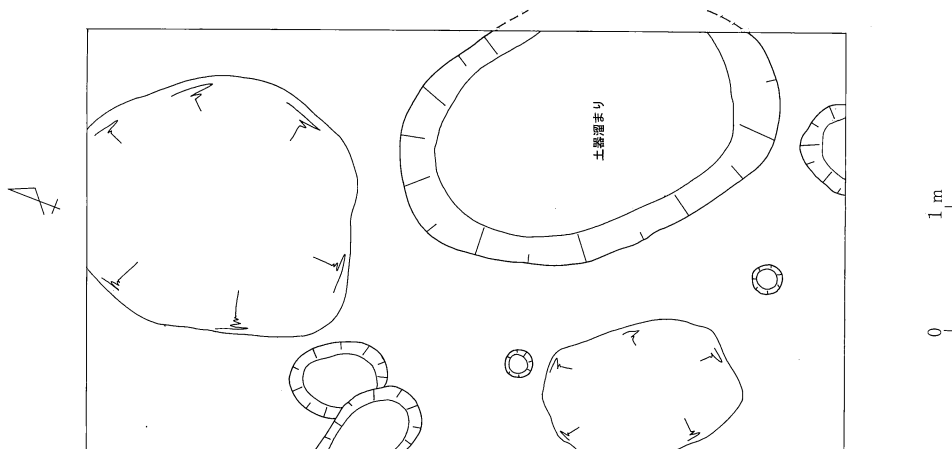
第1図 調査位置図



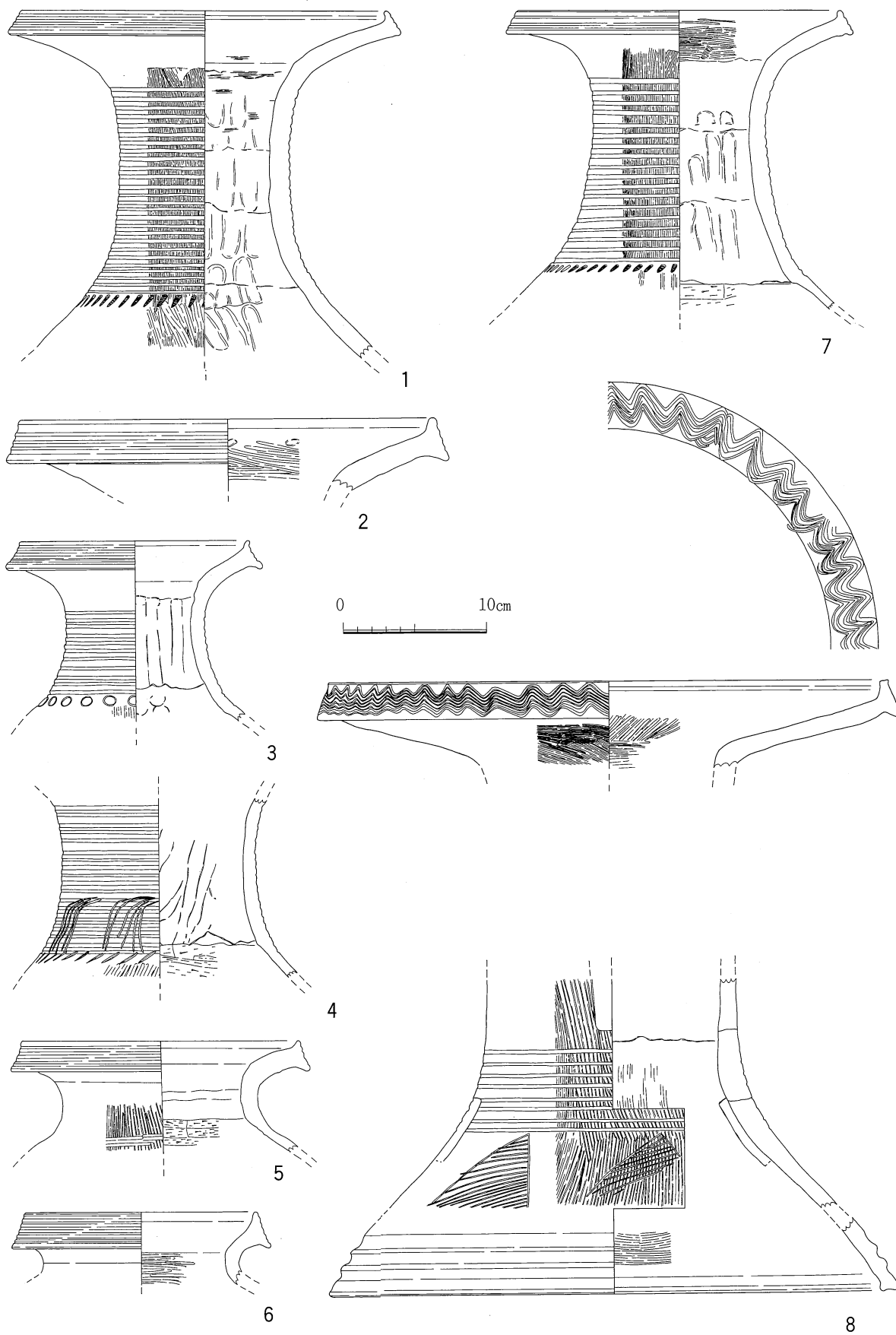
第2図 壁面写真



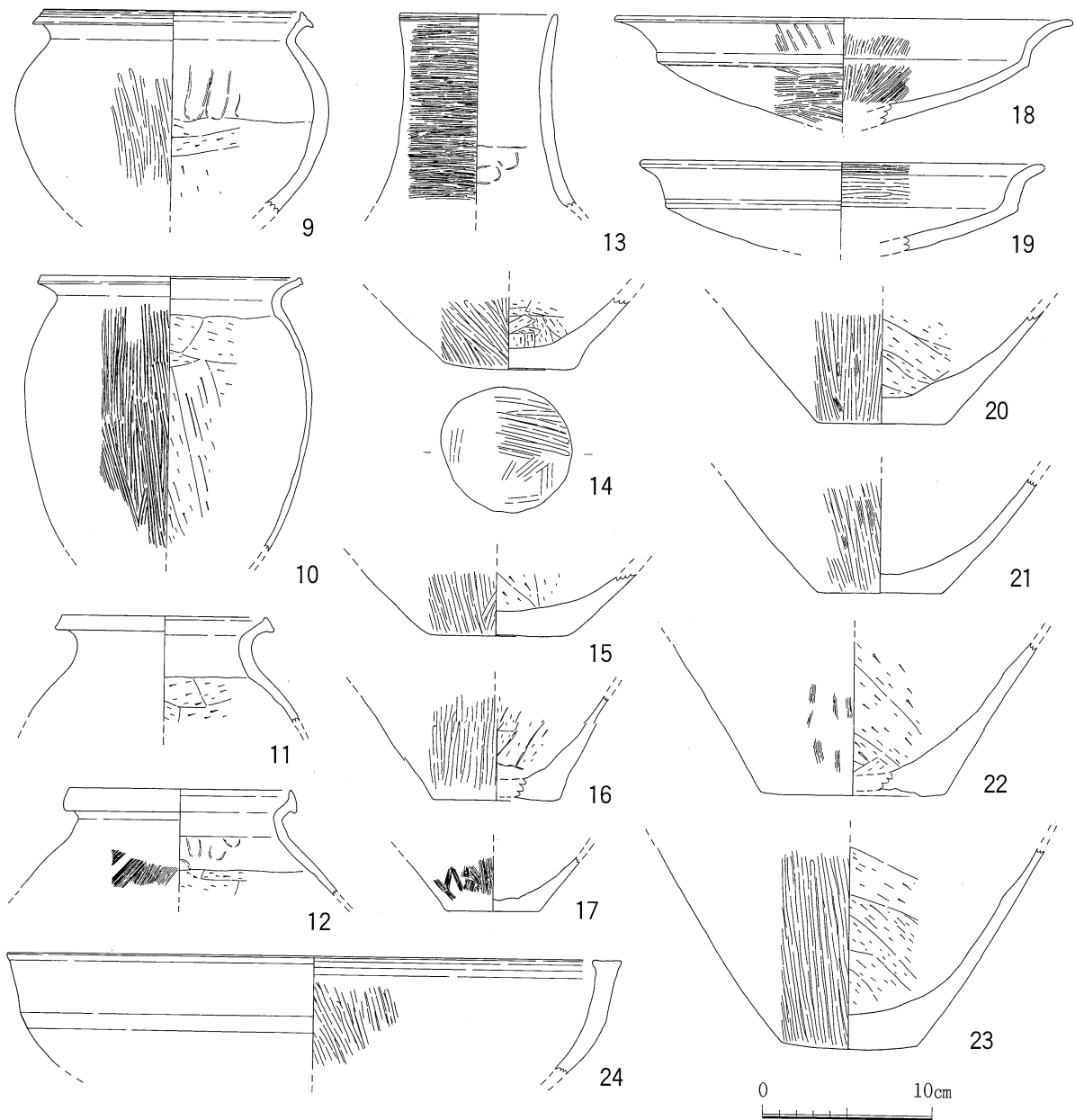
第3図 調査区位置図



第4図 遺構図及び断面図



第5図 土器溜まり出土遺物(1)



第6図 土器溜まり出土遺物(2)

また、基盤層の土質については、基本的には鯉山小学校給食棟部分の発掘調査区と共通しており、沖積層である。東側の丘陵基底部はみとめられなかった。おそらく一連の微高地上に形成された遺跡と考えるとよいと思われる。遺物の量はそれほどではなかったが、中世や古代の包含層が認められることから、該期の遺跡も微高地上に広く存在していると考えられ、吉備津神社の門前町の形成と広がりを検討する上で、1つの資料になるものといえる。そして、このことは、該期における中心地が鯉山小学校敷地付近にあったことも示唆している。近世から近代にかけては、厚い造成層があり、これも鯉山小学校給食棟の発掘調査と共通する。

以上のように極めて小面積の調査ではあったが、吉野口遺跡の広がりを把握する具体的な資料を得られたことは大きな成果であったといえる。

清水 廃 寺

所在地 岡山市芳賀
調査原因 ため池改修
時代 中世

調査期間 030604～030930
調査面積 2,184㎡
担当者 高橋伸二・西田和浩

遺跡の概要 清水廃寺は吉備高原南端の標高100mから120mほどの谷間に位置する中世寺院である。古くから瓦の出土が知られているものの、文献等の記録も残っておらず、実態については不明な点が多い。付近には、堂や門、坊などの存在を想定させる小字名が残るほか、東側の尾根上には中世墓群が存在する。また北東約1kmほどの山上に堂敷山廃寺がある。

調査の概要 調査は本堂池の堤防改修工事に伴い、堤防基底部の基礎工事と通水路部分の工事の際に立会調査として開始された。付近一帯で多数の中世瓦類を採集するとともに、溝・土坑などが検出された。通水路部分で機械による掘削を行っていたところ、焼土とともに大量の瓦が斜面に露出した。出土した瓦は軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦であったが、いずれも風化等が認められず未使用のものと思われた。そのため、瓦窯の存在が想定されたため部分的に調査区を拡張することとなった。

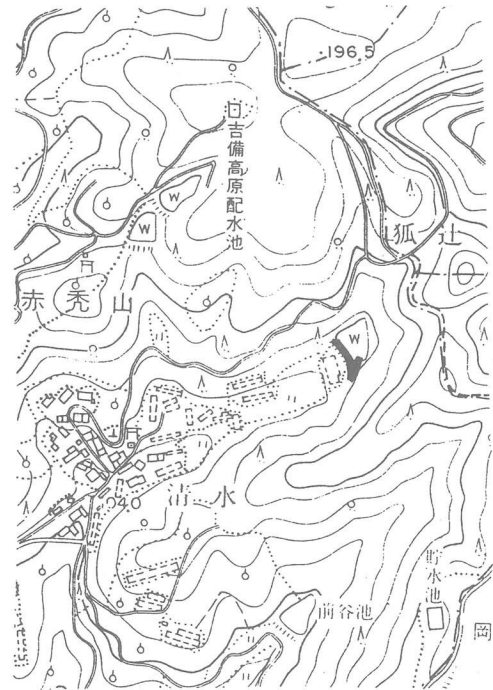
斜面に堆積した埋土を除去した段階でまず平瓦が積み重なった状態で検出された。この平瓦は何らかの理由で将棋倒しとなった状態であると考えられる。さらにこの平瓦の下方からは、ロストルが検出されたことから、瓦窯の焼成室部分であることが確認された。

焼成室部分については、地元の方の証言では水路を掘った際に大量の焼土や瓦片が出土したとのことで、焼成室と焼成室の一部はその際破壊されたものと考えられる。

出土した瓦は前記したとおり丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦をはじめ、鳥襖、隅瓦、引っ掛け瓦等が焼成されているが、土器は焼成されていないようである。

瓦窯の時期は概ね15世紀後半と推定されるが、焼成途中で放棄された理由については、戦乱や風水害などの自然災害なども考えられるが、1498年に発生した明応の南海地震により倒壊した可能性を指摘しておきたい。

窯跡以外では少量の土師質土器などが検出されたほか、鬼瓦なども出土しており、付近には別の瓦窯が存



第1図 調査位置図



第2図 瓦出土状況



第3図 瓦窯

在することも考えられる。

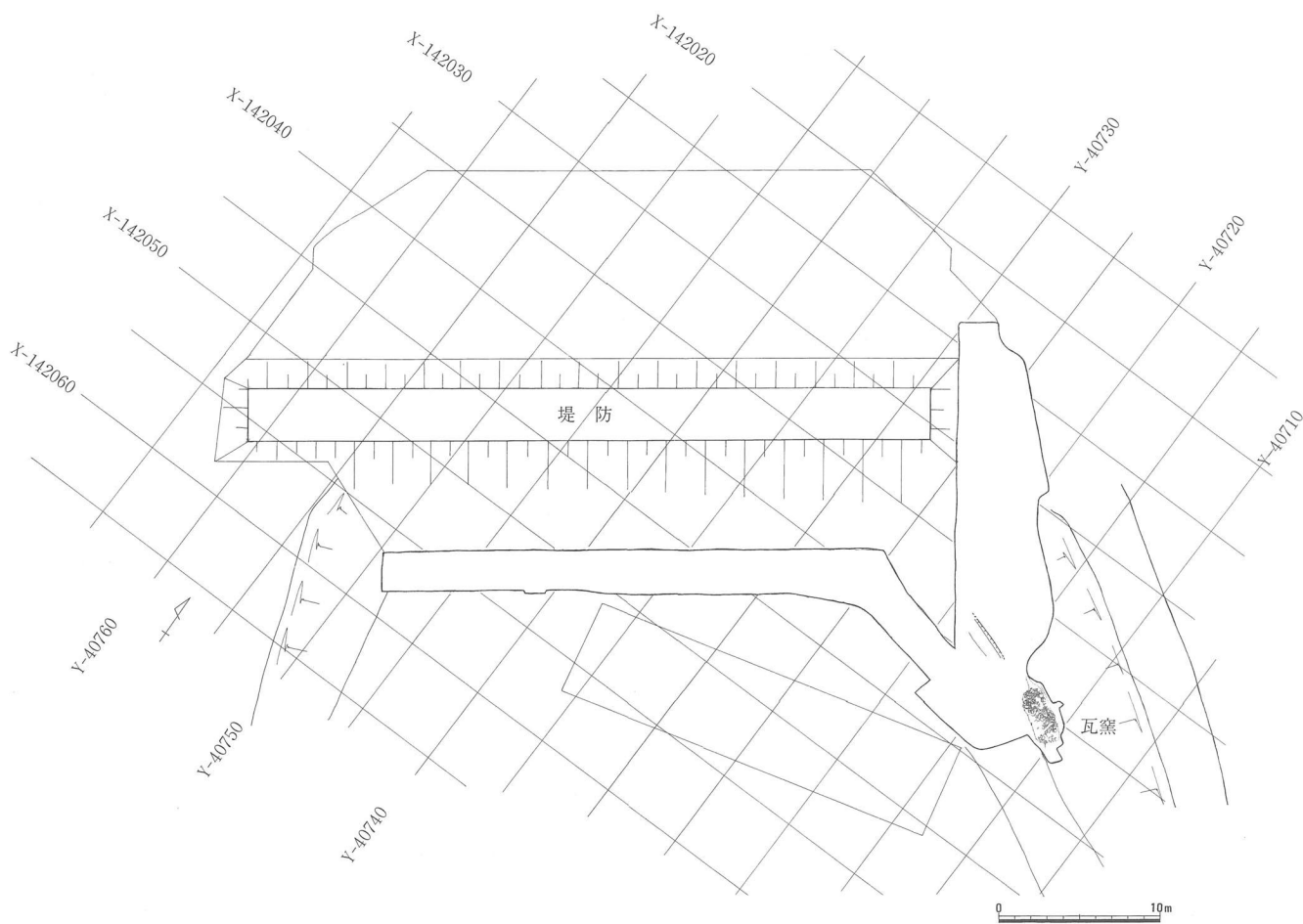
調査後、窯跡は保存されることとなり、土嚢等による保護措置を施した後、埋め戻しを行った。



第4図 埋め戻し状況

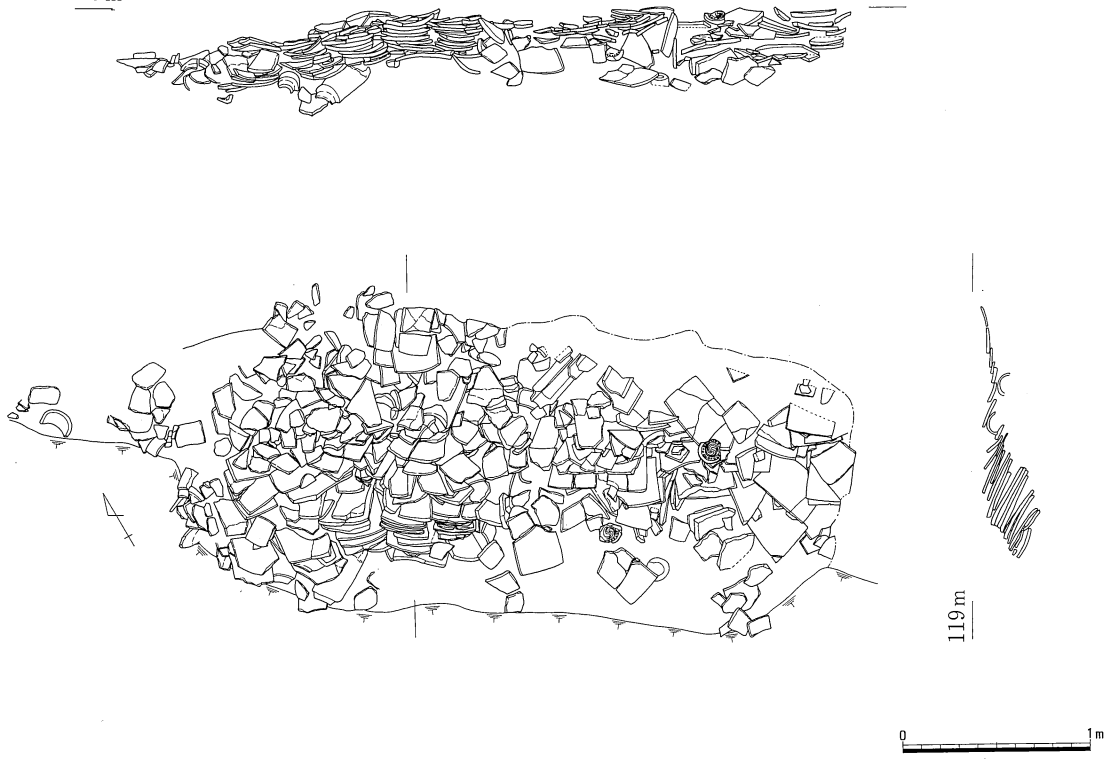


第5図 調査地（北から）



第6図 調査区配置図

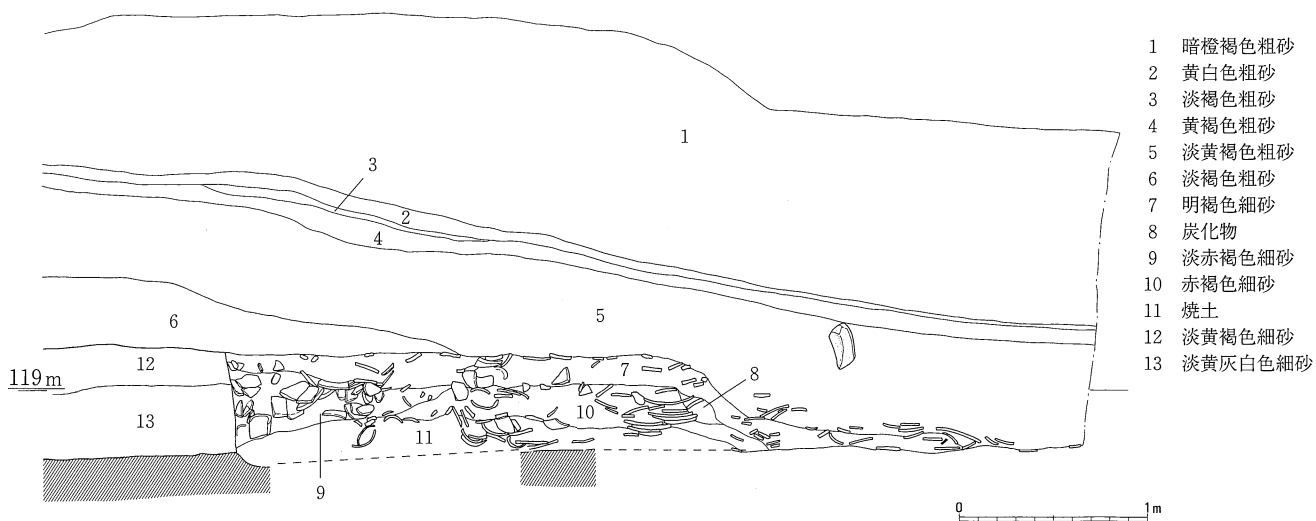
119m



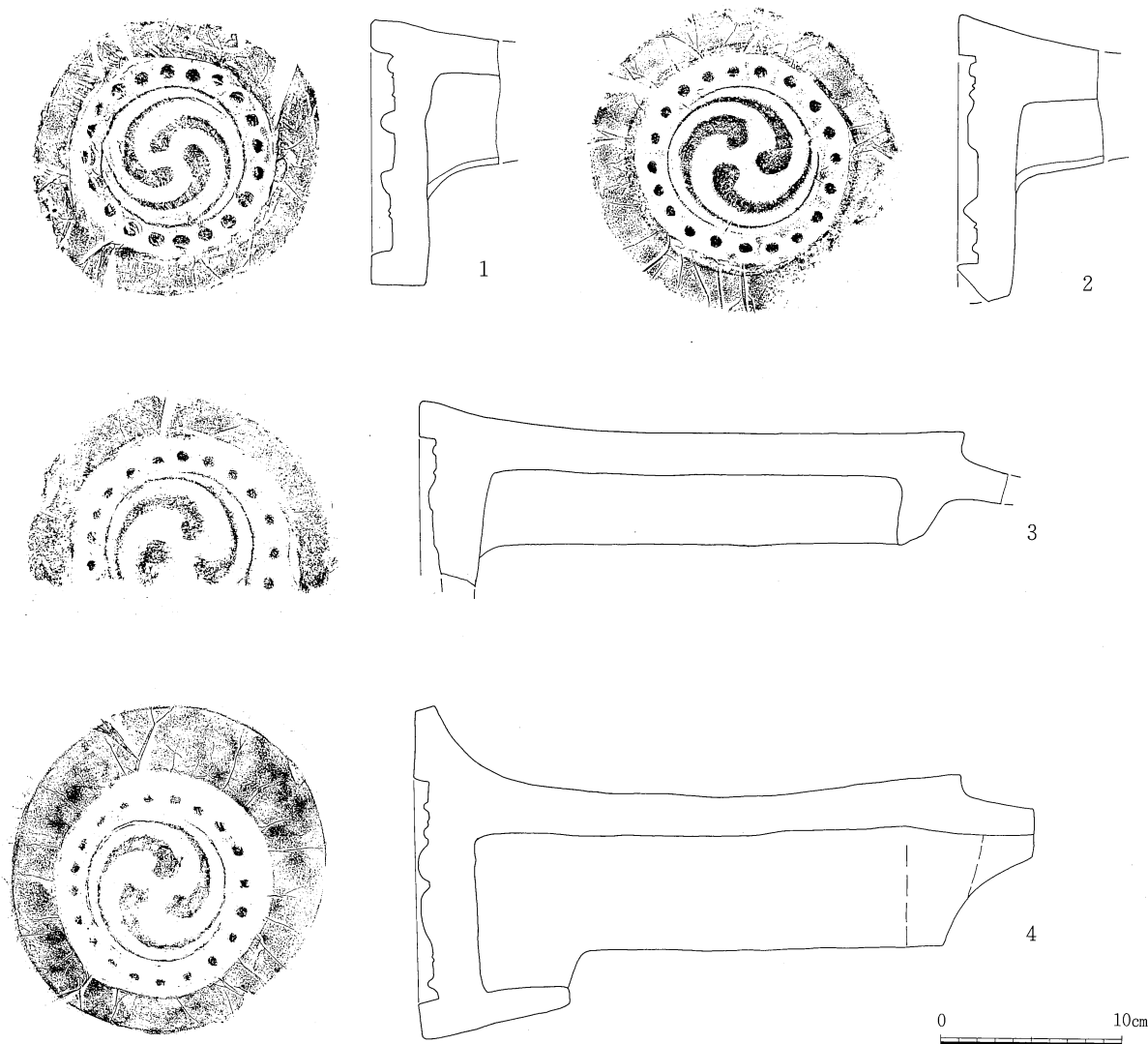
第7図 瓦検出状況（瓦窯）



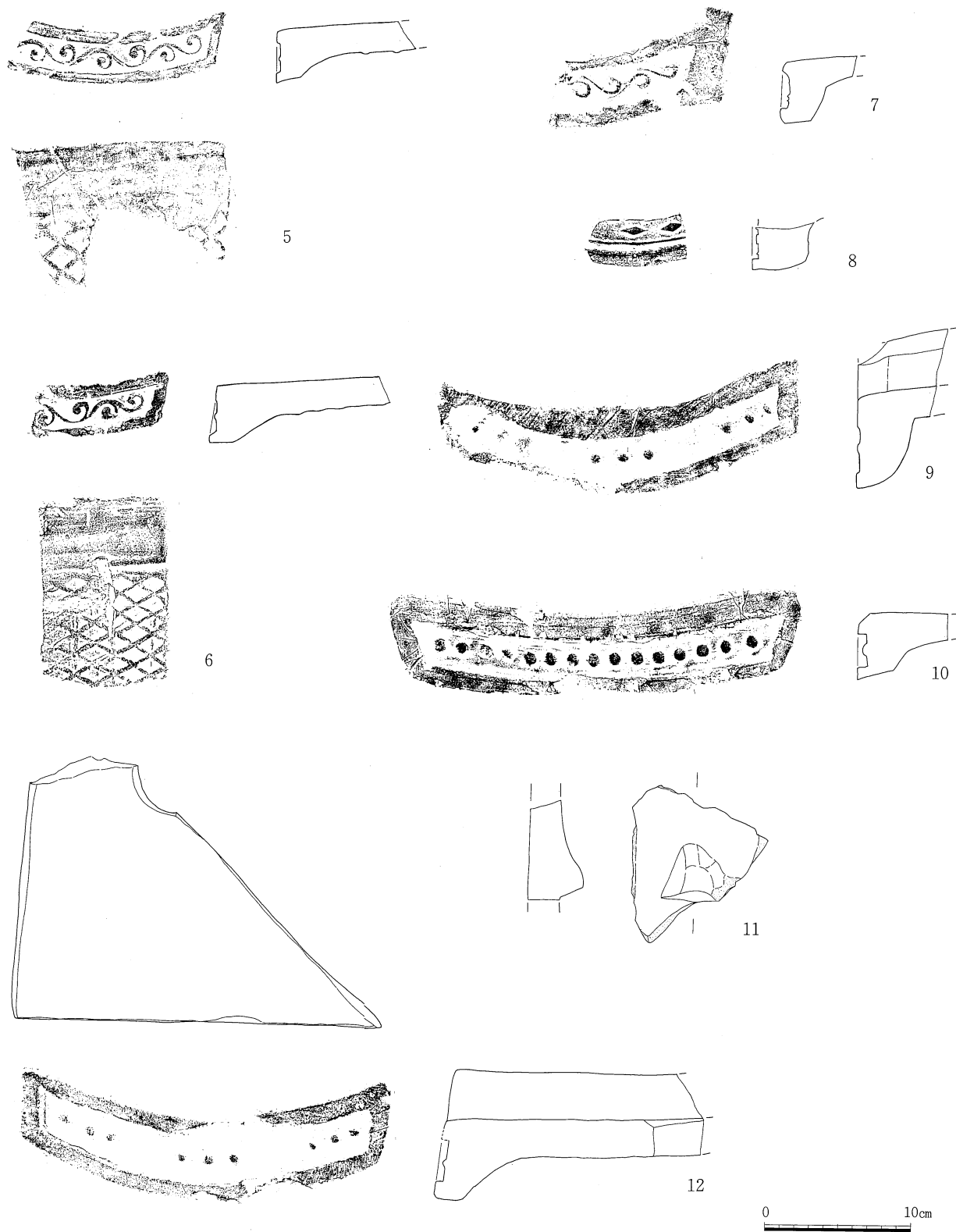
第8図 焼成部



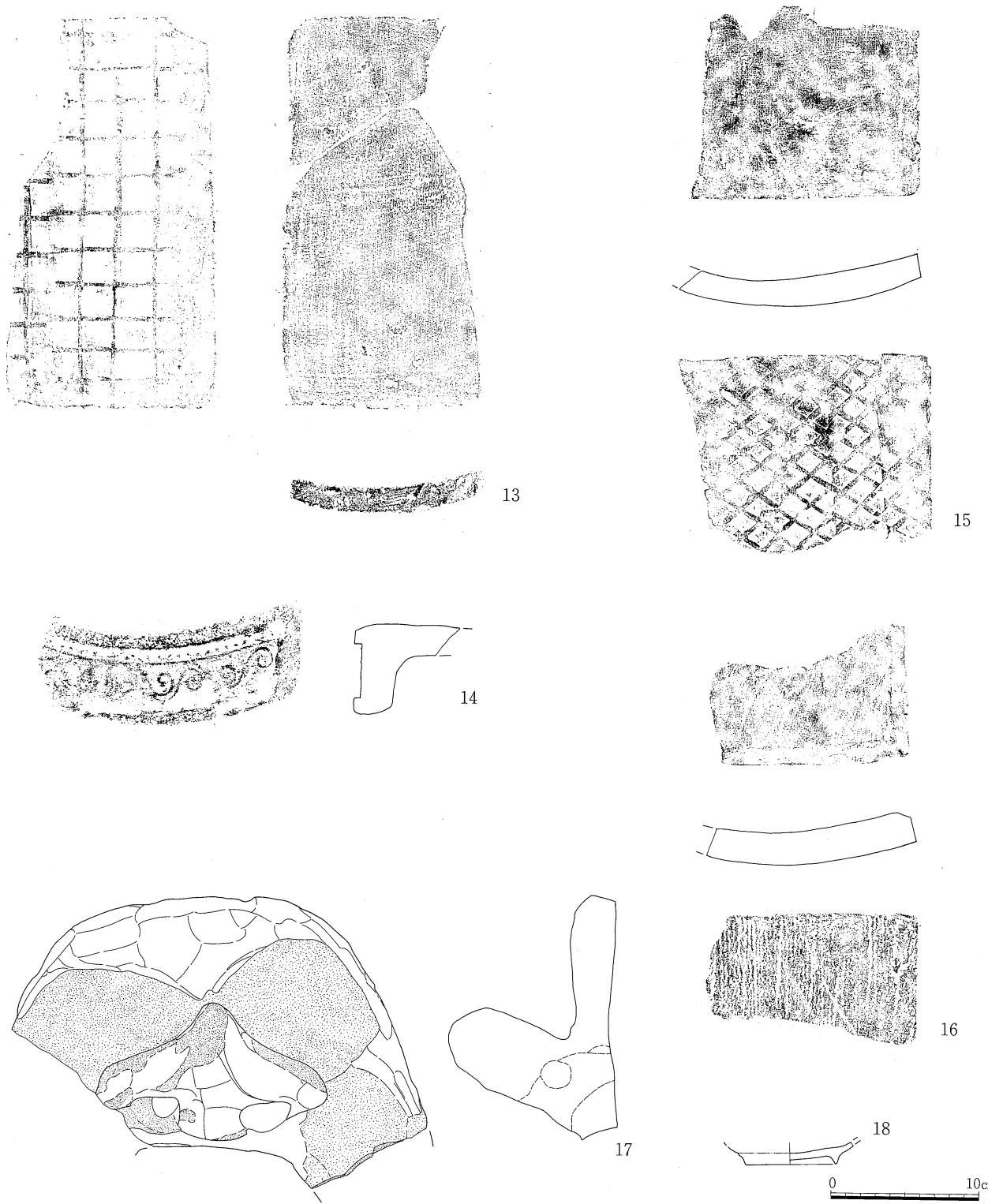
第9图 土层断面



第10图 瓦窰出土瓦(1)



第11图 瓦窰出土瓦(2)



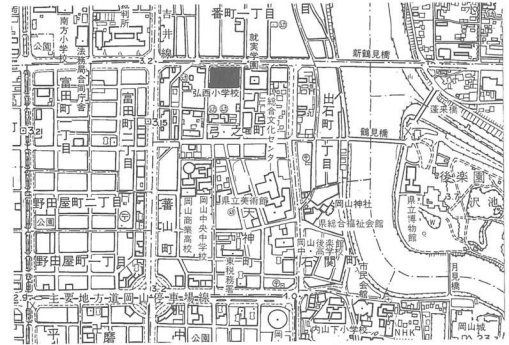
第12図 出土遺物

岡山城三之外曲輪（旧弘西小）跡

所在地 岡山市弓之町9-27
調査原因 岡山中央小学校新築工事
時代 弥生・近世

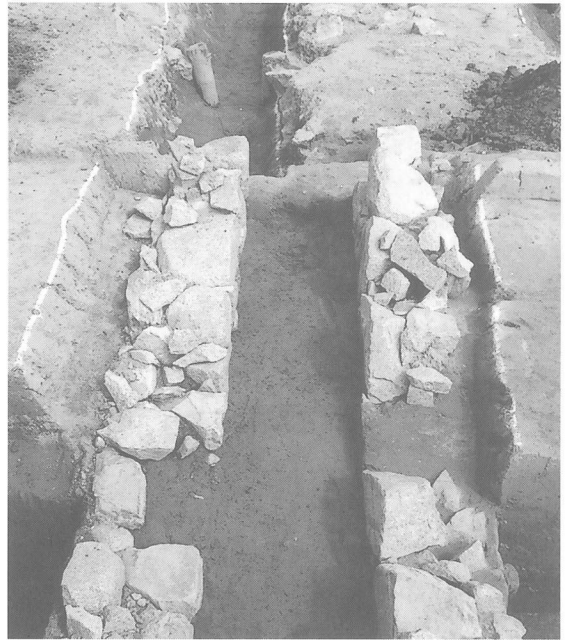
調査期間 040403～040904
調査面積 4,000m²
担当者 神谷正義・河田健司

調査の概要 昨年度からの継続調査。昨年度は岡山城三之外曲輪の武家屋敷の実態、堀岸の構造と土居の幅及び基礎地形等の様子の把握に努めてきた。今年度は、昨年度検出した樋尻や護岸等遺構の図面処理と、江戸時代以前の遺構確認が主たる調査対象となった。また、小早川秀秋の時に施工されたとされる外堀の、考古学的な資料を探求することも目指した。今年度の発掘調査は、平成15年4月3日から開始し、平成15年9月4日に終了した。



第1図 調査位置図(1/20,000)

遺跡の概要 昨年度は、江戸時代の遺構として屋敷内のゴミ捨て穴や屋敷割を表示する溝、土居に埋設された石組暗渠と樋尻の検出、そして堀護岸の様子などが明らかになった。それらは、基本的に18世紀以降幕末までの状況を示すものである。調査の過程で、屋敷割溝、石組暗渠等は複数回の改修が行われていたことが判明し、先行する遺構の把握もできた。



第2図 石組溝1と溝50

溝50 石組溝1と重複しつつも若干ずれた位置に素掘溝が検出された。この溝の埋土から唐津、肥前及び中国輸入磁器（景德鎮窯）が出土している。これら出土物は17世紀前半の年代観に集約される。この溝は、17世紀中頃ないし後半には埋没したと想定される。慶安期の古図に表現されている排水溝は、この溝に対応するのであろう。この溝も、おそらく暗渠で土居をくぐり、外堀に開口していたものと推定される。

石組暗渠及び樋尻 石組暗渠及び樋尻部分は、現状での保存が図られることとなったので、部分的なトレンチ調査で先行遺構の探査を行った。その結果、石組暗渠の掘りかた埋土に瓦質土管片の混在を確認し、また、花崗岩の剥片も数多く認めることができた。すなわち、花崗岩平石の細部加工をしながら石を組立てていったこと、さらに石組暗渠に先行して土管が布設されていた可能性があること、などが想定されるようになった。溝50は、土管暗渠とともに機能していた排水溝と思われる。堀の浚渫に伴い暗渠、排水溝も改修され、その時に排水処理能力の増加も図られたのであろう。



第3図 樋尻・暗渠・堀護岸

土居の築成 土居盛土は、既に大半が削平された状態で検出された。しかし、残存部分の様子では、整然と層を形成している様子は窺われず、むしろ下層に堆積している粘土や土が混在した状況の土層として確認でき、基礎地形もされている様子は認められなかった。堀の掘り上げ土を無造作に盛っていった状況と想定される。この土層状況は年代の決め手に欠けるが、後の改修も土居基部にまでは及んでいないとすれば、小早川期の築造状況を示唆するものとして重要である。

堀側は杭や石で補強している様子が理解できたが、屋敷側はゴミ穴や土坑が連続しており、堀護岸に対応するような地形は捉えられなかった。ただ、屋敷側の石組溝2が、土居の側溝として整備されていた可能性が把握できた。

溝群 土居の築成土層を検討中、基盤土を掘り込んだ溝が検出された。溝の走行方向とその数を確認するため、トレンチ調査を行った。その結果、東から西に流れる弥生期の溝が複数検出され、また、西南側に凸帯文土器を出土する浅い窪みが認められた。当該期の微高地及び遺跡の存在が想定されるようになった。

調査区の北側は既に堀として掘削されているため、弥生ないし縄文晩期における遺跡の状況等は不明であるが、溝はその微高地の縁辺に掘削された水利施設の一部と思われる。

まとめ 約9ヶ月にわたる調査は、岡山城下の周辺に当たる外堀とそこに配置された屋敷の一端を明らかにすることが出来た。当初期待していた江戸初期の当該地の様相、あるいは小早川期による堀掘削の痕跡は、後の削平、改修により確認することはできなかったが、文献・絵図等では窺い知ることの出来なかった多くの知見を得ることができた。さらにボーリング調査の知見および縄文晩期や弥生期の微高地の縁辺であることなどから、外堀は低地部分を選定して掘削された可能性を示すことができた。また、堀の断面形状や土居の土層状況は、「二十日堀の由来」となったとされる突貫工事の様子を彷彿させるものである。

さて、堀側の護岸は明瞭であるにもかかわらず、城下側土居端部は不明瞭で、むしろゴミ穴等で侵食されている状況が判明した。この様子は、「留帳」に描写されている土手の荒廃の実態を示すものとして、あるいは公地の管理状況の実態を示すものとして興味深い。



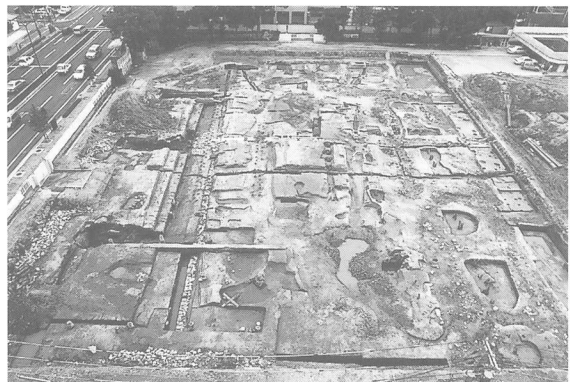
第4図 堀肩・土居築成の状況



第5図 堀護岸石組と杭

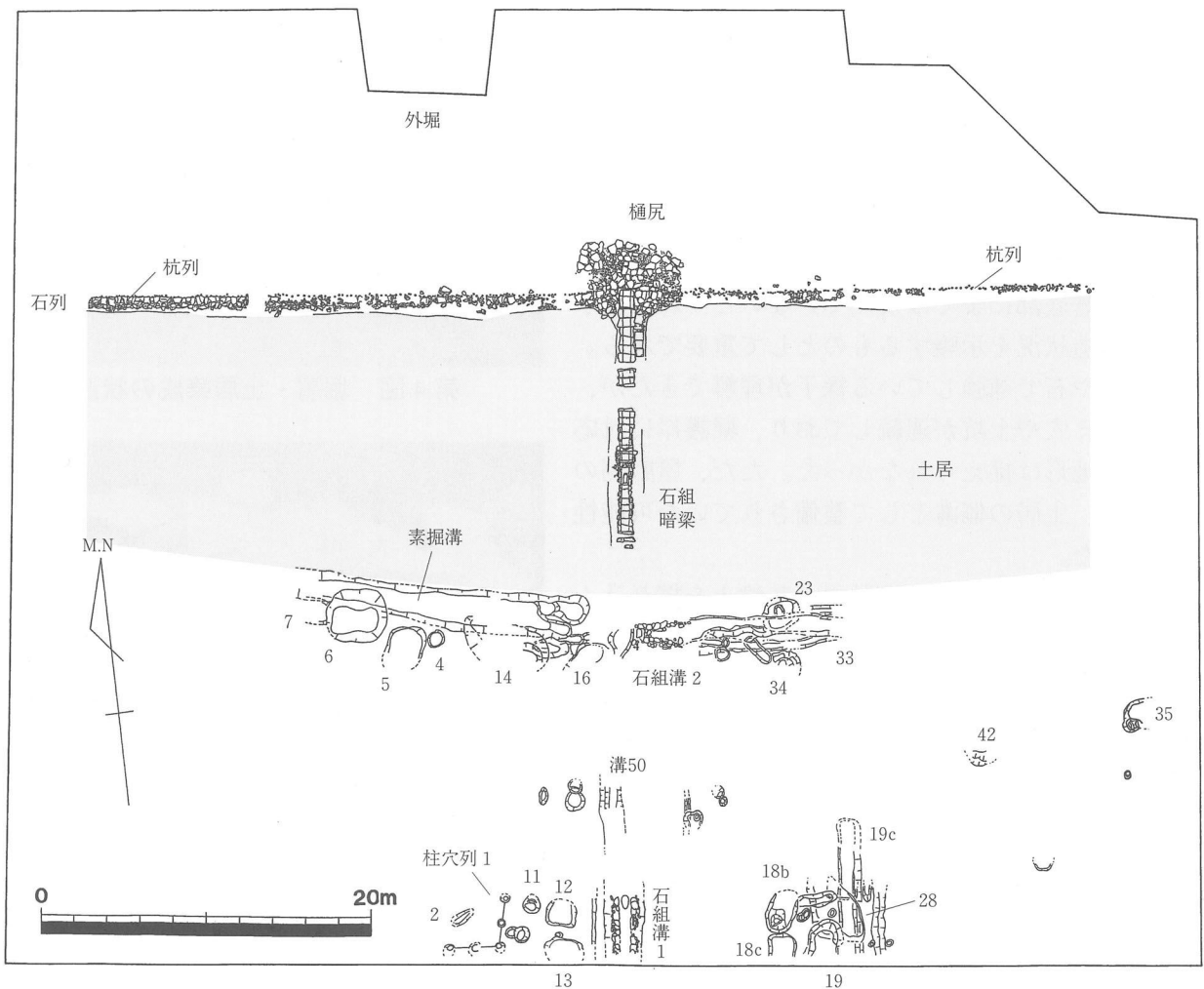


第6図 城下側土居端と石組溝2

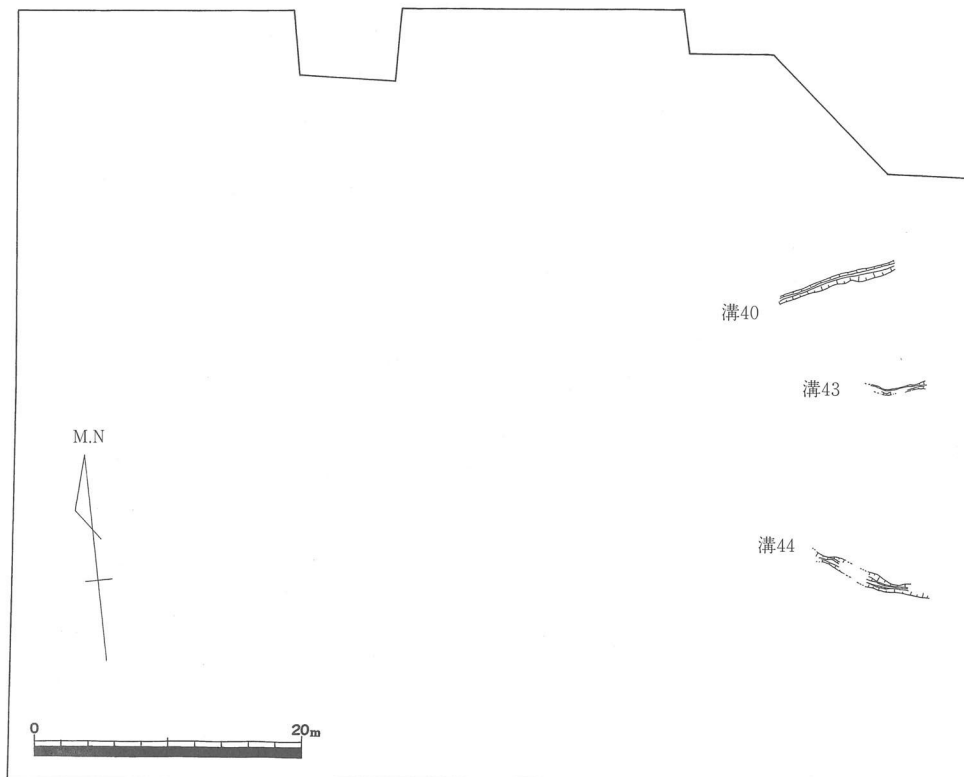


第7図 調査区全景

資料：寶曆八年十一月十九日留帳 城内土手附居宅ノ面々並町手へ達 外堀 中堀 土手筋 所ニ寄候テハ 銘々物数寄致シ 又ハ草木等植置開畑ノ様相成竹木生立不申自然ト土居ノ損ニモ可相成趣相聞へ候 右之族甚以心得違之儀ニ候間向後屹度土手筋竹木モ前ノ通生立候様取計尤土居根置モ損不申儀心得第一候此旨町方役人共平生心付可申事



第8図 江戸時代の遺構平面図 (番号のみは土坑)



第9図 弥生時代の遺構平面図

岡山城二之丸（市道丸の内16号線）跡

所在地 岡山市丸の内二丁目
調査原因 市道丸の内16号線新設工事
時代 近世

調査期間 030905～040204
調査面積 600m²
担当者 神谷正義・河田健司

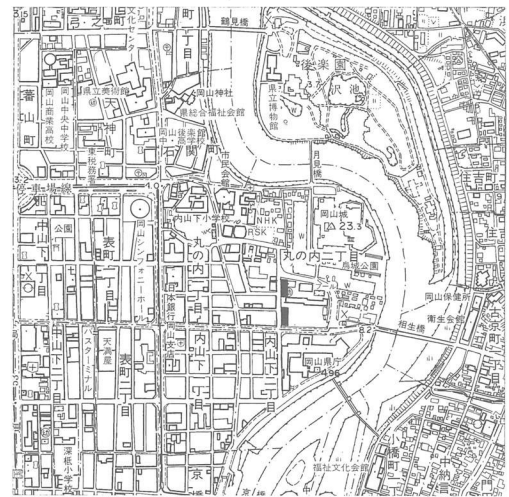
調査の概要 岡山県立図書館の建設に伴う周辺部分の環境整備として、市道の拡幅が必要となったが、当該地は二之丸域であるので、拡張部分について事前に発掘調査を実施することとなった。ただ、大半は内堀の範囲に当たるため、堀部分は、周辺の安全を考慮し調査対象外としたものの、拡幅により一部解体される石垣は、基底部まで掘り下げ全面露呈し実測作業を行うこととした。したがって調査対象地は、高石垣および堀部分をⅠ区、榎の馬場広場である堀南側をⅡ区、堀北側の屋敷地をⅢ区と設定し進めることとなった。

発掘調査は、図書館建築工期との関係から、Ⅰ・Ⅱ区からⅢ区へと進めた。調査期間は平成15年9月5日から平成16年2月4日までである。そして、石垣背後の調査が終了した12月22日～24日に石垣の解体を実施（第8図網伏せ部分）している。石垣の石は、将来の復元に備えて、岡山城本丸中之段の一角に保管してある。

遺跡の概要 Ⅰ区は、道の拡幅に伴い解体される石垣部分の記録調査が主となり、高石垣の根までの露呈と実測等が主たる作業となった。石垣の状況は、県教育委員会が発掘調査を実施した隣接地の状況と同様である。根から3段ほどの位置で、石の大きさ・積み方に差が認められ、傾斜角度が異なる。根には胴木を設置し、石の前面には杭を打ち付けてあった。根石底のレベルは海拔-1.5m余を測る。

Ⅱ区は、内堀の南端、絵図によると榎の馬場広場が武家屋敷地内と想定され、また県立図書館用地で明らかになった旧内堀跡の検出も期待された。しかし、調査区内では、瓦溜まりやゴミ穴が検出されたものの、建物跡を確認するには至らなかった。が、旧堀跡は検出でき、しかもその幅が約12～14mと確認することが出来た。

従来、絵図等によると、榎の馬場広場には石垣の表現がされていないことを拠に、高石垣は無いと判断されていたが、今回の調査で、旧丸の内中学校基礎の下に堀護岸と思われる石組みの一部が残存していることが確認できた。それも大石や楔痕のある角石が混在して組み合わせられている状況であり、新古混在した様相



第1図 位置図 (1/20,000)



第2図 石垣上半部



第3図 石垣控積みと背後の様子

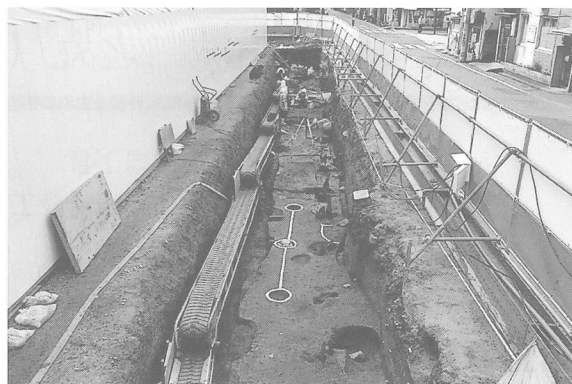
を呈していた。この様相は、文政年間の堀護岸改修を示した絵図に新古の石を築き直したとあり、その時の状況を正確に示していることが明らかとなった。

Ⅲ区は、江戸時代にかけて、絵図に屋敷地、御厩、御対面所などと描写されてきている場所であるが、少なくとも造成を伴う3回の生活面が確認された。各面とも礎石を伴う建物遺構が検出されている。しかし、調査区幅の制限から、建物規模・配置等の全貌を明らかとするには至らなかった。各生活面は、およそ17世紀前半、17世紀中葉、18世紀後半の年代に比定できるようで、各期にわたり礎石を伴う建物が建てられていた場所であることが判明した。

まとめ 道の拡幅は5mであるが、調査区の幅は最大4mほど、狭い場所では3mほどのところもあり、南北に非常に長い調査区となった。そのため検出された遺構は全体の一部にとどまり、その全貌を示すことは出来なかった。それでも、隣接する図書館用地の成果と合わせて、多大な成果をあげることが出来た。

特記すべきは2点ある。1. 旧堀跡の幅が、約12～14mと確認できたこと。しかし、この旧堀跡の掘削時期は、中世包含層を切り込んでいると判明はしたが、より限定された年代を確定するには至らなかった。

2. 堀南岸の石組みの存在を確認したこと。この部分は、残された絵図にはほぼ一貫して高石垣の表現はされておらず、石垣は築かれていなかったとされている場所である。また、隣接する県調査地の成果でも、榎の馬場広場には、後世の石組み等の影響が及んでいたこともあるが、江戸期の石組みは確認されなかった。ところが1818年の「岡山城堀浚土居繕御普請出来絵図注記」には高石垣ではないが、石を2～3段ほど積み上げ、前面に杭を打ち込んでいる様子が描かれている。今回この描写のとおり石組みが検出されたと言えるが、この絵図の表現は、旧弘西小跡地で判明した外堀改修の表現とも一致していた。そして実際に、外堀と同様の護岸遺構が残されていたのである。ただ、石の組み方は若干異なる。それは、旧弘西跡地では石がすべて新造であったのに対し、当地は新旧混在して用いたと記述してあるように、実際でも面取りされていない割石と面取りされた石の二種が確認され、おそらく石の新旧に由来する種別と思われる。絵図注記の正確さが確認されたことになる。言われているように榎の馬場広場の内堀側には、確かに高石垣の構築はなかった場所であったろうが、堀岸の護岸整備は施されていたことが証明できたのである。



第4図 Ⅱ区全景（北から）



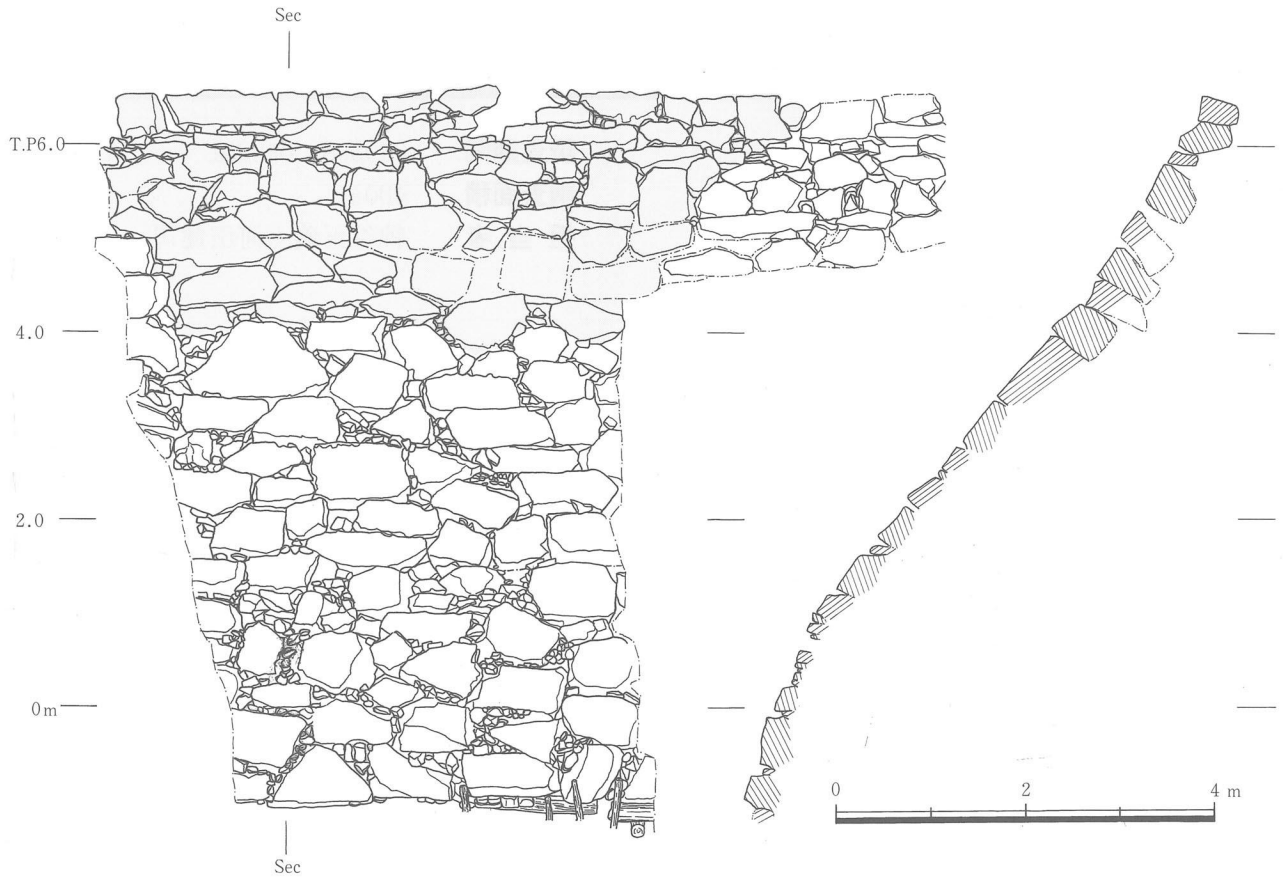
第5図 Ⅲ区南半（17c前半）



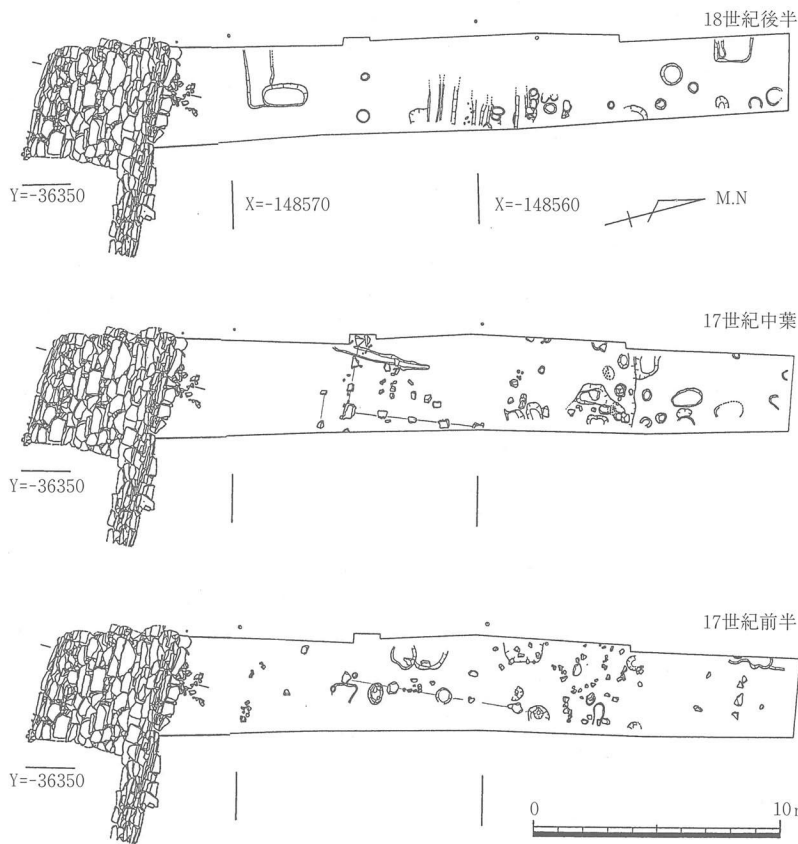
第6図 Ⅲ区 地鎮遺構



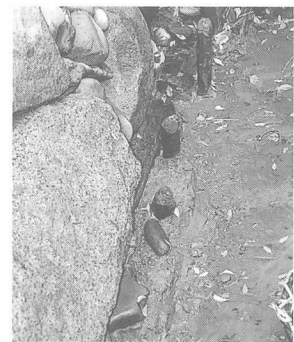
第7図 堀南岸護岸の様子



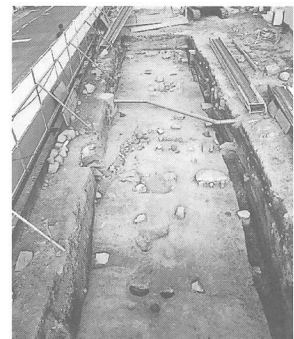
第8図 堀北岸高石垣立面・断面図 (S=1/80)



第9図 Ⅲ区遺構平面図



第10図 高石垣底の桐木・杭



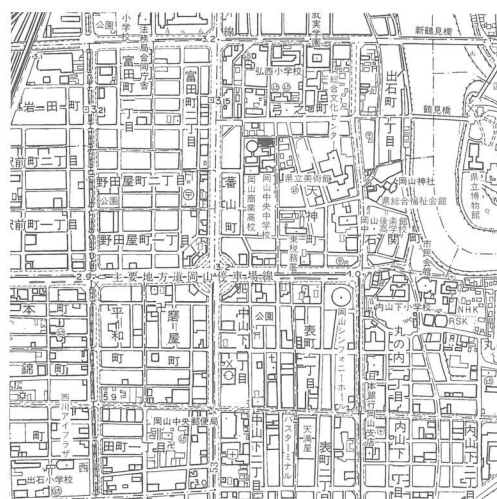
第11図 Ⅲ区北半 (17C前半)

岡山城三之外曲輪（中央中）跡

所在地 岡山市蕃山町6-10
調査原因 中央中学校校舎増築工事
時代 近世

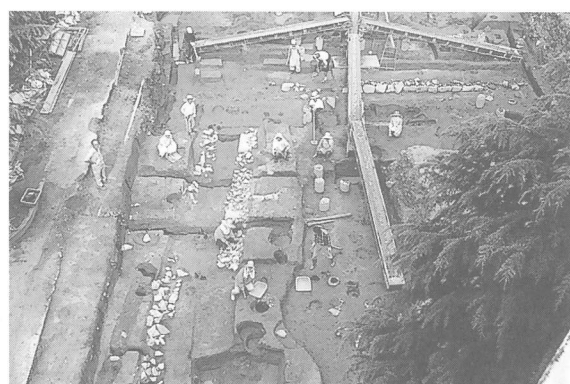
調査期間 040308～040331
調査面積 400m²
担当者 神谷正義・河田健司

調査の概要 中央中学校は、丸の内中学校と旭中学校が統合されて発足した中学校であるが、旧旭中学校の敷地と施設を継承したため、施設の整備が必要とされた。順次老朽化した校舎を解体し、その場所に新たな建物を新築する計画である。そもそも旭中学校は、岡山藩学跡地に設立されており、その一部は史跡に指定されている。校舎新築予定地は史跡範囲外といえども、絵図等によると、一時期岡山藩学の敷地内であった可能性もあり、事前に発掘調査を実施することとした。調査は排土置き場の確保から、東西半々に区割りして行うことになった。今年度の調査は、西半からである。調査は平成16年3月8日から始め、3月31日で終了とした。



第1図 位置図 (1/20,000)

遺跡の概要 調査はまず、現造成土、旧旭中学校校舎基礎、戦前の女子師範の校舎基礎を撤去することから始めた。これらは機械掘りとした。西半調査区の東側は予想以上に基礎の影響が及んでおり、江戸期の遺構上半が削平された状況であった。西側は遺跡の保存状態が良好であったので、近代遺構面から手掘りして調査を進めた。



第2図 調査区西半全景（西から）

まとめ 調査にはいつの間もないので、全貌が未だ把握できていない。現在まで検出できた遺構と見通しを列記する。

調査地は、絵図によると武家屋敷、学校地、屋敷方請込御長屋と幾多の変遷がたどれる場所にあたる。しかし、各年代の絵図に共通することとして、調査区の中央部分にあたる箇所には道が描かれており、この道と思われる位置から、現在までのところ石列を検出している。この石列は江戸時代まで遡り、絵図に描写されている道の側溝の保護施設であると想定している。今回の調査地が、江戸期の絵図等ではどの場所に当たるのか、正確な場所が判明したこととなる。



第3図 瓦溜り検出状況

道の東側ではPitや土坑、ゴミ穴が集中し、西側では瓦溜まりが顕著である。瓦は帯状に密に堆積しており、あたかも屋根が崩壊してそのまま廃棄されたような状況である。場所により遺構の性格が異なる傾向がみとれ、絵図に描かれた屋敷割りの内容とも矛盾なく、今後の調査の進展に期待が持てよう。

原尾島遺跡

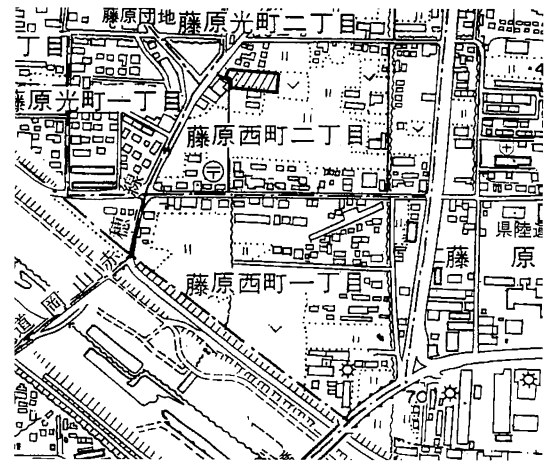
所在地	岡山市藤原西町二丁目299-1ほか	調査期間	20040119
調査原因	集合住宅建設(浄化槽)	調査面積	約20m ²
時代	弥生～古墳時代	担当者	安川 満

遺跡の概要 調査地点は百間川原尾島遺跡の北側にあたり、周辺では南東隣の集合住宅建築に伴う浄化槽部分の発掘調査で、百間川遺跡群などで確認されている弥生時代末～古墳時代初頭の水田遺構が広がっていることが確認されている。

当該事業では、確認調査の結果に基づき浄化槽部分を調査対象とした。

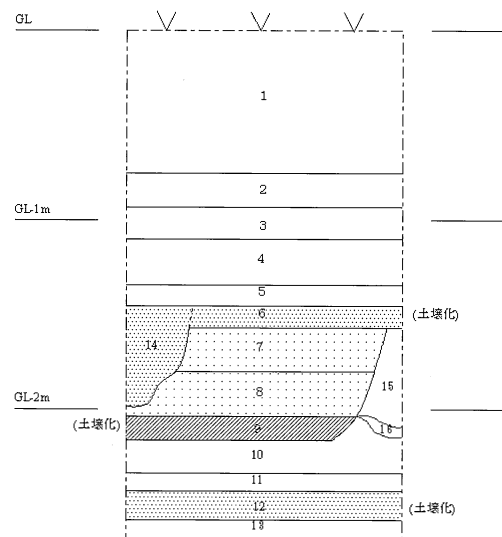
調査の概要 発掘調査では、地表下約 1.4mの洪水砂上面で、ほぼ調査範囲の東辺に沿って溝状遺構と北辺に柱穴状の遺構を検出した。溝内からはわずかではあるが須恵器片等が出土し古墳時代後期のものと考えられる。

地表下約 2.0mの洪水砂下面は百間川遺跡群で広く検出されている弥生時代末～古墳時代初頭の水田と見られる遺構面で、調査範囲南辺で大畔とみられる遺構を検出した。しかしながら、調査範囲が限られることもあり、水田の区画などを追求することはできなかった。



第1図 調査地点の位置

- 土層注記
- 1 花崗岩風化土 (造成土)
 - 2 黒灰色微砂 (現代耕土)
 - 3 オリーブ灰色シルト微砂 ↑
 - 4 灰黄褐色粘質微砂 (中世水田)
 - 5 オリーブ灰色粘土シルト ↓
 - 6 褐灰色細砂粗砂 (古墳時代包含層)
 - 7 灰黄褐色微砂シルト (洪水砂)
 - 8 黄褐色細砂 (洪水砂)
 - 9 暗灰色粘土シルト (古墳初頭水田)
 - 10 暗灰色粘土シルト (水田層?)
 - 11 灰白色粘土 (洪水砂or低湿地堆積)
 - 12 黒灰色粘土 (水田層or低湿地堆積)
 - 13 暗灰色粘土 (低湿地堆積)
 - 14 灰色砂質シルト (古墳時代溝埋土)
 - 15 褐灰～灰色シルト (大畦盛土)
 - 16 灰白色砂 (大畦盛土)



第2図 土層柱状図(1/20)

史跡賞田廃寺

所在地 岡山市賞田
調査原因 史跡環境整備
時代 古代～中世

調査期間 030410～040331
調査面積 1,230㎡
担当者 扇崎 由・高橋伸二

遺跡の概要 賞田廃寺は1970年の緊急調査で金堂基壇をはじめ地方寺院にはまれな壇正積基壇が塔跡から検出され、翌1971年には国史跡に指定された。史跡指定地の公有化の完了に伴い、2001年度から史跡整備計画策定のための発掘調査を実施してきており、これまでに金堂基壇で礎石を検出したほか、西門と考えられていた基壇が、西塔であったことなどが判明している。

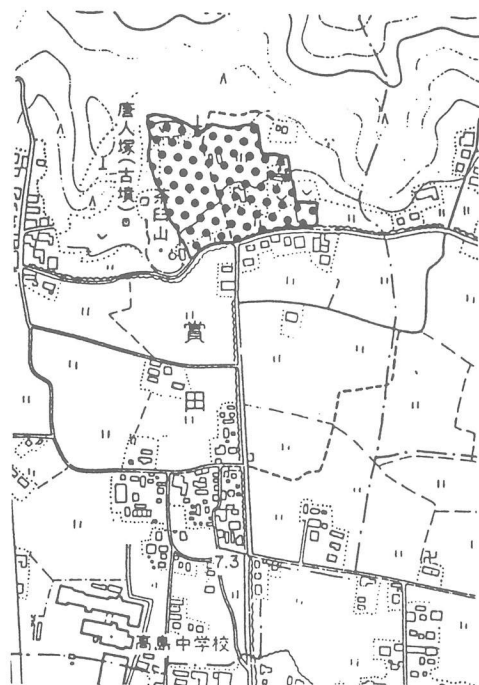
調査の概要 平成15年度は、講堂の位置確認、西塔外周列石に付属する南石段の検出、主要伽藍の南限および東限の確定をはかるための調査を行った。

講堂は平成13年度に金堂の北側に設定した調査区（T9）の成果から、金堂の北には存在しないと考えられた。このため変則的な伽藍配置になるが、金堂の西側への存在を想定しT29を設定した。しかし、結果的に地山の上面で中世の柱穴10数基を検出したにとどまり、講堂の存在を示すものはみられなかった。T31ではT9同様地山の傾斜がみられ講堂を想定しうる平坦面は確認されなかった。これにより、講堂は金堂の北にも西にも存在しないことが確認された。

西塔は基壇外周を列石で囲む特異な形態であることが判明していたが、前年度の調査では特に南辺の遺存がよく基壇中軸線上に石段が付属する可能性が高いと考えられた。そのため、今年度はT27を設定し石段の検出を行った。石段は幅3m、出1.5mを計り、3段（後補により4段）に積まれる。列石全面には、幅1.5mで犬走りを設け、南端に石列を配する。また、参道の敷石とみられる石材も遺存していた。

西塔で石段を確認したことに伴い、東塔南面の石段の有無を確認するためT37を設定したところ、黑色造成土上面まで削平を受けているものの、造成土のレベルが北側と大差なく、元来石段の必要のない地形であったと考えられる。

南門および南築地を想定してT26を設定した。ここは昭和45年の調査で築地関連の遺構が検出されたとされる場所と一部重複するが、今回の調査ではこれらは中世の地下げ等に伴うもので、築地に関連する遺構ではないこ



第1図 調査位置図



第2図 西塔基壇（南から）



第3図 T26・溝、柱穴列

とが判明したが、東西方向に調査区を横断する溝とそれに平行する柱穴列が検出された。柱穴列の時期は9世紀後半から10世紀頃のもので、築地が塀に改修されたものと考えられる。これにより、主要伽藍の南限は確定したとみてよい。また、この溝と柱列の東への延長を探るべくT32を設定したが、溝・柱穴等は確認されなかった。同様に西方への延長を確認するべくT33を設定したが、ここでも溝、柱穴等は検出されず、炉跡が検出された。平成13年度調査のT14で、すでに炉跡1基を検出していたが、今年度はさらにT33・T34で3層にわたって、あわせて15基を検出した。また、周囲から9世紀から10世紀の土器や中世土器などとともに、鉄滓・銅滓が出土しており、西側の尾根裾には9世紀から13世紀頃にかけての鉄や銅を扱う工房が営まれていたことが判明した。

主要伽藍の西限を西の尾根と想定してT35を設定したが、後世の削平を深くまで受けており、西限施設の有無を確認するにはいたらなかった。

T38からT41では主要伽藍の東限施設の確認を行った。昭和45年の調査では約5.2mの間隔で平行する2本の溝を検出しており、今回の調査でもT38で南北方向に走る4条の溝を検出した。これらの溝は当初5mほどの間隔で平行する2本の溝が、部分的に改修された結果と考えられ、これらの溝が東限施設であったと考えられる。

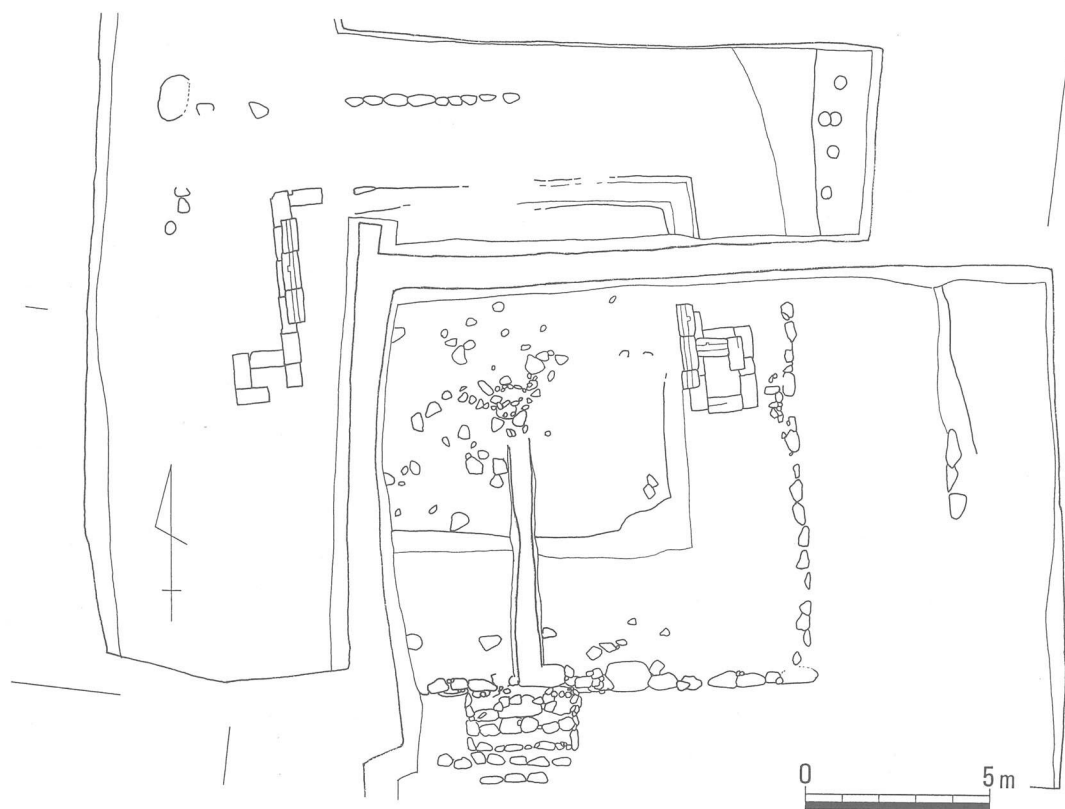
主な出土品として、瓦・土器・陶磁器・備前焼のほか凝灰岩製擦管などがある。



第4図 T33・炉検出状況



第5図 T38・溝群



第6図 西塔基壇

中井遺跡

所在地 岡山市中井454-1
調査原因 診療所建設
時代 古墳・中世

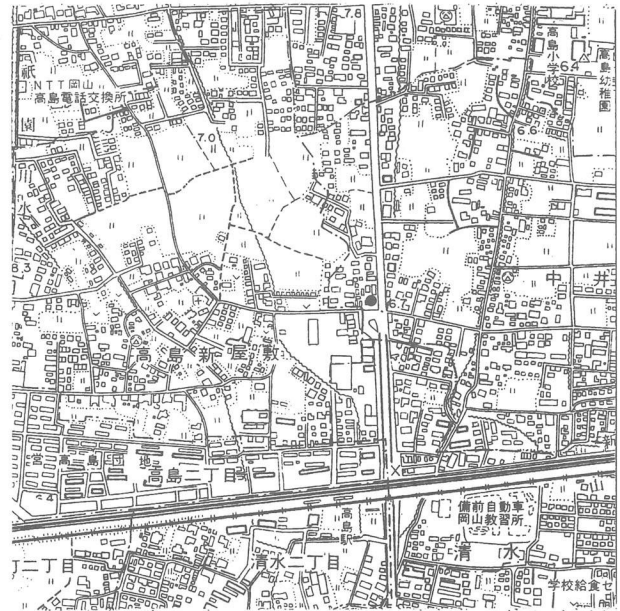
調査期間 040316
調査面積 18m²
担当者 神谷正義・安川 満・西田和浩

遺跡の概要 中井遺跡は旭川東岸に位置する。周辺には、ハガ遺跡をはじめとする官衙関連遺跡や弥生時代～中世の遺跡が多くみられ、当地域は遺跡集中地域の一つといえる。今回調査を行った地点は、遺跡集中地域の国府市場に隣接し、南隣は遺物散布地が広がる場所である。

調査の概要 浄化槽部分18m²の試掘確認調査を行った。調査の結果、中世と古墳時代の遺構面を確認した。中世では溝2本とピット4基を検出した。遺物は土師器細片が少々出土した。2本の溝はそれぞれ南北へ同一方向に掘削されており、溝1が溝2に先行している。遺物は溝1・2を中心として散漫に出土していた。

古墳時代では、溝1本とピット1基を検出した。遺物は土師器細片がわずかに出土している。遺構に伴う遺物は出土していない。基本層序は、現地表から約1.1mまで造成が行われており、小礫で構成される基盤層までの間、約1.8mの層中に中世と古墳時代の遺構面が認められる。中世の遺構は古墳時代の包含層と考えられる層を一部掘り込んでいる。古墳時代の遺構は基盤層直上付近で検出された。

まとめ 今回の調査範囲は非常に狭い面積であったが、中世と古墳時代の遺構面を検出する事ができた。また当該地は遺跡地図上では特に記載のない空白地域であったが、今回の調査によって、周辺からの遺跡の広がりや当地にも及んでいることを明らかにすることができた。



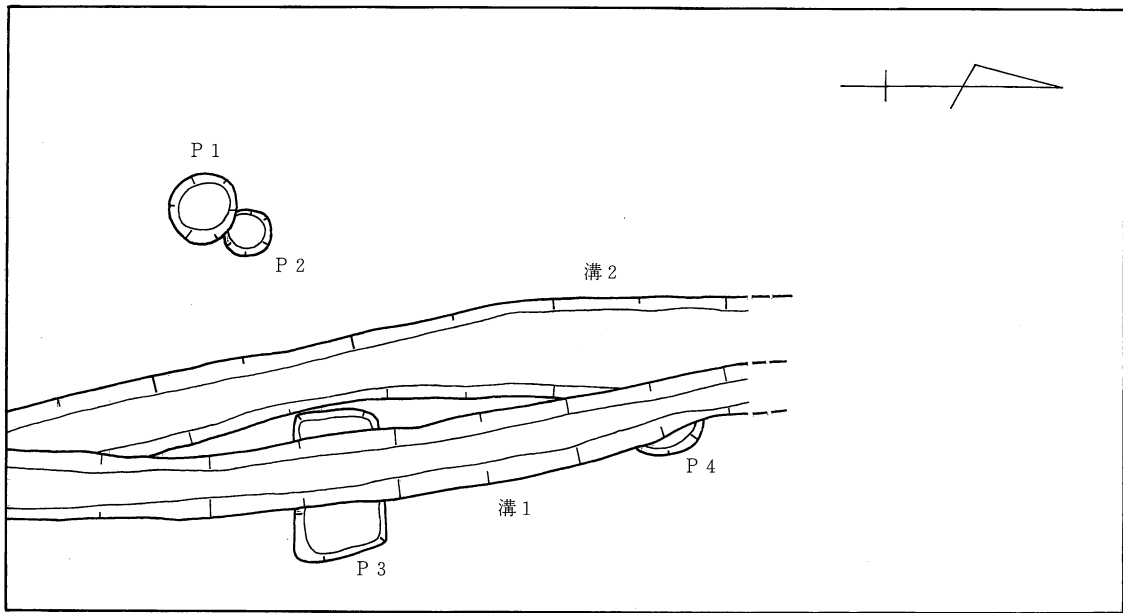
第1図 調査地点



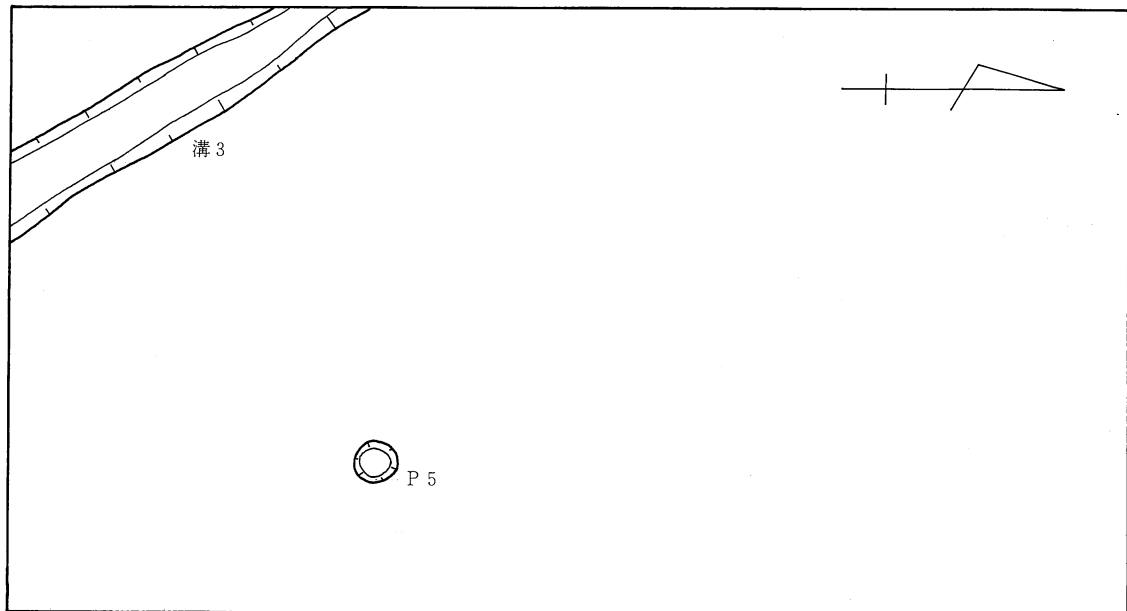
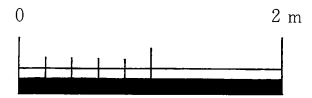
第2図 中世 溝1 検出状況



第3図 中世 ピット検出状況



第 4 図 中世遺構平面図



第 5 図 古墳時代 遺構平面図



南古市場遺跡

所在地 岡山市国府市場字南古市場93-1
 調査原因 集合住宅建設（浄化槽）
 時代 平安～中世

調査期間 20040305
 調査面積 約12m²
 担当者 神谷正義・安川 満

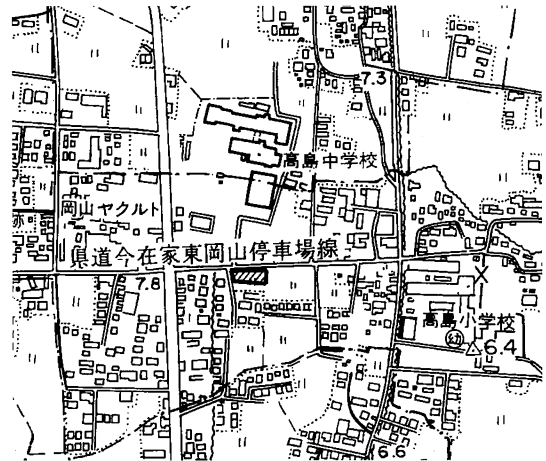
遺跡の概要 調査地点は平成3年度に実施した高島公民館建設に伴う発掘調査地点の西隣地にあたる。想定されている国府域内にもあたり、平成3年度の調査では奈良時代から中世にわたる遺構を検出しているため、当該地においても同様の遺構の展開が予測された。なお、建物部分は掘削深度が浅く影響がほとんどないため、掘削時に立ち会い、掘削が包含層の上面付近で停止していることを確認、浄化槽部分については発掘調査とすることとなった。

調査の概要 調査では、地表下約1.0mと地表下約1.4mの上下2面の遺構面を検出し精査を行い、上層遺構面からは性格不明の浅い土坑1基、下層遺構面からは柱穴等3基を検出した。出土遺物も多くはないが、土師質土器片などとともに石鍋の破片も含まれており、両遺構面とも中世の範囲内のものとみられる。

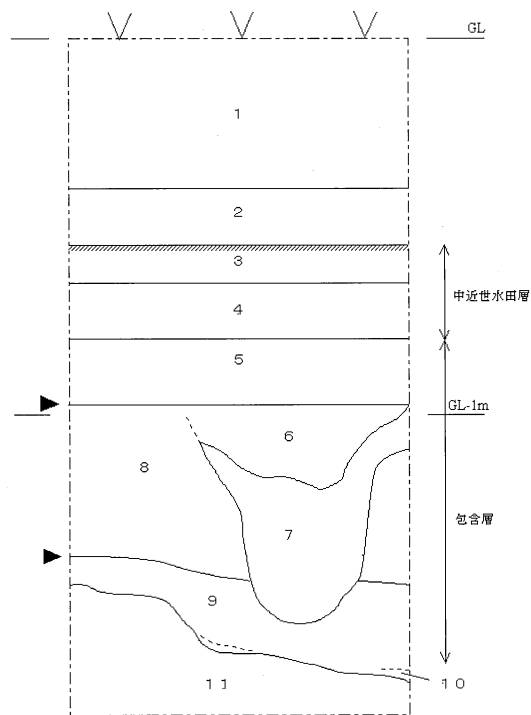
包含層下には、浅黄色砂質シルトの微高地基盤層が存在するが、東側に緩やかに傾斜しており、その上面は土壌化しておらず、窪みには粗い砂が堆積しているほか、東端部では円礫を多く含んでおり、河道もしくは洪水により上面を削られた状況とみられる。

土層注記

- 1 花崗岩風化土（造成土）
- 2 暗灰色砂質土（現代耕土）
- 3 黄灰色砂質シルト（中近世水田）
- 4 明黄～明黄褐色砂質土（中近世水田）
- 5 褐灰～褐色砂質土（包含層）
- 6 褐灰～褐色砂質土（遺構埋土）
- 7 黄褐色砂質土（遺構埋土）
- 8 褐灰～褐色砂質土（包含層）
- 9 褐灰色砂質土（包含層・2次堆積?）
- 10 灰色粗砂（洪水砂?）
- 11 黄灰～浅黄色砂質シルト（微高地基盤）



第1図 調査地点の位置



第2図 土層柱状図(1/20)

雄 町 遺 跡

所在地 岡山市雄町371-1ほか
 調査原因 店舗建設（浄化槽）
 時代 弥生～古墳時代

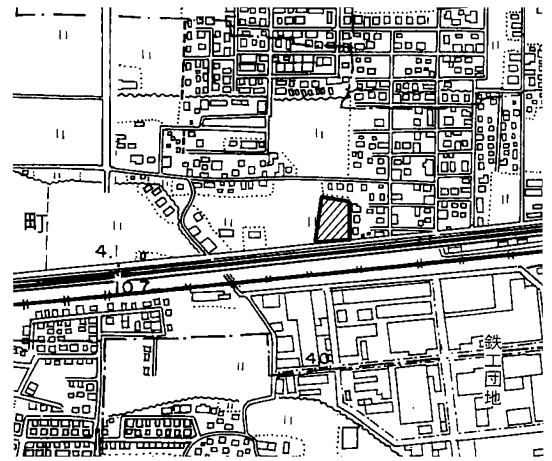
調査期間 20030827～20030829
 調査面積 約50m²
 担当者 安川 満

遺跡の概要 雄町遺跡は旭川東岸平野のほぼ中央に所在する弥生時代を中心とする集落遺跡で、山陽新幹線の建設に伴う発掘調査のほか、銅鐸の出土などで知られる。当該地は山陽新幹線の発掘調査における第4微高地の北側にあたり、平成9年度の西隣接地の調査においても、古墳時代初頭を中心とする遺構が検出されている。

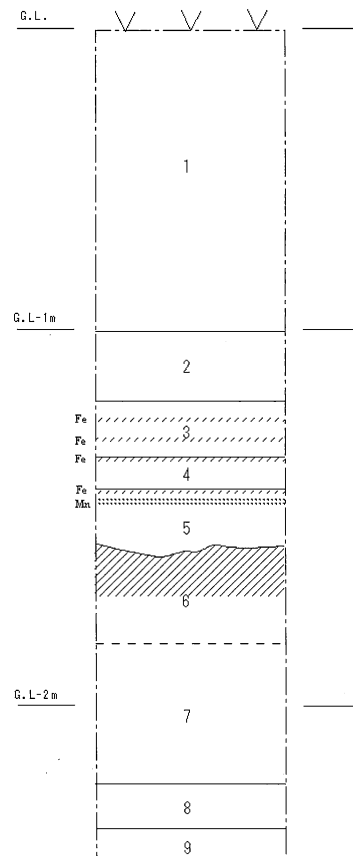
調査の概要 当該地は雄町遺跡の範囲内にあたるが、文化財保護法第57条の2の届出することなく着工しているのを、当教育委員会文化財課職員が発見し、届出の提出及び、掘削部分の記録保存を指示、浄化槽部分約85m²を発掘調査対象とすることとなった。

発掘調査では、地表下 -1.6m付近の微高地基盤上面で遺構等の精査を行ったが、遺構等を検出することができなかった。平成9年度の西隣接地の調査においては、ごく薄いながらも包含層が残されており、土坑や柱穴などを検出しているが、当該地点では、包含層も認められず、微高地基盤上面の高さも低く、古代段階と見られる耕作土（柱状図第5層）により微高地がかなり削平されているものとみられる。

発掘調査については浄化槽部分約85m²について対象とすることとしていたが、東半部約50m²の調査で遺構等の検出がなかったため、西半部については立会調査とし、両者を含め平成15年8月29日までに終了した。



第1図 調査地点の位置



第2図 土層柱状図(1/20)

土層注記

- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|
| 1 造成土 | 花崗岩風化土 | 6 微高地基盤 | 灰黄褐色砂質シルト |
| 2 現代耕土 | 灰色シルト微砂 | 7 | 灰黄褐色粘質微砂 |
| 3 中近世耕土 | 灰白色シルト粘土 | 8 低湿地堆積 | 黒褐色粘土 |
| 4 | 灰白色粘土 | 9 | オリーブ灰色粘土 |
| 5 古代?耕土 | 褐灰色シルト | | |

乙多見遺跡

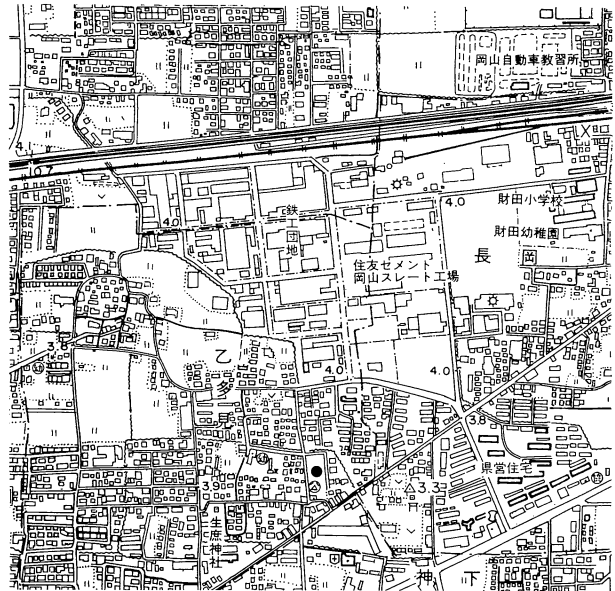
所在地 岡山市乙多見435-5
 調査原因 集合住宅建設
 時代 弥生時代

調査期間 031014～031015
 調査面積 20m²
 担当者 神谷正義・安川 満・西田和浩

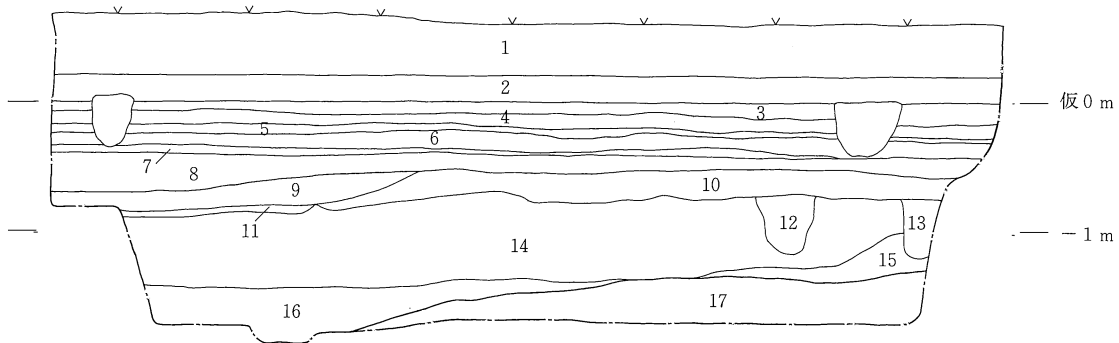
遺跡の概要 乙多見遺跡は旭東平野東部の沖積地に位置する。平成8年度に岡山市教育委員会によって発掘調査が実施され、弥生時代中期後半から後期前半を中心とする遺構が検出された。今回の調査は平成8年度の調査地点から南へ約200mの地点である。

調査の概要 発掘調査は浄化槽部分にあたる20m²を対象に行った。調査の結果、竪穴住居等は確認できなかったものの、南東方向に傾斜する河道あるいは微高地縁辺の斜面を検出し、その埋土中に斜面堆積の状況で、弥生時代中期後半を中心とする土器が多量に出土した。

まとめ 平成8年度の調査も微高地を捉えており、弥生時代中期後半に、この周辺に集落が広く存在していた可能性が濃厚であることを確認することができた。



第1図 調査地点



- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 造成土 | 10 黒褐色シルト (包含層) |
| 2 暗灰色粘質シルト (現代耕作土) | 11 黄褐色砂質土 |
| 3 灰白色粘質シルト | 12 灰褐色砂質シルト (柱穴?) |
| 4 淡灰色粘質シルト | 13 褐灰色砂質シルト |
| 5 淡灰～灰黄褐色粘質シルト | 14 暗灰～青灰色粘質砂 |
| 6 灰白色粘質土 | 15 灰～オリーブ灰色砂質粘土 |
| 7 灰色粘質土 | 16 明灰色粘質土 |
| 8 明灰色粘質砂 | 17 明オリーブ灰色粘土 (基盤層) |
| 9 黄橙褐色砂質土 | |

第2図 調査区南壁セクション

Ⅲ 埋蔵文化財保護等に関する協議と調整

埋蔵文化財保護行政の動向

埋蔵文化財に関する業務のうち、調査や出土物の収蔵・管理等以外の埋蔵文化財包蔵地の照会、埋蔵文化財に関する事前協議、調整、届出等の事務などは文化財課が窓口となっている。

本年度は平成15年1月1日施行の「鑑定評価基準」の見直し、平成15年3月31日の『改訂 岡山県遺跡地図』の刊行と大きな変化から始まった。

「鑑定評価基準」の見直しで、埋蔵文化財の存在状況が土地の評価に反映されることとなり、埋蔵文化財の照会・調整業務にも大きな変化が現れている。第1に、これまでは具体的な開発計画を伴った埋蔵文化財存在状況等の照会が中心であったが、それ以前、特に土地の取得以前の照会が増加している。第2に先述のこととも関係するが、1件の土地に対し複数の業者等からの照会が増加している。第3に、埋蔵文化財存在状況の照会件数自体が増加していることである。こうしたことは、ある意味、埋蔵文化財に対する関心の高まりとして、保護の面でも利する面も大きい。一方で、これまで以上に埋蔵文化財の照会、調整業務に統一性、公平性が求められる。

なお、全国的には文化財保護法第57条の2、第57条の3の届出・通知の件数、発掘調査の件数は減少傾向にあるようだが、岡山市ではむしろ増加傾向にある(表)。これは、景気の回復基調とともに、市内、特に市中心部でのマンション等集合住宅建設が活発になっていることが原因のひとつにあげられるが、先述の「鑑定評価基準」の見直しにより、埋蔵文化財の照会、開発事業の把握と協議の機会が増加していることの影響が大きいものとみられる。

	57条調査の届出	57条の2発掘の届出	57条の3発掘の通知	57条の5・6発見の届出・通知	58条の2調査の通知 ※1	59・61条出土物鑑査 ※2	試掘確認 調査 ※3	80条記念物 現状変更	総計
平成6年度	1	16	9	7	4		29	6	72
平成7年度	3	29	26	9	8		29	7	111
平成8年度	2	36	24	2	6		16	4	90
平成9年度	4	22	26	8	12	18	21	16	127
平成10年度	6	46	25	5	10	15	23	15	145
平成11年度	5	44	36	11	10	14	16	13	149
平成12年度	6	29	40	1	5	10	12	24	127
平成13年度	5	30	31	0	6	11	14	21	118
平成14年度	2	37	41	0	11	9	13	23	136
平成15年度	2	64	54	1	7	9	22	16	175

表 埋蔵文化財関係届出・通知等件数

※1 平成12年度に文化財保護法改正に伴い98条の2から58条の2に改正

※2 平成9年度に中核市に権限委任

※3 平成9年度から58条の2適用

埋蔵文化財保護事務事業

1) 埋蔵文化財存在状況照会

照会、調整業務に統一性、公平性を確保する目的で、本年度から埋蔵文化財の存在状況の照会等について「記録簿」を付けることとした。

平成15年度の埋蔵文化財存在状況等の照会件数は832件にのぼる。うち、鑑定評価など不動産の調査が382件と約46%を占め、開発申請に伴うもの45件、建築確認申請に伴うもの33件を大きく上回っている。

2) 開発事業等に対する意見

文化財保護法以外の法令等に伴う申請、届出に対し文化財保護の観点から意見を付している。

建築基準法第48条第6項に基づく許可申請に係る意見

日付	申請場所	申請者	施設の概要	意見
H15.4.7	岡山市いずみ町1-1の一部、1-29、1-38、1-39、1-40、1-41	岡山市内山下二丁目4番6号 岡山県知事 石井正弘	体育館(RC造一部鉄骨造地上3階) 建築面積 10,727.98㎡	津島遺跡の範囲内に当たりますが、岡山県教育委員会、岡山県古代吉備文化財センターが事前の発掘調査を実施しており、建物本体については対応済みとなっています。 ただし、電気、水道、ガス等付帯工事については別途対応が必要です。

建築基準法第59条の2の運用による建築計画に係る意見

日付	申請場所	申請者	施設の概要	意見
H15.12.18	岡山市野田屋町1丁目11-117、11-118、11-119、11-110、11-115、11-111、11-129	岡山市西大寺上一丁目1番50号 両備バス株式会社 代表取締役 小嶋光信	共同住宅(RC造地上31階地下1階) 建築面積 777.39㎡	「周知の遺跡」外だが、城下町内であり、出土物等に注意して施工のこと。

都市計画法第32条(公共施設の管理者の同意等)に係る意見

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H15.5.22	岡山市小字棚橋38-8、40-13の一部、49の一部、51の一部、52-1の一部、52-2及び地先農道の一部	高松市円座町1001番地 株式会社マルナカ 代表取締役 中山芳彦	店舗建築 面積 3,776.50㎡	小山馬揃遺跡、三手遺跡の周辺部もしくは隣接地にあたり、埋蔵文化財の存在する可能性が高いため、事前に試掘調査を実施し埋蔵文化財の存在状況を確認する必要がある。
H15.6.5	岡山市神下字角山475番1、476番、477番、478番1	東京都杉並区成田東四丁目39-8 株式会社チヨダ 代表取締役 舟橋政男	貸店舗建築 面積 2,281㎡	百間川遺跡群、神下遺跡等の周辺部にあたるものとし、試掘調査実施を指示済み。
H15.8.21	岡山市津島本町2880番1、2888番、2894番3、2894番4、2874番4	岡山市野田三丁目1番1号 株式会社ファインコーポレーション 代表取締役 小橋 晃	分譲住宅地 面積 2,194.41㎡	「届出」提出済み。施工時に立会調査指示。
H15.9.4	岡山市乙多見32番1	個人	共同住宅(2棟) 面積 1,239.45㎡	乙多見遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。
H15.10.30	岡山市赤田字式反町68、字北川田288番1、288番1地先道路	個人	共同住宅(3棟) 面積 2,320.99㎡	赤田西遺跡の範囲内。届出等指示済み。
H15.11.6	岡山市高松稲荷字宮谷712番の一部、713番、714番、736番、737番1の一部、737番2の一部、816番の一部、807番3の一部	岡山市高松稲荷712番地 最上稲荷教総本山妙教寺 代表役員 稲荷泰瑛	根本大堂移築ほか 面積 5,686.31㎡	周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲外で、かつ造成済み地点であるため支障なし。
H16.1.15	岡山市清水字石原480番、481番1、489番	個人	共同住宅(2棟) 面積 1,387.82㎡	清水遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H16.1.15	岡山市雄町262-1、264-4	広島市中区八丁堀6番16号 東亜ハウス株式会社 代表取締役 信國勝彦	分譲住宅地 面積 1,871.92㎡	雄町遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。
H16.3.4	岡山市吉備津字薬師1339番1、1340番1	岡山市吉備津1403番地3 ベルテ企画有限公司 代表取締役 片岡 憲	分譲住宅地 面積 2,823.38㎡	吉野口遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。
H16.3.25	岡山市法界院328番の一部、329番の一部、330番の一部	岡山市下石井二丁目7番20号 有限会社桃太郎不動産 代表取締役 近藤 修	分譲住宅地ほか 面積 2,917.81㎡	周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲外で支障なし。

国土利用計画法第23条第1項の届出に係る意見

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H15.4.21	岡山市西辛川746番地	株式会社岡住	分譲住宅地 面積 360㎡	範囲内。届出必要。計画によっては、保存の措置が必要。
H15.4.23	岡山市津島新野二丁目1107-1、1108-4	ミサワホーム中国株式会社	分譲住宅地 面積 2,051㎡	津島遺跡・津島新野遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。
H15.10.9	岡山市雄町250-1	協同組合 東岡山テクノセンター	工場建設	雄町遺跡の範囲内にあたるため、「届出」の提出、埋蔵文化財の保護について協議が必要。
H16.2.4	岡山市小山字馬揃14-8	トヨタホーム岡山株式会社	分譲住宅地	小山馬揃遺跡の隣接地にあたるため、文化財課と協議が必要。

岡山県環境影響評価等に関する条例第13条第1項の環境影響評価準備書に対する意見

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H15.6.17	岡山県邑久郡邑久町豊原地内	邑久町長 立岡脩二	邑久浄化センター建設 面積約35,000㎡	調査により天然記念物アユモドキの生息が確認されており、その生息、生存に十分留意してください。 評価では水質等アユモドキへの影響は少ないものとされていますが、水路護岸を含めた生息環境の保全・改善に配慮してください。 なお、生息調査、一時的な保護を含むアユモドキの一時捕獲には文化庁長官の許可が必要です。生息調査、保護のための一時捕獲は岡山県教育委員会教育長の権限委任許可事項にあたりますので、その可能性のある場合は「現状変更許可申請書」を町教育委員会をつうじて提出してください。緊急の場合も町教育委員会、県教育委員会とご相談ください。建設工事においても水域に影響がある場合には対応を町教育委員会、県教育委員会にご相談ください。

岡山県環境影響評価等に関する条例第16条第3項に係る意見

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H15.9.5	岡山県邑久郡邑久町豊原地内	邑久町長 立岡脩二	邑久浄化センター建設 面積約35,000㎡	意見の追加はありません

岡山市産業廃棄物処理施設の設置及び管理の適正化等に関する条例第6条第1項に係る意見

日付	申請場所	申請者	目的等	意見
H15.12.25	岡山市海岸通一丁目3番2、3番8、3番10、5番18	岡山市海岸通1丁目3番1号 同和鋳業株式会社岡山工場 工場長 手塚和正	産業廃棄物処理施設の設置ほか 面積 171,030.32㎡	当該地周辺には埋蔵文化財、天然記念物の生息等特に確認されおらず、文化財課としての意見はありません。

3) 文化財保護法違反等の経緯と対応

遺跡名	所在地	事業主体者	目的等	経緯・対応等
津島遺跡	岡山市いずみ町3-32番地	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松健	水道メーターボックス設置 面積 3㎡	通知せず着手しているのを岡山県古代吉備文化財センター津島遺跡発掘調査事務所が発見、嚴重注意のうえ事後ではあるが「通知」提出。
南古市場遺跡	岡山市国府市場字南古市場93-1, 93-8	個人	集合住宅 面積 743.09㎡	無届で着工しているのを当教育委員会文化財課職員が発見、嚴重注意の上、「届出」の提出を指示。基礎掘削部分は立会調査のうえ包含層上面で掘削停止を確認。浄化槽部分については発掘調査対応。
雄町遺跡	岡山市雄町141番1	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	路肩整備工事 面積 1,764㎡	平成16年2月、既に着手しているのを当教育委員会文化財課職員が発見。担当課に嚴重注意の上「通知」提出を指示。立会調査対応。
関遺跡	岡山市関226番地先	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	路肩整備工事 面積 526.5㎡	平成16年3月、既に着手しているのを当教育委員会文化財課職員が発見。担当課に嚴重注意の上「通知」提出を指示。立会調査対応。
清水遺跡	岡山市清水字石原480 489、字畑下481-1	個人	集合住宅 面積 1,387.82㎡	確認調査の結果を受け浄化槽部分については発掘調査対応とすることで合意していたが、施工業者の不注意から調査を実施することなく施工。顛末書を提出させるとともに嚴重注意。

4) 岡山市教育委員会の通知等

『改訂 岡山県遺跡地図』の刊行に伴い、「周知の埋蔵文化財包蔵地」の範囲に変更が加えられたため、特に開発事業との調整等の円滑化と包蔵地の範囲に変更があることに対する注意を喚起することを目的に平成15年4月30日付け岡教文起第37号で「埋蔵文化財の取り扱いについて」を市内の開発担当部署等に通知するとともに、埋蔵文化財の存在状況の照会に文化財課を訪れた不動産、開発関係事業者に配布した。

岡教文起第 37 号
平成15年 4 月30日

各 位

岡山市教育委員会文化財課
課長 出 宮 徳 尚

埋蔵文化財の取り扱いについて

日頃から埋蔵文化財の保護につきましては、格別のご高配を賜り深く感謝いたしております。

さて、このたび『改訂 岡山県遺跡地図』（平成15年3月31日発行）が発行されました。これに伴い「周知の遺跡」の範囲など大きな変更点がありますので照会、指導、事業計画等の際はご注意ください。

なお、『改訂 岡山県遺跡地図』は教育委員会文化財課に常備しておりますのでご参照ください。

〈主な変更点〉

●近世遺跡の取り扱い

従来、岡山城跡については二ノ丸の範囲までを埋蔵文化財と扱ってきましたが、三の曲輪の範囲までが埋蔵文化財としての取り扱いを受けることとなります。また、撫川城跡・庭瀬城跡に関しても同様です。

●詳細分布調査等の成果

岡山市においては平成11～12年度に実施された詳細分布調査の成果など最新の情報が反映されます。平成14年3月改訂の『岡山市文化財地図』でもできる限りの最新情報を盛り込んでいますが、埋蔵文化財の範囲に変更のある部分がありますのでご注意ください。

連絡先
岡山市教育委員会生涯学習部
文化財課

5) 文化財保護法等に基づく提出書類

なお、平成15年度に当教育委員会が取り扱った文化財保護法等に係る提出書類は以下の通りである。

- ・埋蔵文化財発掘調査の届出(第57条) 2件
- ・埋蔵文化財発掘の届出(第57条の2) 64件
- ・埋蔵文化財発掘の通知(第57条の3) 54件
- ・埋蔵文化財発見の届出・通知(第57条の5・6) 1件
- ・埋蔵文化財発掘調査の報告(第58条の2) 7件
- ・埋蔵文化財試掘確認調査の報告(第57条・第58条の2) 22件(確認19件、試掘3件)
- ・埋蔵文化財発見通知(第59条) 6件
- ・埋蔵文化財監査(第61条) 3件
- ・記念物現状変更申請(第80条) 16件(うち14件は権限委任許可)
- ・県指定文化財の現状変更申請(県文化財保護条例第35条第1項) 1件

埋蔵文化財発掘調査の届出(第57条)

2件

種類及び遺跡名	所在地	面積(m ²)	目的及び原因	調査期間	調査主体者	担当者	岡山県文書番号 日付
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	1,830	岡山大学(医 病)病棟Ⅱ期 新営工事	20030728 ～20040328	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 助手 岩崎志保	教文埋第261号 20030603
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	30	岡山大学(鹿 田)総合教育 研究棟新営工 事に伴う排水 施設	20031015 ～20031031	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 助手	教文埋第659号 20031006

埋蔵文化財発掘の届出(第57条の2)

64件

種類及び遺跡名	所在地	面積(m ²)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
集落跡 湯迫蟹田遺跡	岡山市国府市場722-8・ 722-7・721-3・722-1・ 721-1	539.53	保育園園舎増 築	20030801 ～20040310	岡山市国府市場721番地2 社会福祉法人岡山幸風会 理事長 高山幸子	・立会調査	教文埋第145号 20030428
生産遺跡(水田) 高屋遺跡	岡山市高屋字両151・152・ 152-5	3035.98	店舗建設	20030610 ～20030615	岡山市青江一丁目23番9号 株式会社プレジデントフーズ 代表取締役 戸田 昭	・立会調査	教文埋第144号 20030428
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島新野遺跡	岡山市津島新野二丁目 1107-3	799.28	住宅団地造成	20030526 ～20030630	岡山市野田二丁目13-17 ミサワホーム中国株式会社 岡山統括支配人 土井邦良	・立会調査	教文埋第203号 20030519
散布地 清水遺跡	岡山市清水字八反田496番	796	宅地造成及び 集合住宅	20030422 ～20030531	個人	・発掘調査(浄化槽)	教文埋第201号 20030519

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
散布地 天神河原遺跡	岡山市高島新屋敷100-1	366.24	宅地造成	20030623 ～20031025	岡山市中島69番地の3 有限会社ヤシロ 代表取締役 八代武利	・立会調査	教文埋第250号 20030602
散布地・官衙跡 備前国府関連遺跡	岡山市国府市場字の場286 番地	3360	宅地造成	20030501 ～20030721	岡山市今二丁目2番17号 株式会社ウエストランドス ケープ 代表取締役 近藤章浩	・立会調査	教文埋第272号 20030609
集落跡 津島遺跡・絵図遺 跡	岡山市絵図町384-5・382-9	1691.41	店舗付き住宅	20030620 ～20031120	個人	・慎重工事	教文埋第308号 20030617
散布地 三野宮之段遺跡	岡山市北方三丁目64番26・ 1244番7・1244番13	441.56	個人住宅	20030726 ～20031210	個人	・立会調査	教文埋第312号 20030617
集落跡 上伊福遺跡	岡山市伊福町三丁目 858-9・858-10	125.44	個人住宅	20030630 ～20031130	個人	・慎重工事	教文埋第340号 20030630
散布地 津島福居遺跡	岡山市津島本町2880他	約1980	宅地造成	20030715 ～20031030	岡山市平井1224-25 株式会社ヒライ技研建設 代表取締役 平井久男	・立会調査	教文埋第342号 20030630
集落跡 絵図遺跡	岡山市絵図町1406-3	132.94	事務所増築	20030723 ～20030927	岡山市絵図町1-50 株式会社岡山スポーツ会館 代表取締役 江尻博子	・立会調査	教文埋第363号 20030707
城館跡 岡山城二ノ丸跡	岡山市丸の内二丁目6番102	2084	道路拡幅に伴 う園舎移転	20031001 ～20040331	岡山市丸の内二丁目6番5号 学校法人内山下保育会 理事長 方川 淳	・立会調査	教文埋第396号 20030718
集落跡・生産遺跡 (水田) 名称未定(岡山市 2279)	岡山市岩田町2-111	743.10	専修学校建設	2003630 ～20040228	岡山市岩田町3-22 学校法人貝畑学園 理事長 貝畑雅二	・立会調査	教文埋第453号 20030811
集落跡・官衙跡 備前国府関連遺跡	岡山市賞田220-1・220-6	1723.98	宅地造成	未定	岡山市中島69-3 株式会社八代不動産 代表取締役 八代武利	・立会調査	教文埋第489号 20030820
集落跡 中井遺跡	岡山市中井字北梅木405番2 ほか	1294.66	宅地造成	200310中旬 ～20040331	岡山市野田二丁目13番17号 ミサワホーム中国株式会社 岡山統括支配人 土井邦良	・立会調査	教文埋第518号 20030901
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島新野二丁目 925-1	127.93	集合住宅	20031001 ～20040331	個人	・慎重工事	教文埋第566号 20030912
散布地 名称未定	岡山市大和町二丁目731-4	68.1坪	集合住宅	20030930 ～20040228	個人	・確認調査実施。埋 蔵文化財包蔵層確認 されず。	教文埋第586号 20030917
散布地・集落跡 赤田西遺跡・清水 遺跡	岡山市清水字宮田413・414 の各一部	979.86	集合住宅	20030930 ～20040130	個人	・立会調査	教文埋第605号 20030922
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目6-45番 地先	12.0	電気(既存埋 設管試掘調 査)	20031031 ～20031125	岡山市青江二丁目6番51号 中国電力株式会社 岡山営業所所長 藤岡清人	・慎重工事	教文埋第636号 20030929
集落跡・生産遺跡 (水田) 上伊福遺跡	岡山市清心町 276-9・ 276-10・276-11・276-13・ 277-12・277-16・277-17・ 277-18・277-24	1347.12	その他建物 (診療所)増築	200310中旬 ～ 200410中旬	岡山市清心町3-18 医療法人社団福島内科医院 理事長 草野 功	・平成13年度の確認 調査で埋蔵文化財包 蔵層確認されず。 ・慎重工事	教文埋第651号 20031002
城館跡 高松知行所跡	岡山市高松原古才字館 323-3・323-13・323-41	867.68	宅地造成	20030925 ～20040331	倉敷市笹沖1035番地の1 株式会社岡住 代表取締役 山田恵章	・立会調査	教文埋第652号 20031002
散布地 名称未定(岡山市 1103)	岡山市西辛川字西山 681-1・682-1・685 字和井元654-4・654-5	3422.41	分譲住宅地造 成	200310中旬 ～20040331	倉敷市笹沖1035番地の1 株式会社岡住 代表取締役 山田恵章	・立会調査	教文埋第658号 20031006
集落跡 乙多見遺跡	岡山市乙多見155番	1371.21	集合住宅	20031201 ～20040601	個人	・発掘調査(浄化槽) ・立会調査(擁壁)	教文埋第696号 20031016
城館跡 岡山城三之曲輪跡	岡山市天神町1-15ほか	933.06	集合住宅	200311頃 ～20040331	香川県丸亀市宗古町13-1 白川ビル4階 株式会社和田コーポレー ション代表取締役 和田康 博	・確認調査の結果、 包蔵層確認されず。 ・慎重工事	教文埋第697号 20031016
集落跡 乙多見遺跡	岡山市乙多見435-5	20	集合住宅	200310中旬 ～200403	個人	・発掘調査(浄化槽)	教文埋第699号 20031016
官衙跡 ハガ遺跡	岡山市国府市場西千在332 番3・332番8・332番9・332 番10	317.94	個人住宅・宅 地造成	20031110 ～20040331	個人	・立会調査	教文埋第706号 20031021

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
官衙跡 ハガ遺跡	岡山市国府市場西千在332番5	159.00	個人住宅・宅 地造成	20031110 ～20040331	個人	・立会調査	教文埋第707号 20031021
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島新野一丁目 947-4・947-5	42.68	集合住宅	20031016 ～20040331	個人	・立会調査	教文埋第711号 20031021
集落跡 津島遺跡	岡山市伊福町三丁目661-4	218.11	集合住宅	20031016 ～20040310	個人	・確認調査で包蔵層 確認。建物部分は設 計変更により現状保 存。 ・立会調査	教文埋第728号 20031024
社寺跡 大崎廃寺	岡山市大崎地内	延長 95.5m	水路改良事業	20031201 ～20040228	岡山市高松原古才247番地 高松土地改良区 理事長 渡邊晴生	・慎重工事	教文埋第723号 20031024
集落跡 津島遺跡	岡山市いずみ町 (岡山市営グランド北西歩 道内)		ガス管移設	20031117 ～20031220	岡山市桜橋二丁目1番1号 岡山ガス株式会社 取締役社長 岡崎 彬	・立会調査	教文埋第769号 20031031
集落跡 津寺遺跡	岡山市高松原古才336-2 県立高松農業高等学校地内	21234.0	学校(実習棟)	200311 ～200312	岡山市高松原古才336-2 岡山県立高松農業高等学校 同窓会会長 本行節夫	・立会調査	教文埋第788号 20031110
集落跡・生産遺跡 (水田) 原尾島遺跡	岡山市藤原西町二丁目 229-1・229-3	1508.88	集合住宅	20031105 ～20040320	個人	・確認調査を実施の 上保存方協議。 ・発掘調査(浄化槽)	教文埋第787号 20031110
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目6-45番 地先	41.8	電気通信用管 路及びハンド ホール敷設工 事	20031130 ～20040331	岡山市青江二丁目6番51号 中国電力株式会社 岡山営業所所長 藤岡清人	・慎重工事	教文埋第794号 20031110
散布地 名称未定	岡山市古京町一丁目1-2・ 172-1・173-1・173-3・174	1686.96	集合住宅	20040123 ～20050303	高松市鍛冶屋町7番地12 穴吹興産株式会社 代表取締役 穴吹忠嗣	・確認調査の結果、 包蔵層確認されず。 ・慎重工事	教文埋第843号 20031125
集落跡 中井遺跡	岡山市中井字北梅木 406-1・406-2	1621.96	分譲住宅地造 成	20040120 ～20040331	岡山市野田二丁目13番17号 ミサワホーム中国株式会社 岡山統括支配人 土井邦良 個人	・立会調査	教文埋第839号 20031125
集落跡 南方遺跡	岡山市清心町4番31号	1358.68	ガソリンスタ ンド新築	20040105 ～20040331	岡山市清心町4番31号 岡山県貨物運送株式会社 代表取締役 新見 健	・発掘調査(地下タ ンク部分)	教文埋第844号 20031125
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市伊島町一丁目 831-1・832-5	368.296	集合住宅	20031201 ～20040331	個人	・確認調査実施の上 協議	教文埋第861号 20031128
散布地 三野宮之段遺跡	岡山市北方三丁目1243-6・ 1244-4	776.05	分譲住宅地造 成	20031201 ～200401初 旬	岡山市野田二丁目13番17号 ミサワホーム中国株式会社 岡山統括支配人 土井邦良	・慎重工事	教文埋第863号 20031201
散布地 硫黄山遺跡	岡山市西大寺一宮字溺582 番の一部、590番の一部	121.12	携帯電話鉄塔	20031220 ～20040131	東京都港区愛宕2丁目5番1 号 ボーダーフォン株式会社 代表執行役社長 グリル・ イー・グリーン	・立会調査	教文埋第873号 20031204
集落跡・生産遺跡 (水田) 絵図遺跡	岡山市南方五丁目1504-1の 一部	341.50	店舗	20040105 ～20040331	岡山市南方5丁目2-45 岡山商科大学付属高等学校 校長 戸村彰孝	・慎重工事	教文埋第895号 20031209
集落跡 絵図遺跡	岡山市清心町353-2ほか8 筆	2879.48	集合住宅	20040120 ～20050430	岡山市浜二丁目1番3号 株式会社中山工務店 代表取締役 中山時男	・平成14年1月に提出された届出後、 着手せず、設計変更等あったため変 更事項届出。	
集落跡 兼基遺跡	岡山市兼基字四反地90・ 91-1・91-2	3791.39	集合住宅	20040216 ～20041130	岡山市弓之町16の19 有限会社クラモト家興産 代表取締役 倉元秀禎	・確認調査実施 ・建物部分は設計変 更により現状保存。 ・浄化槽(100㎡)は 発掘調査。	教文埋第966号 20040108
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内一丁目 5-113・5-114・5-115・ 5-121	275.49	集合住宅	20040113 ～20040920	岡山市丸の内一丁目5番20 号三洋東中国特機システム 株式会社 代表取締役社長 鳥羽章三	・立会調査	教文埋第979号 20040113
官衙跡 南古市場遺跡	岡山市国府市場字南古市場 93-1・93-8	743.09	集合住宅	20031101 ～20040228	個人	・無届で着手、届出 指示。 ・立会調査(建物) ・発掘調査(浄化槽)	教文埋第998号 20040119
集落跡・社寺跡 赤田西遺跡・幡多 廃寺跡	岡山市赤田字式反地68番・ 字北川田288番1		集合住宅	200401中旬 ～20050331	個人	・立会調査	教文埋第999号 20040119

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
官衙跡 備前国府関連遺跡	岡山市祇園字長盛206番1	275	宅地造成	2004年中	個人	・慎重工事	教文埋第1000号 20040119
城館跡 岡山城三之外曲輪 跡	岡山市天神町6-103	3070.14	宗教施設増築	20040401 ～20041220	広島市中区幡町4番42号 宗教法人カトリック広島司 教区 代表役員 三木篤實	・確認調査実施の上 協議。 ・立会調査	教文埋第1035号 20040130
集落跡 高松沼田遺跡	岡山市高松字土手後118番1、 118番6、118番9、118番11	396.87	宅地造成	20040115 ～20040930	個人	・慎重工事	教文埋第1049号 20040202
集落跡 高松沼田遺跡	岡山市高松字土手後118番 2・118番4、・118番5・118 番8	325.00	宅地造成	20040315 ～20040930	個人	・慎重工事	教文埋第1050号 20040202
集落跡 上伊福遺跡	岡山市伊福町三丁目 1052-1・1052-2・1052-3・ 1052-4・1052-5	477.82	店舗付き住宅 (住居部分)増 築	200402下旬 ～20050331	個人	・立会調査	教文埋第1051号 20040202
官衙跡 ハガ遺跡	岡山市国府市場字千在317 番	333	宅地造成	2004年中	個人	・立会調査	教文埋第1090号 20040216
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町262-1・264-4	1871.92	宅地造成	20040216 ～20040316	広島市中区八丁堀6番16号 東亜ハウス株式会社 代表取締役 信國勝彦	・立会調査	教文埋第1091号 20040216
集落跡 吉野口遺跡	岡山市吉備津字中吉野 1494-1・1494-2	3387.95	庫裏・客殿改 築		岡山市吉備津1494 宗教法人普賢院 代表役員 眞西禮範	・立会調査	教文埋第1125号 20040225
集落跡 清水遺跡	岡山市清水字石原480・ 489、字畑下481-1	1387.82	集合住宅	20040220 ～20040630	個人	・確認調査を実施の 上協議。 ・発掘調査(浄化槽) ・調査実施せず着手。 ・嚴重注意。顛末書提 出。	教文埋第1126号 20040225
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市学南町二丁目5-31	729.28	集合住宅	20040306 ～20041130	岡山市福田333番地 秦建設株式会社 代表取締役 秦 啓一郎	・確認調査実施。包 蔵層確認せず。 ・慎重工事	教文埋第1131号 20040225
集落跡 中井遺跡	岡山市中井454番1	842.84	診療所新築	20040308 ～20040620	個人	・発掘調査(浄化槽)	教文埋第1149号 20040304
集落跡 北方地藏遺跡	岡山市中井町一丁目 283-2・274-5・280-2・ 270-2	2505.72	店舗建設	20040312 ～20040729	岡山市平福一丁目305番地2 株式会社山陽マルナカ 代表取締役 中山明憲	・確認調査に基づき 協議 ・既存建物による既 掘部分多く、基礎、 浄化槽掘削時に立会 調査。	教文埋第1157号 20040305
集落跡 鹿田遺跡	岡山市東古松一丁目6～12 番 (市道大元駅前二日市町線)	236.36	電気通信用地 下管路埋設	20040329 ～20041224	広島市中区大手町2-11-10 株式会社エヌ・ティー・ ティー・ドコモ中国 代表取締役社長 戸澤弘男	・立会調査	教文埋第1162号 20040308
散布地 名称未定(岡山市 212)	岡山市粟井字央沖1138-3・ 1138-4	227	個人住宅・宅 地造成	20040510 ～20040610	個人	・立会調査	教文埋第1163号 20040308
城館跡 岡山城三之外曲輪 跡	岡山市蕃山町9-106	1015.25	集合住宅	20040415 ～20050919	高松市鍛冶屋町7番地12 穴吹興産株式会社 代表取締役 穴吹忠嗣	・確認調査実施。既 存建物基礎により破 壊。 ・慎重工事	教文埋第1164号 20040308
集落跡 高松沼田遺跡	岡山市高松字土手後118番7	211.29	個人住宅・宅 地造成	20040501 ～20041130	個人	・慎重工事	教文埋第1169号 20040315
集落跡 高松沼田遺跡	岡山市高松字土手後118番 10	242.57	個人住宅・宅 地造成	20040501 ～20041130	個人	・慎重工事	教文埋第1170号 20040315
集落跡 中井遺跡	岡山市中井字松ノ木138-7 の一部	152.79	個人住宅	20040331 ～20040728	個人	・立会調査	教文埋第1195号 20040318

埋蔵文化財発掘の通知（第57条の3）

54件

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市いずみ町3-32番地	3	水道メーター ボックス取り 替え	20030509 ～20030510	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・通報により通知提出指示。厳重注意	教文埋第227号 20030526
社寺跡 清水廃寺	岡山市芳賀1402	2,184	ため池改修	20031203 ～200405	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査 ・堰堤擁壁部分で瓦溜まり検出。発掘調査実施。	教文埋第258号 20030603
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	1,830	岡山大学(医 病)病棟Ⅱ期 新営工事	20040330 ～20070330	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・発掘調査	教文埋第259号 20030603
集落跡 中井遺跡	岡山市中井1-1地先～同19 地先	170	上下水道(配 水管敷設)	20030707 ～20030919	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・立会調査	教文埋第366号 20030708
集落跡 中井遺跡	岡山市中井108-5地先～同 127-1地先	396.1	上下水道(配 水管敷設)	20030805 ～20031119	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・立会調査	教文埋第454号 20030811
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	220	排水管理設	20030818 ～20031219	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第456号 20030811
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町134-5番地～同 614-14番地先	93.8	上下水道(下 水道管敷設)	200309中旬 ～20040329	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第522号 20030823
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	200	上下水道	20030901 ～20031219	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第524号 20030828
散布地・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島本町13-38～同 14-8番地先	143	上下水道(下 水道管敷設)	200310下旬 ～20040326	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第568号 20030912
散布地・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島福居二丁目14- 22-1～同10-5-1番地先	364.8	上下水道(下 水道管敷設)	200310下旬 ～20040326	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第569号 20030912
散布地 東岡山遺跡	岡山市長岡139-6地先～同 256-2地先	98	上下水道(配 水管敷設)	200310中旬 ～20040109	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・立会調査	教文埋第606号 20030922
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	1367	上下水道	20031001 ～20031219	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第635号 20030929
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	0.3	岡山大学鹿田 団地街灯新営	20031015 ～20031017	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第662号 20031006
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町77地先～同 149-1地先	86	上下水道(配 水管敷設)	200311上旬 ～20040115	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・立会調査	教文埋第693号 20031016
散布地・集落跡 中井遺跡	岡山市中井15-3地先～同 86-3地先	309.6	上下水道(配 水管敷設)	200311上旬 ～20040308	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・慎重工事	教文埋第694号 20031016
散布地・集落跡 中井遺跡	岡山市雄町184-10地先～同 203地先	492.0	上下水道(配 水管敷設)	200311上旬 ～20040311	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・慎重工事	教文埋第695号 20031016
集落跡 伊福定国前遺跡	岡山市伊福町四丁目3-92地 先	3	上下水道(取 付柵新設)	20031010 ～20031011	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・慎重工事	教文埋第698号 20031016
散布地・集落跡 清水遺跡・赤田西 遺跡・幡多廃寺 跡・赤田東遺跡・ 高屋遺跡	岡山市清水423-5番地～高 屋178-1番地先	198.0	上下水道(地 下埋設物調 査)	200310上旬 ～20031225	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・慎重工事	教文埋第708号 20031020
散布地・集落跡 百間川遺跡群等	岡山市藤原101-1番地～高 屋134番地先	120.0	上下水道(地 下埋設物調 査)	200310上旬 ～20031225	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・慎重工事	教文埋第709号 20031021
散布地・集落跡 清水遺跡・赤田東 遺跡・乙多見遺跡	岡山市関201-1番地～同 466-3番地先	146.88	上下水道(地 下埋設物調 査)	200310上旬 ～20031225	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・慎重工事	教文埋第710号 20031021
集落跡 津島岡大遺跡	岡山市津島中一丁目1番1号	650	公共下水道接 続工事	20031110 ～20040227	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第727号 20031024
城館跡 足守陣屋町跡	岡山市足守1049番地～同 1636番地先	18.26	上下水道(マ ンホールボ ンブ設置工 事)	200311中旬 ～20040326	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・慎重工事	教文埋第729号 20031024
散布地 名称未定	岡山市下土田137番地先～ 同141番地先	500.00	道路改良工事	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第789号 20031110

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
散布地・城館跡 加茂城跡	岡山市加茂187-1番地先	31.00	水路改良工事	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第790号 20031110
社寺跡 大崎廃寺	岡山市大崎111-1番地先～ 同110-1番地先	390.00	道路改良工事	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第791号 20031110
散布地 名称未定	岡山市門前464-1番地先～ 同431-1番地先	390.00	道路改良工事	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第792号 20031110
集落跡 中井遺跡	岡山市中井35-5地先～同 37-12地先	110	上下水道(配 水管敷設)	200312上旬 ～20040128	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・慎重工事	教文埋第810号 20031113
散布地 津寺遺跡	岡山市津寺109番地の3先～ 112番地の1	161.0	道路改良工事	20031031 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第860号 20031128
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	855	道路(岡山大学(鹿田)総合 教育研究棟新 営工事に伴う 外構工事)	20031201 ～20031219	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第862号 20031201
古墳 江田山麓古墳群	岡山市新庄下1650番地先～ 同1669番地先	90	農業基盤整備 (水路改良)	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第879号 20031205
城館跡 岡山城二ノ丸跡	岡山市丸の内二丁目6-104、 6-105、1005、1001-1(一部)、 1010(一部)	約2,000	道路改良工事	200401中旬 ～200405下旬	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・発掘調査	教文埋第891号 20031209
集落跡・官衙跡 川入・中撫川遺跡	岡山市川入字大道西144-13、 149-1、195-1付近、中撫川 字法万寺435-1、437-3付近	約4,500	道路建設	200401中旬 ～200603下旬	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・発掘調査	教文埋第892号 20031209
散布地・生産遺跡 (水田) 津島遺跡・津島江 道遺跡	岡山市学南町二丁目12-21 番地～津島東一丁目2-4番 地先	490	上下水道(汚 水管埋設)	200403下旬 ～20050329	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第893号 20031209
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島福居二丁目～津 島東四丁目	457.2	上下水道(汚 水管埋設)	200401下旬 ～20040326	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第894号 20031209
古墳 千足古墳	岡山市新庄下1276番地先	19.50	水路改修	～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・指定範囲外。既存 水路の改修。 ・立会調査	教文埋第904号 20031212
集落跡 中井遺跡	岡山市雄町28地先～中井 128-6地先	380	上下水道(配 水管敷設)	200401上旬 ～20040531	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・立会調査	教文埋第905号 20031212
集落跡 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目5番1号	180	岡山大学(鹿 田)解剖実習 棟排水改修工 事	20040115 ～20040227	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	・立会調査	教文埋第906号 20031212
集落跡・生産遺跡 (水田) 北方遺跡	岡山市大和町二丁目、北方 一丁目、中井町一丁目地内	35.2	上下水道(北 方幹線(五工 区)汚水管埋 設工事)	200403 ～20050328	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第927号 20031218
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目地内 (市道丸の内10号線)	10.18	電気通信用地 下管路	20040115 ～20040210	岡山市中山下二丁目1番90 号 西日本電信電話株式会社 岡山支店長 伊佐治正隆	・慎重工事	教文埋第967号 20040108
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目地内 (市道錦町古京町線)	22.98	電気通信用地 下管路	20040115 ～20040210	岡山市中山下二丁目1番90 号 西日本電信電話株式会社 岡山支店長 伊佐治正隆	・慎重工事	教文埋第968号 20040108
集落跡 東岡山遺跡	岡山市長岡551-4地先から 551-7地先	14.5	上下水道(配 水管敷設)	200402下旬 ～20040319	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・慎重工事	教文埋第1036号 20040130
集落跡 川入遺跡	岡山市川入202番1地先、字 大道西202番1、203番、207 番1、214番1、214番2、214 番3、213番1、213番2、232 番1、232番3		路肩整備	200402 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第1088号 20040216
集落跡 川入遺跡	岡山市川入450-1、463-1	1369	路肩整備	200402 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第1089号 20040216
— —	岡山市津島南二丁目6-22番 地～7-59番地先	620	上下水道(汚 水管埋設)	200404下旬 ～20050131	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・包蔵地外 ・立会調査	岡教文起第 543-1号 20040210

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
集落跡 乙多見遺跡・東岡山遺跡	岡山市関155地先から中井157-4地先、外2件	278.2	上下水道(配水管敷設)	200402下旬 ～20040325	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 植松 健	・慎重工事	教文埋第1105号 20040217
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町141番1	1764	路肩整備工事	200402 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・通知なく着手しているのを発見、嚴重注意の上通知提出。 ・立会調査	教文埋第1130号 20040225
散布地・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島東三丁目7-1番地～津島東四丁目19-25番地先	536	上下水道(汚水管埋設)	200404下旬 ～20050325	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第1154号 20040305
集落跡・貝塚 津島遺跡・朝寝鼻貝塚	岡山市津島東三丁目2-1-4番地～津島東四丁目8-1番地先	109	上下水道(汚水管埋設)	200404下旬 ～20050325	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第1153号 20040305
集落跡 天瀬遺跡・新道遺跡	岡山市南中央町12-3地先から清輝橋一丁目4-17地先まで	236.2	上下水道(配水管敷設)	20040401 ～20040730	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・立会調査	教文埋第1158号 20040305
散布地 名称未定 (岡山市2281)	岡山市大供本町及び西古松の各一部	84095	区画整理事業	200403 ～20080331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・発掘調査	教文埋第1159号 20040305
集落跡 関遺跡	岡山市関226番地先	526.5	路肩整備工事	20031027 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・通知なく着手しているのを発見、嚴重注意の上通知提出 ・立会調査	教文埋第1193号 20040318
散布地・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市津島福居一丁目1-18番地～津島中三丁目7-4番地	75	上下水道(汚水管埋設)	200404下旬 ～20050325	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第1194号 20040318
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町77番地～208-1番地先	59.6	上下水道(汚水管埋設)	200404上旬 ～20050325	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・立会調査	教文埋第15号 20040406
集落跡 中井遺跡	岡山市中井57-1地先～129-1地先	99.0	仮設配水管埋設	200404下旬	岡山市鹿田町二丁目1番1号 岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤嘉昭	・慎重工事	教文埋第16号 20040406

埋蔵文化財発見の通知 (第57条の6)

1件

遺跡名	所在地	面積 (㎡)	工事の目的	工事期間	届出者	対応・指導事項等	岡山県文書番号 日付
集落跡 東岡山遺跡	岡山市長岡、下地内	280	水路改修	20031114 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・水路改修に伴う立会調査にて発見 ・一連の事業である(都)東岡山駅前線建設については発掘調査対応	教文埋第1192号 20040318

埋蔵文化財発掘調査の報告 (第58条の2)

7件

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	調査期間	調査主体者	担当者	文書番号 日付
社寺跡 清水廃寺	岡山市芳賀1402	90	ため池補強事業	20030604 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 高橋伸二・西田和浩	岡教文起第211号 20030829
集落跡 雄町遺跡	岡山市雄町371-1ほか	約50	店舗建設(浄化槽)	20030827 ～20030829	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安川満	岡教文起第219号 20030903
散布地・集落跡 乙多見遺跡	岡山市乙多見435-5	約20	集合住宅建設(浄化槽)	20031014 ～20031015	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義 文化財保護主事 安川満・西田和浩	岡教文起第324号 20031021
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目地内	437.5	市道丸の内16号線拡幅	20030901 ～20040331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義 文化財保護主事 河田健司	岡教文起第375号 20031118

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	調査期間	調査主体者	担当者	文書番号 日付
集落跡・生産遺跡 (水田) 原尾島遺跡	岡山市藤原西町二丁目 229-1, 229-3	約20	集合住宅建設 (浄化槽)	20040119	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満・西田和浩	岡教文起第504 号 20040121
城館跡 岡山城三之外曲輪	岡山市蕃山町6-10	602	岡山中央中学校 校舎建替	20040308 ～20040930	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義 文化財保護主事 河 田健司	岡教文起第604 号 20040302
官衙跡 南古市場遺跡	岡山市国府市場字南古市場 93-1, 93-8	12	集合住宅建設 (浄化槽)	20040305	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第621 号 20040308

埋蔵文化財試掘確認調査の報告(第57条・第58条の2)

22件

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	調査期間	包蔵地 の有無	調査主体者	担当者	文書番号 日付
城館跡 岡山城二の丸跡	岡山市丸の内二丁目1-101	4	病院増築	20030523	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義	岡教文起第81号 20030528
(未周知)	岡山市惣丸108番地・109番 地	2	携帯電話基地 局設置	20030613	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 草 原孝典	岡教文起第124 号 20030620
散布地 名称未定 (岡山市2216)	岡山市妹尾2119番地ほか	50	宅地造成	20030625	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第129 号 20030627
(未周知)	岡山市神下字角山457-1、 456、477-1、478-1	4	店舗新築	20030722	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第160 号 20030723
散布地 名称未定	岡山市岩田町2-111	4	専門学校新築	20030731	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第175 号 20030801
城館跡 岡山城三之外曲輪 跡	岡山市中山下二丁目7番45 号	12	旧深砥幼稚園 解体工事	20030801	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第178 号 20030805
散布地 名称未定	岡山市大和町二丁目731-4	4	集合住宅建設	20030819	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第199 号 20030821
散布地 名称未定	岡山市古京町一丁目172-1 ほか	4	集合住宅	20030924	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第253 号 20030925
城館跡 岡山城三之外曲輪 跡	岡山市天神町1-22ほか	8	集合住宅	20030919	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第265 号 20030925
集落跡・生産遺跡 (水田) 絵図遺跡	岡山市絵図町1番50号	2	その他建物 (事務所棟)	20030930	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第269 号 20031001
集落跡 津島遺跡	岡山市伊福町三丁目661-4	3	集合住宅	20031003	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第278 号 20031003
集落跡・生産遺跡 (水田) 鹿田遺跡	岡山市鹿田町二丁目64番1 号	31.5	その他建物 (立体駐車場)	20031017	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義・文 化財保護主事 安川 満	岡教文起第323 号 20031021
集落跡・生産遺跡 (水田) 原尾島遺跡	岡山市藤原西町二丁目 229-1ほか	3	集合住宅	20031107	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満・同 西田和浩	岡教文起第369 号 20031110
(未周知)	岡山市北方一丁目1220ほか	6	集合住宅	20031113	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義・文 化財保護主事 西田 和浩	岡教文起第398 号 20031125
集落跡・散布地 赤田西遺跡	岡山市清水二丁目333	6	集合住宅	20031121	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第405 号 20031126

種類及び遺跡名	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	調査期間	包蔵地 の有無	調査主体者	担当者	文書番号 日付
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市伊島町一丁目831-1、 832-5	2	集合住宅	20031216	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第459 号 20031217
集落跡 兼基遺跡	岡山市兼基字四反地90、 91-1、91-2	9	集合住宅	20031222	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満・同 西田和浩	岡教文起第466 号 20031225
集落跡 津寺遺跡	岡山市加茂517番地	3	学校(プール 改築)	20040130	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第540 号 20040209
集落跡・生産遺跡 (水田) 津島遺跡	岡山市学南町二丁目5-31	2	集合住宅	20040210	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第552 号 20040213
集落跡 清水遺跡	岡山市清水字石原480、489 字畑下481-1	6	集合住宅	20040224	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第585 号 20040225
城館跡 岡山城三之外曲輪 跡	岡山市蕃山町9番106、107、 108、109	6	集合住宅	20040301	無	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 文化財保護主事 安 川満	岡教文起第602 号 20040302
集落跡 東岡山遺跡	岡山市長岡・下	9	都市計画道路	20040319	有	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市教育委員会 主査 神谷正義・文 化財保護主事 安川 満	岡教文起第675 号 20040326

埋蔵文化財発見通知(第59条)・埋蔵文化財監査(第61条)

9件

物件名・数量	発見の場所	発見年月日	発見者	土地所有者	保管場所	文書番号 日付
近世陶磁器・瓦類 93箱 木製品・漆器 10箱 金属製品 1箱 石製品(井戸枠等) 6箱 骨類 1箱 その他 5箱 合計 116箱	岡山市弓之町9-27	20021209 ~20030930	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第287 号 20031007
瓦類 80箱 中世土器類 1箱 合計 81箱	岡山市清水1402ほか	20030602 ~20030930	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第313 号 20031017
弥生(中期)土器 3箱 合計 3箱	岡山市乙多見435-5	20031015	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	個人	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第325 号 20031021
土器 0.3箱 合計 0.3箱	岡山市津島中一丁目1番1号	20031003	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山大学埋蔵 文化財調査研 究センター	岡教文起第411 号 20031016
土器(古墳・中世) 3箱 木器(古墳・中世) 1箱 合計 4箱	岡山市鹿田町二丁目5番1号	20031104	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山大学埋蔵 文化財調査研 究センター	岡教文起第 474-1号 20040105
土器(弥生~近世) 55箱 石器(弥生~近世) 1箱 木器(弥生~近世) 2箱 金属器・骨 1箱 土壌サンプル 7箱 合計 66箱	岡山市鹿田町二丁目5番1号	20031217	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山市津島中一丁目1番1号 岡山大学長 河野伊一郎	岡山大学埋蔵 文化財調査研 究センター	岡教文起第 475-1号 20040105
土器・須恵器 1箱 合計 1箱	岡山市国府市場字南古市場 93-1、93-8	20040305	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	個人	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第638 号 20040311
土器・須恵器 1箱 合計 1箱	岡山市中井454番1	20040316	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	個人	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第654 号 20040319
瓦類 1162箱 瓦塔 1箱 鴟尾 1箱 土器・陶磁器類 10箱 金属器類 1箱 基壇化粧石片 5箱 合計 1180箱	岡山市賞田471-1ほか	20011203 ~20040325	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 玉光源爾	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	岡山市埋蔵文 化財センター	岡教文起第701 号 20040331

記念物現状変更申請（第80条）

16件

種別及び名称	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	期間	申請者	対応・指導事項等	文書番号 日付
天然記念物 アユモドキ	地域を定めず（笹が瀬川・足守川）		「河川水辺の国勢調査」に伴う一時捕獲の可能性	許可の日～20031231	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・施行令第5条第4項第1号一トに該当。	岡教文起第66-1号 20030515
天然記念物 アユモドキ	地域を定めず（岡山市賞田地内・中田川）		一時捕獲（渇水期の保護及び観察会）	許可の日～	岡山市賞田126-2 岡山市賞田町内会 会長 服部仁寿	・施行令第5条第4項第1号一トに該当。	岡教文起第79-1号 20030526
史跡 津島遺跡	岡山市いずみ町1-1		排水管改修	許可の日～20031130	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・実施に当たっては、岡山県教育委員会の指示を受けること。 ・施行令第5条第4項第1号一ホに該当。	岡教文起第136-1号 20030702
史跡 岡山城跡	岡山市丸の内二丁目3番901ほか		史跡整備及び付帯工事	許可の日～20060331	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・掘削工事に際しては、岡山市教育委員会の埋蔵文化財担当職員の立会を求めること。 ・その他、実施に当たっては、岡山県教育委員会の指示を受けること。	15委庁財第4の452号 20030724
史跡 津島遺跡	岡山市いずみ町1-1	1,589㎡	芝張り替え	許可の日～20030930	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・遺構、景観等への影響なし。 ・施行令第5条第4項第1号一ハに該当。	岡教文起第161-1号 20030729
史跡 津島遺跡	岡山市いずみ町1-1		排水管改修	許可の日～20031130	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・岡教文起第136-1号で許可した件の計画変更。 ・岡山県教育委員会の指示を受けること。 ・施行令第5条第4項第1号一ホに該当。	岡教文起第182-1号 20030805
史跡 岡山城跡	岡山市丸の内二丁目3番901ほか		仮設物（菊展示用テント）設置	20031010～20031122	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・遺構等を破損することのないよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一ハに該当。	岡教文起第228-1号 20030910
天然記念物 アユモドキ	地域を定めず		農村振興総合整備事業（捕獲の可能性）	許可の日～20040331	岡山県岡山地方振興局 局長 山田宗志	・アユモドキを傷付けることの無いよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一トに該当。	岡教文起第292-1号 20031014
天然記念物 アユモドキ	地域を定めず		一時飼育・観察会	許可の日～20031120	岡山市賞田126-2 岡山市賞田町内会 会長 服部仁寿	・アユモドキを傷付けることの無いよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一トに該当。	岡教文起第350-1号 20031021
天然記念物 アユモドキ	地域を定めず		既設排水確認工事に伴う一時捕獲の可能性	許可の日～20031226	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・アユモドキを傷付けることの無いよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一トに該当。	岡教文起第351-1号 20031104
特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡	岡山市後楽園1番5号		下水管布設及び圧送ポンプ設備整備	許可の日～20040331	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・現状景観を著しく損なわないよう注意。 ・岡山県教育委員会と協議の上、立会調査実施。 ・施行令第5条第4項第1号一ホに該当。	岡教文起第502-1号 20040120
史跡 岡山城跡	岡山市丸の内二丁目3番901ほか		看板撤去	許可の日の翌日～20040216	岡山市大供一丁目1番1号 岡山市長 萩原誠司	・遺構等を破損することのないよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一ハに該当。	岡教文起第520-1号 20040130
史跡 津島遺跡	岡山市いずみ町1-1	1,369㎡	芝張り替え	許可の日～20040331	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・遺構、景観等への影響なし。 ・施行令第5条第4項第1号一ハに該当。	岡教文起第536-1号 20030729
史跡 神宮寺山古墳	岡山市中井町一丁目5	約35㎡	ゴミ撤去・搬出及び跡地整備	許可の日～20040431	岡山市中井町一丁目9-19 神宮寺山共同墓地管理組合 総代 山田昌男	・遺構等を破損することのないよう注意。 ・施行令第5条第4項第1号一ハに該当。	岡教文起第619-1号 20040305
特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡	岡山市後楽園1番5号	約140㎡	歩道整備	許可の日～20040730	岡山市内山下2-4-6 岡山県 岡山県知事 石井正弘	・岡山県教育委員会の埋蔵文化財担当職員の立会を求めること。 ・重要な遺構遺物が発見された際には、それらの保存のために必要な措置をとること。 ・その他、実施に当たっては、岡山県教育委員会の指示を受けること。	15委庁財第4の1686号 20040416

種別及び名称	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	期間	申請者	対応・指導事項等	文書番号 日付
特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡	岡山市後楽園1番5号		石棺屋根新設	許可の日 ～20040331	岡山市後楽園1番5号 岡山県立博物館 館長 松井新一	・遺構等を破損すること のないよう注意。 ・施行令第5条第4項第1 号一ハに該当。	岡 教 文 起 第 653-1号 20040319

その他の届出・申請等

1 件

種別及び名称	所在地	面積 (㎡)	目的及び原因	期間	通知者等	対応・指導事項等	文書番号 日付
岡山県文化財保護条例第35条第1項							
岡山県重要文化財 吉備津神社回廊	岡山市吉備津字吉備中 山931-1		連結建物改修 に伴う変更	20030520 ～20030925	岡山市吉備津931 宗教法人吉備津神社 代表役員宮司 藤井 敬		岡山県教育委員 会指令教文保第 52号 20030410

Ⅳ 資料紹介 政田民俗資料館の収蔵資料 3 胴尻

安倉清博

1 用水路と胴尻

江戸時代の干拓地・沖新田では、昭和30年代の上水道敷設までの間、生活や農作業に必要不可欠な真水の供給を多くの用水路に頼っていた。今では生活の中で用水路の水が使用されることは少なくなったが、広大な水田の広がるこの地域においてはなお、水田経営を中心とした農業を支える大切な水路である。現在の用水路は幅がおよそ2 m前後、三方コンクリートによる無機質な様相であるが、もともとその用水路は地面を掘り下げただけのもので、幅が3～4 m、夏には岸に草が繁り、また小魚の泳ぐ、自然そのものの流れであった。これら用水路の水は、干拓地上流に位置する砂川や倉安川、また干拓地の東西に位置する吉井川や旭川の河川から導水したものである。なおこれらのうち、干拓地を形成するにあたって、砂川は干拓地内を貫流させ、倉安川は沖新田以前に干拓された倉田新田への導水を延長し、また吉井川からは二膳樋用水を、旭川からは祇園用水を主として、新たに用水路を掘削したものである。このように、広大な沖新田の水の確保は、各地点に近隣する河川などから効率的に導水されていた。

さて、戦前までの沖新田では、米を主として大麦や藺草、綿などの栽培が続いていたが、そこに暮らす農民には、基本的に兎島湾や河川での漁業権はなかったものとみられる⁽¹⁾。これは干拓地であるがため、それ以前にその地で漁業によって生計を立てていた漁民の権利を守るとともに、農作業への従事を強いたものと考えられる。このため農民は、自由な漁業ができなかったため、漁業者または商店などから購入する方法が一般的であった。こうした中で、農民が魚を取ることができたのは、自らが作業をする堀田や、管理をする用水路であった。しかしそうした場所でも入会地のように自由に魚を取ることができたわけではなく、その地主や管理者の権限が強いものだった。中には漁業者のみに権利のある用水や堀田もあったといわれ⁽²⁾、恒常的に自らの手で漁獲のある農民はいなかったようである。

今回紹介する「胴尻」は、こうした中で用水路における漁獲を目的に、農家の手で使用されていたものである⁽³⁾。胴尻は、この沖新田周辺で用いられる名称で、一般的には「釜」⁽⁴⁾といわれ、古くから全国に広くみられるものである⁽⁴⁾。胴尻の名称の意味等については不明であり、またこの「胴尻」の文字を充てるのが適当かどうか不明である。おそらく本体に特徴的な胴部と、取り出し部の尻部によって構成されるためであろう。

この胴尻について、本稿では特に新田の用水路で使用されていた観点から、農民と漁業のあり方の断片を見ていきたい。

2 収蔵資料にみる胴尻

資料館には現在、胴尻3点と、胴尻を用水路に仕掛けるための「分木」⁽⁵⁾1点「ふせぎ」1点が収蔵されている。まずそれらの概要を述べておく。なお、各部の呼称については、ここでは以下のようにしておく。胴尻の本体部を「胴部」、魚の入る部分を「口部」、魚の逆行防止装置を「返し」、魚の取り出し部を「取り出し口」、取り出し口の押さえを「蓋」、そして胴尻と分木を接続する部分を「差し込み部」と呼び、その他は適宜各所で呼称していきたい。

No.277 分類番号A9-8 胴尻 (第1・2図左)

この資料は1969年2月14日に岡山市光津の田中張次氏より提供されたものである。旧収蔵資料台帳では「ふせごえ」と記入されているが、その意味等は不明である。胴部は竹、差し込み部は木製で、全体に日焼けや乾燥によって黒ずみ、取り出し口は壊れ、蓋は不明である。残存長100cm、差し込み

部辺30.5×30.5cm、胴部にはこの胴尻を用水路から引き上げる際に使用する藁縄が巻き付けられた状態である。使用場所や使用状況については記録が無く、不明である。

No.585 分類番号A9-9 胴尻【岡山市指定重要文化財】(第1・2図中)

これは1970年3月26日に岡山市政津の尾崎菊市氏から提供されたもので、ほぼ全体が残存している。長さ約135～137cm(歪み有)、差し込み部一辺42.5×42.5cm、胴部は竹網籠、差し込み部には木製の枠を取り付ける。これも全体に資料館収蔵以降の日焼けや乾燥によって黒く色変し、また全体に劣化した状態である。No.277にみられるような藁縄は付いていない。なお、この資料も使用状況等は記録が無く、不明である。

No.00-30 分類番号A9-39 胴尻・分木【岡山市指定重要文化財】(第1・2図右、第3～7図)

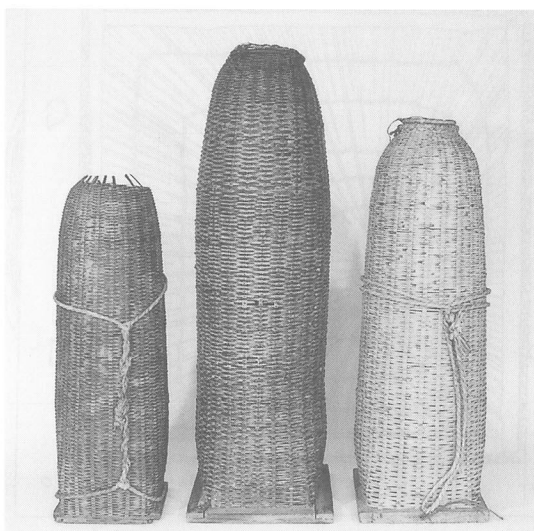
この資料は、岡山市君津の西崎正通氏から2000年11月18日に提供されたもので、胴尻と分木のセットである。法量は、胴尻の全長116.6cm、差し込み部辺各37.6cm、分木は全幅201.0cm、高さ46.6～47.4cm、奥行きは5.0cm、差し込み部奥行きは最大19.5cmである。

制作は近所の農家であった森本操氏の手によるもので、森本氏が農作業の合間に制作したものといわれる。この資料は収集時には納屋の二階に他の使用されなくなった農具とともに仕舞い込まれていたが、保存状態は良好であった。西崎氏によれば、本資料は戦後、昭和22年頃に制作され、自宅東前を流れる用水路の分木に挿入されて使用していたという。この分木は西崎氏宅で管理していたもので、こうした道具を使用することについても特に問題はなかったという。昭和26・7年ころまで使用されたが、水質の汚濁や獲物の減少等によって中止し、そのまま納屋に仕舞われたものという。

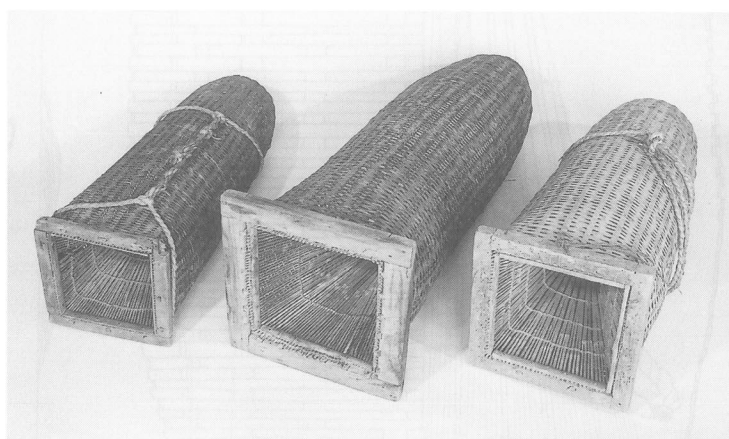
No.03-24 分類番号A9-45 ふせぎ(第8図)

この資料も岡山市君津の西崎正通氏から2003年2月1日に提供されたもので、納屋二階の奥へ仕舞い込まれていた。No.00-30資料の胴尻とセットになるもので、これは用水路の分木点ではなく、用水路本体の中で使用されたものである。法量は、高さ137cm、幅約65cm、木枠に竹の網を取り付ける。縦方向の木枠上部には鉄環が取り付けられ、上部方向から木槌様のもので叩かれ、潰れた跡がある。木枠下部は尖頭形に加工され、地面に差し込みやすいようになっている。胴尻の差し込み部は両面のうち的一方のみで、全体の加工面としてみれば、裏面に胴尻を取り付けるようになる。

資料の状態は全体に使用による傷みはあるが、大きな虫食いや腐れはなく、良好である。

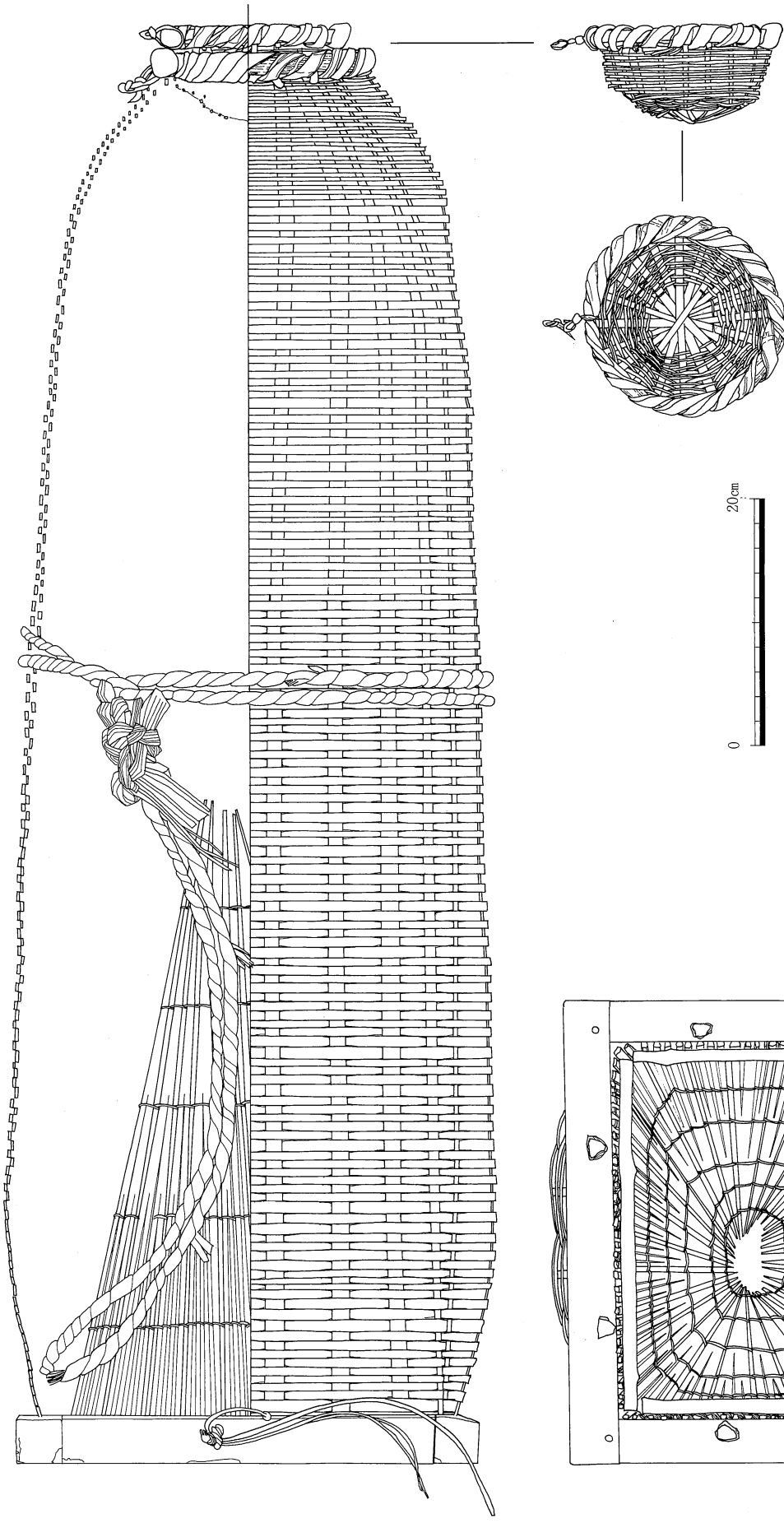
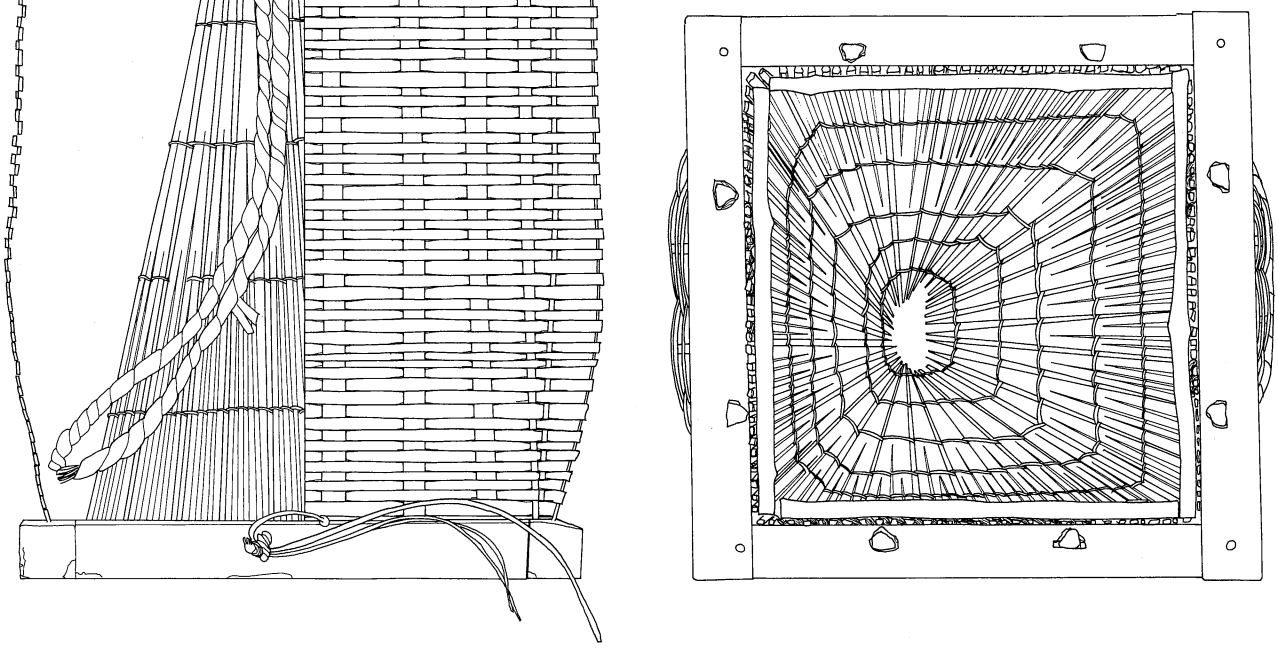


第1図 胴尻

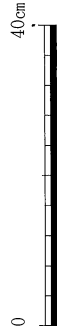
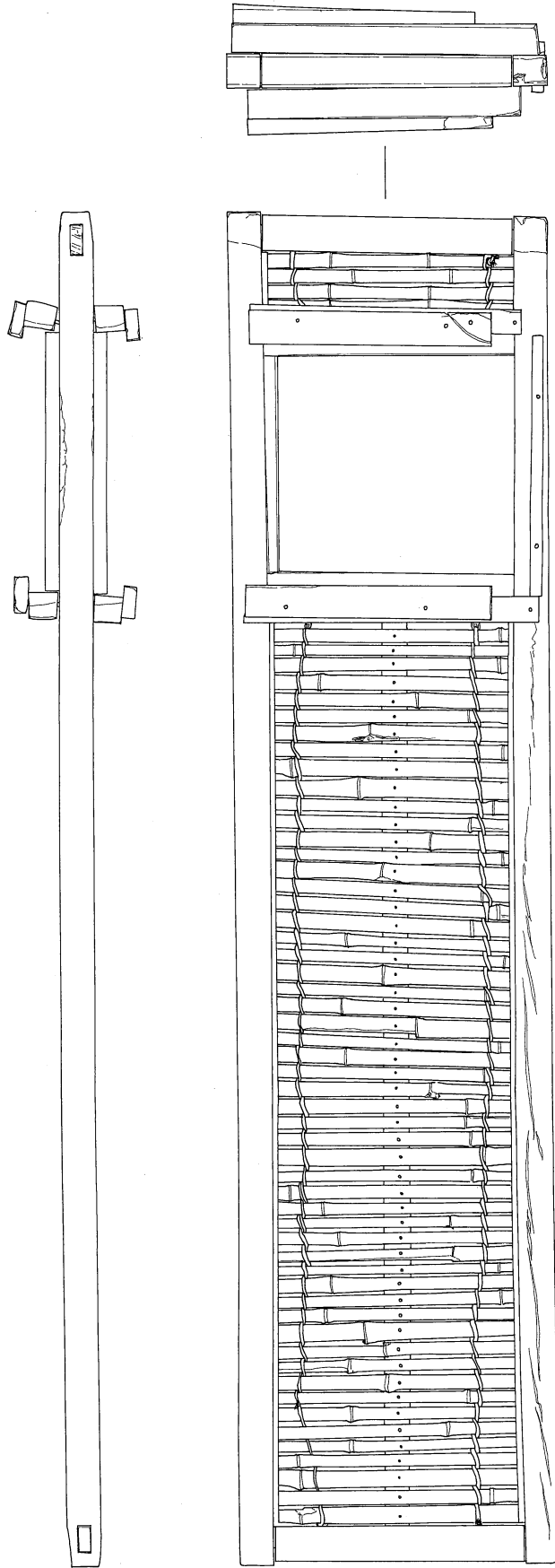


第2図 胴尻

左：No.277、A9-8 中：No.585、A9-9 右：No.00-30、A9-39



第3図 胴尻実測図 S=1/5
 上：胴部側面 左：口部 右：取り出し口蓋



第4図 分木実測図 S = 1 / 10

3 胴尻・分木の使用方法

胴尻・分木の使用については、これまで述べたように誰でも使用できるものではなく、ある一定の樋門や水路等の管理者などに限られていたようである。

実際の使用方法について、先の資料を使用・提供された西崎正通氏ならびに弟の西崎知義氏の話をもとめておきたい。

まず、胴尻・分木を仕掛けることで収穫できる獲物は、戦前はズガニ、フナ、ウナギ、ナマズ等で、戦後はこれに加えてトーチカエビ（アメリカザリガニ）などであった⁽⁵⁾。この胴尻・分木を仕掛ける時期については、年中いつでも、というのではなく、基本的に水田で水を使用しない秋頃が多く、田の水が落水した後、水が冷えはじめて魚が水深の浅い上流から水深のある、泥の堆積している下流に下がってくる時期を狙う。また春先の時期、水が温もり、下流から上流へ上る魚を狙う。この春先には特に「タジャコ」とよばれる体長2 cm前後の小ブナを狙ったという⁽⁶⁾。

胴尻、分木の具体的使用方法については、以下のものであったという。

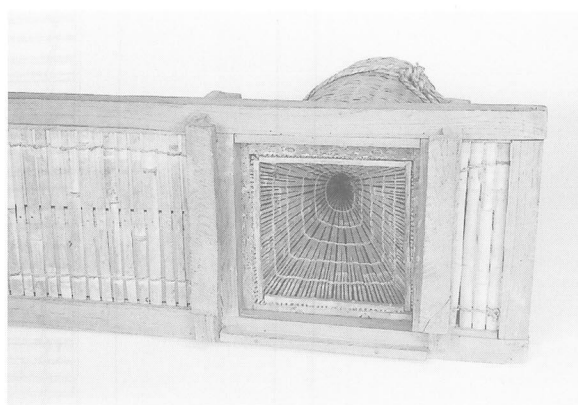
分木では、分木板と呼ばれる板を、門柱状で差し込み用の切り込みのある分木点に差し込み、水の流れをせき止めることを目的とする。そうすることで、その地点から上流で分配する用水路への流れを作ったり、または分木点より上流の水田の水入れを用水路を溢れさせることで可能にするものである。分木の構造は、用水路の分木点部分は両側の岸が張り出してやや細くなり、その部分へ分木を構築する。用水路底面に框石を入れ、その両側、張出部の先端部に門柱状の石を建てる。張出部は石組みなどで固定され、水流に耐えうように構造される。後にはコンクリート等で作られるようになったが、大規模な水門に比べ、簡易な施設である分木は、必要に応じて適宜工事されたようである。

分木点では、分木板を3枚程度使用し、流れをせき止めるが、その最下段の分木板として、ここに取り上げる分木を挿入する。その上に普通の分木板を装着し、また最下段の分木に胴尻を差し込み、設定を終える。この際胴尻は、上流側、下流側、どちらでも装着可能なように分木に取り付け部があるが、基本的には川を下る魚を狙って、分木の下流側へ胴尻を取り付ける。

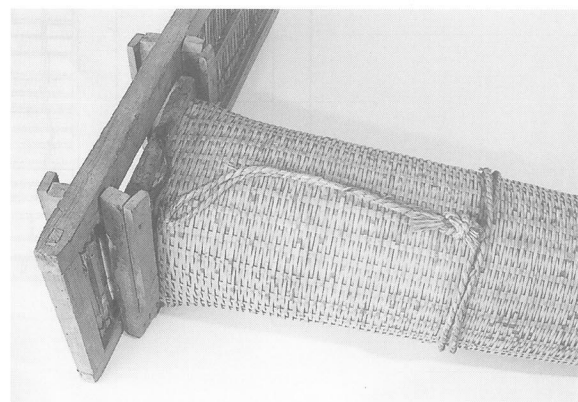
分木によって流路を遮られた魚は、わずかな流れのある低部の分木の方へ行き、胴尻の中へ入る。



第5図 胴尻・分木取り付け（上）



第6図 胴尻・分木口部近影（右上）



第7図 胴尻・分木取り付け部（右下）



第8図 ふせぎ
(No.03-24 A9-45)

その結果、胴尻の中にある「返し」によって抜け出ることが不可能となり、そのまま胴尻とともに引き上げられる。胴尻は、胴部に取り付けられた藁縄を持って、水上に引き上げられ、胴尻の最奥部にある取り出し部の蓋を開いて、そこから取り出される。

また、ふせぎの使用については、基本的に分木と同様であるが、ふせぎは用水路低部の安定した土壌の中の任意の地点にこれを打ち込み、直立させ、その両側に網や葦簾などを立てかけ、用水岸とふせぎの間を締め切り、魚の通りを絞り込んで胴尻に追い込むものである。

ふせぎは分木と異なり、両側の網や葦簾の幅を調節することで、用水内の任意の地点で使用可能であるが、沖新田での使用については聞き取り調査の中でも類例はほとんどなく、胴尻の仕掛けとしても特殊なものであった可能性がある。

4 干拓地の漁獲

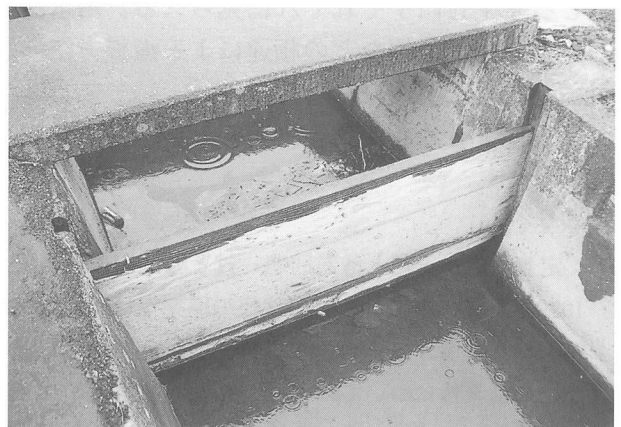
岡山藩では沖新田や、当時の児島湾各地の干拓に際して、その水域の漁民に対し、漁業補償として網場の移転や、相応の新田の土地を割り当てる処置を行っている⁽⁷⁾。こうした処置や、それまでの経緯などから、干拓地に入植した農民には漁業権はなかったが、農家の管理地または所有地内での漁獲は認められていたようであり、こうした権利を持つ農家では、商売とまではいかななくても、自宅ですずかに食べる程度の漁獲はあったようである。しかし権利を持つ農民は全体の割合から比較するとごくわずかであったようで、多くは小売店などからの購入で賄っていたようである⁽⁸⁾。今後こうした点については幅広い聞き取り調査や資料収集が必要であるが、干拓地新田においては他地域同様、漁業権についてもある程度の占有が漁業者によって守られ、農民もそれを了解事項として生活をしてきたようである。



第9図 用水路風景
昭和17年1月、現岡山市升田
赤木英夫氏撮影・提供



第10図 現在残る分木跡
岡山市倉富・桑野 通称「小用水頭」



第11図 分木使用風景（現代）
岡山市君津 通称「三間川」にて



第12図 沖新田への主な水路（現代）

岡山市「岡山市河川水路図」（昭和61年作成、平成3年修正）を参考に作成

- 1 吉井川 2 旭川 3 百間川 4 砂川 5 倉安川
6 二膳樋用水 7 祇園用水

今回取り上げた胴尻の使用については、おもに沖新田東部（百間川より東手）についての概要にとどまったが、西手においても胴尻は使用されていた⁽⁹⁾。しかし多くはなかったようであり、むしろ「地獄網」⁽¹⁰⁾や「マエズクイ」⁽¹¹⁾などが主として使用されていたようである。これは漁業権というよりもむしろ東手と西手それぞれに見られる、用水路の導水方法等の違いによる水量の相違や、用水路自体の延長や用水路幅などの相違による漁獲方法の違いなどであったのかもしれないが、現在は具体的資料に乏しく、明確にはならない。

今後はより沖新田東手、西手といった、新田全体を視野にいたした資料収集と分析が必要と考える。

注

(1) 定兼 学「干拓と漁業問題～村と村連合の漁場所持機能～」『近世の生活文化史〈地域の諸問題〉』清文堂出版、1999年。この中では、新田住民の漁業権については触れられていないが、児島湾の漁場については、干拓以前の漁業権者が、その漁場を優先的に占有することを認められていることが挙げられている。また新田地内の河川での漁業権については、現在もなお専門の漁師によって一定の漁場が確保されている。

なお、児島湾における漁業については、湯浅照弘氏による精力的な研究があげられる。『岡山県漁撈習俗誌』山陽図書出版、1974年、『児島湾の漁民文化』日本経済評論社、1983年、など。

(2) 岡山市光津在住の小川政男氏および政津在住の石井利彦氏の教示。堀田では、「ナゲバリ」を使用したウナギ取

りが行われていたが、これも中には他地域の人へ有料で権利を与えたり、または所有者の了承の下でなければ許されなかったという。

- (3) この地域では、小形の釜を「すっぽん」という。また用水路を一般に「川」ともいう。「川の中へ流れにさからうように向けて沈めておいて、魚が入ると出られない仕組みになっており、フナ、ナマズ、ツガニなどがとれました。「すっぽん」は梅雨から夏にかけて、ウナギを取るのに使っていました。」津田ふるさと研究会編『ふるさと津田300年のあゆみ』岡山市立上南公民館、1991年、29頁。また広義のスッポンについては、湯浅照弘『岡山県旧児島湾の漁具と漁法の考察』私家版、1970年、湯浅照弘「岡山県のウナギ釜の習俗ーウナギ釜漁の事例(一)」『岡山民俗』第221号、33～37頁。
- (4) 日本民具学会編「うけ 釜」『日本民具辞典』ぎょうせい、1997年、49～50頁。
- (5) 獲物のうち、ウナギは秋の祭りなどの日で使用、トーチカエビは自宅で飼育していたニワトリの飼料に混ぜて与えていたが、卵が赤くなっていたという。西崎知義氏教示。
- (6) タジャコは、すくい上げ、塩で揉んで食べた。西崎知義氏教示。
- (7) 大串石蔵「岡山藩の干拓と漁業補償」『農業土木』第153号。
- (8) 一般には、毎日児島湾近辺でとれた魚を漁師が売りに歩いていた。多くの種類はなかったという。また、児島湾に面した新田堤防付近でカキ（天然の岩牡蠣）などを取っていたらよく叱られたが、ベカ（バイカ）やアミなどを取ることにについては喧しく言われなかったという。西崎知義氏教示。このことは、漁師の側として市場価値のあるカキなどは占有的に、またそうでないベカやアミについては特に関与しなかったものと見られる。
- (9) 小川政男氏（戦前に現・岡山市桑野在住）の教示。以下「地獄網」「マエズクイ」についても同じ。
- (10) 「地獄網」とは、「袋網」ともいわれ（前掲『日本民具辞典』489～490頁）、沖新田地域では以前には「アホウアミ」ともいわれていた。用水路によく仕掛けられていたという。西崎知義氏の教示。
- (11) 「マエズクイ」（前掲？）とは、曳網の一種で、幅・高さとも約60cmの鋤簾状をなし、後ろに網が付く。冬場などに堀田や用水路の泥中にあるフナを掬い取ったりしていた。これも沖新田の各地でよく見られたものといわれる。なお、沖新田付近での発音は「メーズクイ」である。

岡山市埋蔵文化財センターご利用案内

所在地 〒703-8284 岡山市網浜834-1

(TEL086-270-5066 FAX086-270-5067)

公開時間 午前9時から午後4時30分まで

休館日 日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）

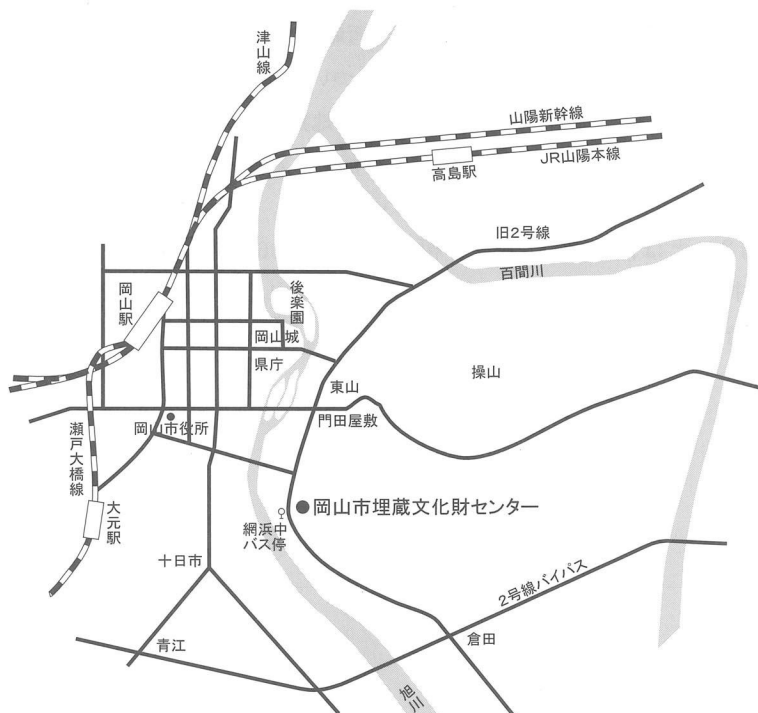
入場料 無料

交通案内 両備バスまたは岡電バス 「網浜中」下車、徒歩5分

- 岡山駅・天満屋バスステーションから
- ・新岡山港行（四軒屋経由・新道経由）
- ・岡山ふれあいセンター行
- ・桑野営業所行（三幡郵便局経由）
- ・湊倉益行

所要時間 岡山駅から約15分

URL <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/maibun/>



岡山市埋蔵文化財センター年報4 2003（平成15）年度

発行年	2005年3月31日
発行	岡山市教育委員会 岡山市大供一丁目1番1号
編集	岡山市埋蔵文化財センター
印刷	広和印刷株式会社